

令和5年度
病院年報



出かける医療・近づく医療

日野病院組合 日野病院

令和5年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長 孝田雅彦

令和5年度は当院が優良自治体病院として総務大臣賞を受賞するという栄誉に浴しましたことを、改めて地域の皆さま、そして日々支えてくださる職員の皆さまに深く感謝申し上げます。この受賞は、私たちが地域医療における役割を果たすべく全力を尽くしてきた成果の一つであり、今後もその責務を果たしていく覚悟を新たにします。

本年度は、コロナ禍が一段落し、社会全体が徐々に日常を取り戻しつつある一年でした。コロナ関連の補助金が減少し、当院の外来・入院患者数はやや減少したものの、経営的には黒字を維持することができました。これは、地域の皆さまが当院を信頼し、選んでくださった結果であり、私たちの医療提供体制の充実を実感することができる重要な指標であると考えています。

しかしながら、医療界全体が特に中山間地の病院が直面している課題として、看護師不足の問題は依然として深刻です。そのような中、看護局の中核を担う看護局長として、近藤仁子さんを大学病院から受け入れることができました。この取り組みは、当院の看護体制を強化するだけでなく、看護の質向上に寄与するものであり、看護職員一人ひとりが誇りを持って働ける環境づくりにもつながっています。

また、本年度は日野郡3町および大学との医療連携が一層進展した年でもありました。地域住民の健康を守るためには、医療機関同士の連携のみならず、大学との知見共有や連携が欠かせません。特に高齢化が進む地域社会においては、病院だけでなく地域全体が一体となった包括的な医療体制が求められています。当院は、この連携をさらに深化させ、地域医療のモデルケースとなることを目指していきます。

さらに、当院職員の学会での発表も年々増加しており、その内容も充実しています。これは、職員一人ひとりの努力と向上心の賜物であり、当院の医療水準が着実に向上している証左であると感じています。

最後に、私たちが日々地域医療を支えることができるのは、職員一人ひとりの献身的な努力と、地域の皆さまからの温かいご支援があつてのことです。この場をお借りして、改めて心より御礼申し上げます。

これからも当院は、地域に根ざした医療機関として、信頼される病院づくりを目指して邁進してまいります。皆さまの変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

目 次

発刊によせて		-1-
1、概要		-5-
主な出来事		-6-
組織図	日野病院組合組織図	-9-
	日野病院組織図	-10-
施設の状況	施設規模等・主な医療機器	-12-
	施設基準	-13-
日野病院組合議会開催状況		-15-
職員の状況	部署別職員数	-18-
経営状況（令和5年度日野病院組合事業会計決算）		
	事業別内訳	-21-
	決算概況	-22-
施設・設備等整備状況		-40-
委員会活動状況	日野病院委員会（ワーキング）構成表	-44-
	各委員会開催状況	-45-
2、統計		-71-
患者統計	患者統計（外来・入院）	-73-
入院患者疾病統計	疾病別大分類別・診療科別・病名数	-76-
	ICD10別・診療科別・病名数	-77-
	ICD10別・年齢階層別・病名数	-91-
	ICD10別・在院期間別・病名数	-98-
	疾病中分類別・上位疾病別・病名数	-107-

部門別統計	手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査・薬局 状況・人工透析状況・放射線室状況・検診実施 状況	-109-
	栄養管理室状況・臨床検査室状況・ 理学療法状況・作業療法状況 言語聴覚療法状況	-110-
	訪問看護状況・訪問リハビリ状況 居宅支援(介護・予防)状況 メディカルソーシャルワーカー活動状況	-111-
3、業績		-112-
	論文誌上発表	-113-
	学会等発表	-115-
4、新聞記事等		
	日野病院長コラム（広報ひの）	-122-
	その他の新聞記事	-135-
5、広報誌 せせらぎ		-144-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第77号（令和5年5月発行）	-145-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第78号（令和5年9月発行）	-153-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第79号（令和6年1月発行）	-165-
編集後記		-177-

1、概 要

主な出来事

令和5年

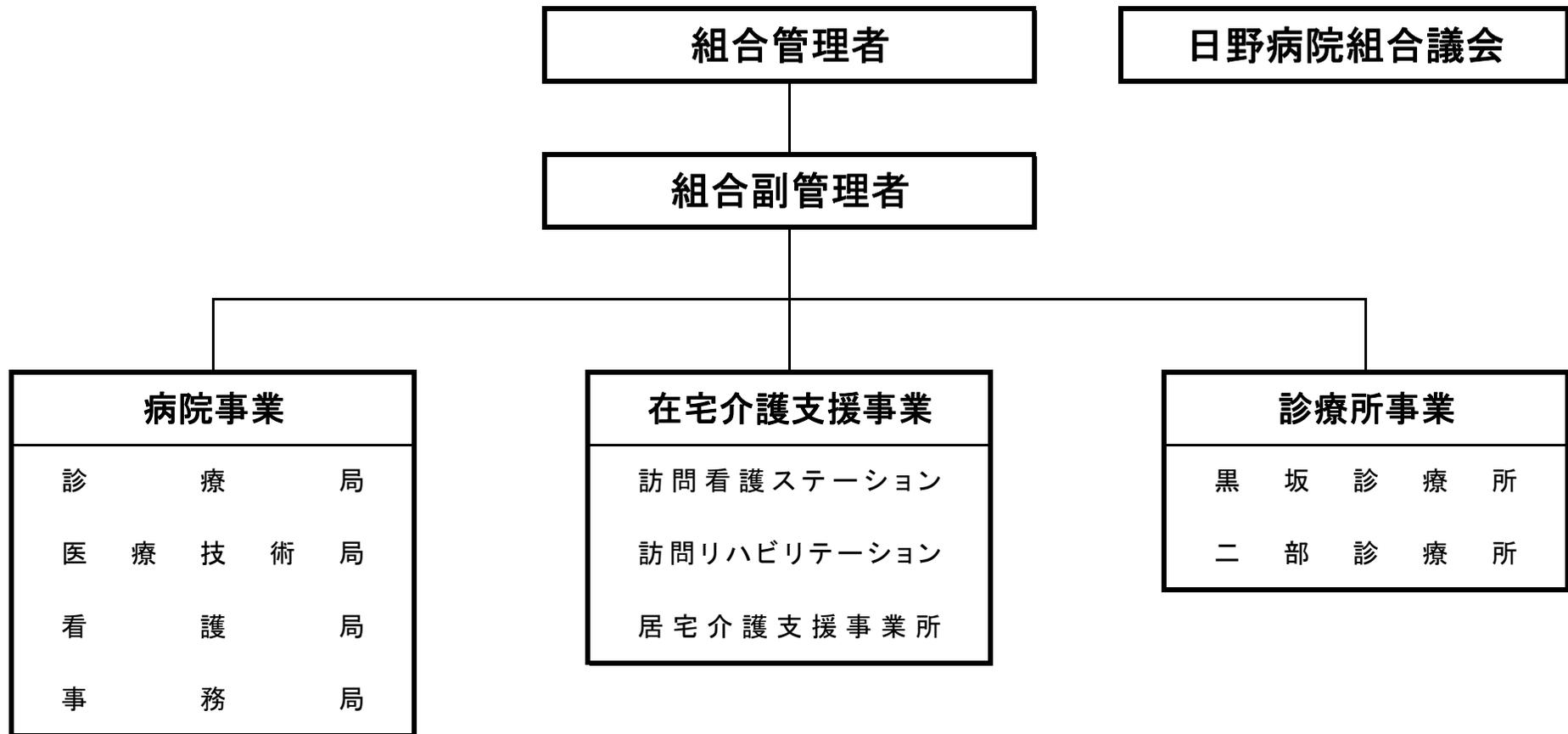
- 4月3日 新規採用職員オリエンテーション
- 5月20日 金持テラス日野にて看護の日のイベントを開催
- 5月25日 長尾孝夫臨床検査室長が病院表彰を受賞、上田宏美准看護師、吉原早月クラーク、福田さゆりクラークが局長表彰を受賞
- 6月15日 令和5年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞
- 7月2日 令和5年度自治体立優良病院総務大臣表彰受賞について平井伸治鳥取県知事に報告
- 7月23日 令和5年度自治体立優良病院総務大臣表彰受賞記念冊子を作成
- 8月28日 令和4年度日野病院組合事業会計決算認定
収益的収支で146,338千円の黒字、資金収支で74,917千円の黒字
- 11月2日 公立病院経営強化ガイドラインに基づく「日野病院経営強化プラン」を策定
- 12月28日 仕事納め

令和6年

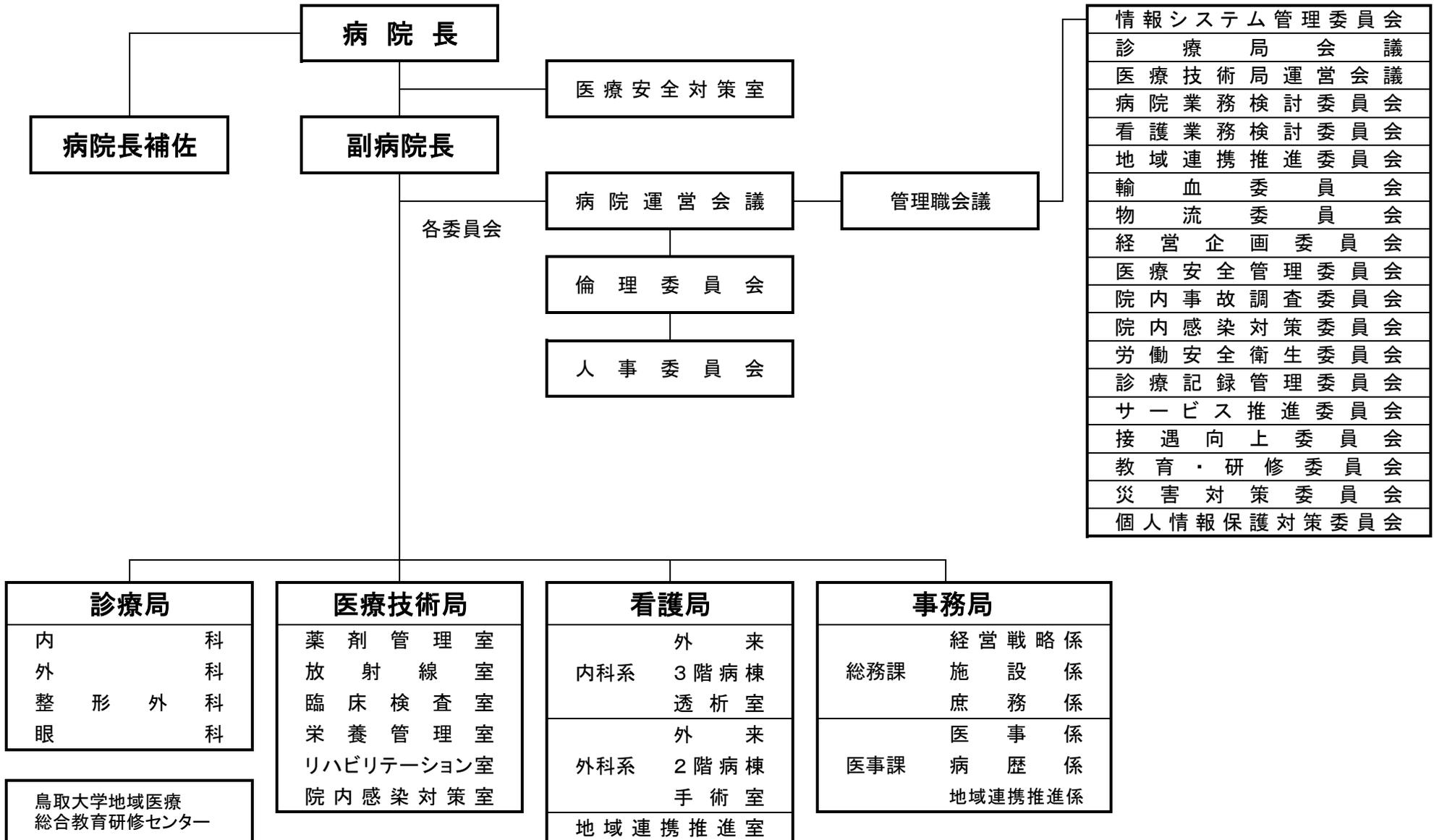
- 1月4日 仕事始め

組織図

日野病院組合組織図(令和5年4月現在)



日野病院組織図(令和5年4月現在)



施設の状況

施設規模等

- (1) 病床数 99床 (一般 74床・地域包括ケア病床 25床)
(2) 病室数 51部屋 (1人部屋35、4人部屋16)
(3) 敷地面積 11,045.27㎡
(4) 延べ床面積 8,247.16㎡
(5) 建設費 31億1,209万9千円

＜主な内訳＞	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
＜財源内訳＞	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	フルデジタルカラー超音波装置
MR I (1.5テスラ)	マルチスライスCTシステム
レーザーメス	手術用顕微鏡
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー	上部消化管ファイバースコープ
骨塩定量測定装置	X線骨密度測定装置
生体情報モニタ	手術室ビデオシステム
手動式除細動器	超音波骨折治療器
上部消化管汎用ビデオスコープ	血圧脈波検査装置
多目的自動血球分析装置	睡眠時無呼吸検査機器
超音波白内障手術装置	特殊入浴装置
高周波手術装置	角膜内皮細胞撮影装置
超音波診断装置	

●施設基準

(基本診療料)

- ・情報通信機器を用いた診療に係る基準
- ・機能強化加算
- ・一般病棟入院基本料
- ・救急医療管理加算
- ・診療録管理体制加算 2
- ・急性期看護補助体制加算
- ・療養環境加算
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・感染対策向上加算 2
- ・データ提出加算
- ・入退院支援加算
- ・認知症ケア加算
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・地域包括ケア入院医療管理料 1
- ・看護職員処遇改善評価料 4 2

(特掲診療料)

- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・ニコチン依存症管理料
- ・がん治療連携指導料
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・薬剤管理指導料
- ・地域連携診療計画加算
- ・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- ・医療機器安全管理料 1
- ・別添 1 の「第 1 4 の 2」の 1 の (3) に規定する在宅療養支援病院
- ・在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
- ・在宅がん医療総合診療料
- ・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に規定する遠隔モニタリング加算
- ・検体検査管理加算 (I)
- ・検体検査管理加算 (II)
- ・CT 撮影及びMR I 撮影
- ・無菌製剤処置料
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)

- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・導入期加算 1
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・保険医療機関間の連携による病理診断

（入院時食事療養）

- ・入院時食事療養（Ⅰ）・入院時生活療養（Ⅰ）

（その他届出）

- ・酸素の購入単価

●特定療養費

180日を超える入院…入院医療費の15%（別途消費税加算）

※入院医療の必要性は低いがご自身の事情等により180日を超えて入院されている場合、保険給付が85%での算定となることから、保険により給付されない部分の15%を一部負担金以外に別途ご負担となります。

※指定の難病や重症等の患者さんについては対象となりません。

●指定等

- ・鳥取県肝疾患専門医療機関
- ・児童福祉法第19条の9第1項の規定による指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・難病患者に対する医療等に関する法律第5条第1項の規定による指定医療機関
- ・へき地医療拠点病院
- ・身体障害者福祉法（厚生医療）腎臓に関する医療
- ・生活保護法による指定医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・救急病院の告示
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・保険医療機関指定

日野病院組合議会開催状況

令和5年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	
第2回 臨時会	R5.6.23	第11号 第12号	日野病院組合職員の退職手当に関する条例の一部改正について 日野病院組合議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
第3回 定例会	R5.8.28	第13号 第14号 第15号 第16号	令和4年度日野病院組合病院事業会計決算の認定について 令和4年度日野病院組合在宅介護支援事業会計決算の認定について 令和4年度日野病院組合診療所事業会計決算の認定について 令和5年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号)
第4回 定例会	R5.11.17	第17号	令和5年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第2号)
第1回 定例会	R6.2.27	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 第7号 第8号 第9号 第10号 第11号 第12号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 日野病院組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について 鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会共同設置の廃止に関する協議について 日野病院組合と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について 日野病院組合と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について 日野病院組合情報公開条例等の一部改正について 令和5年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第3号) 令和5年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号) 令和5年度 日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 令和6年度日野病院組合病院事業会計予算 令和6年度日野病院組合在宅介護支援事業会計予算 令和6年度日野病院組合診療所事業会計予算

職員の状況

部署別職員数（令和6年3月31日現在）

（1）病院事業

- ・ 病院長補佐 1名
- ・ 医療安全対策室 1名
- ・ 診療局 常勤医師9名（うち嘱託医師1名）
（内科6名、外科1名、整形外科1名、眼科1名）

・ 看護局 85名 (人)

区 分	看護師		准看護師		看護助手		クラーク		合 計	
	正職	会計年度	正職	会計年度	正職	会計年度	正職	会計年度	正職	会計年度
看護局長	1								1	
外 来	4	4		1				6	4	11
2階病棟	17	4	2	2	2	3		1	21	10
3階病棟	20	3	1		1	4		1	22	8
手術室	3		1						4	
透析室		2								2
地域連携室	1							1	1	1
合 計	46	13	4	3	3	7		8	53	32

- ・ 医療技術局 30名
 - 臨床検査室 5名（臨床検査技師4名、うち会計年度任用職員1名）
 - 薬剤管理室 4名（薬剤師3名（うち会計年度任用職員1名）、事務職員1名（会計年度任用職員））
 - 放射線室 5名（診療放射線技師5名（うち会計年度任用職員1名））
 - リハビリテーション室 13名
（理学療法士8名、作業療法士2名、言語聴覚士2名、マッサージ師1名）
 - 栄養管理室 2名（管理栄養士2名）
 - 臨床工学室 1名（臨床工学技士1名）
- ・ 事務局 14名
 - 事務局長 1名
 - 総務課 6名（うち会計年度任用職員2名）
 - 医事課 7名（うちMSW2名、会計年度任用職員3名）

(2) 在宅介護支援事業所

- ・ 所長 1名 (病院と兼務)
- ・ 看護師 4名
- ・ 理学療法士 4名
- ・ 言語聴覚士 1名 (病院と兼務)
- ・ 介護支援専門員 2名 (うち1名は看護師と兼務)
- ・ 事務職員 2名 (うち1名は病院と兼務)

(3) 診療所事業

- ・ 医師 1名 (病院と兼務)
- ・ 看護師 1名 (病院と兼務)
- ・ 事務職員 1名 (病院と兼務)

経営状況

令和5年度日野病院組合決算(事業別内訳)

(収益的収支)

(単位:千円)

区分	病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所事業			(イ)+(ロ)+(ハ)	4年度決算額	増減
			計(ハ)	黒坂	二部			
医業収益								
入院収益	946,271		0			946,271	922,314	23,957
外来収益	399,941		1,958	1,435	523	401,899	417,595	△ 15,696
室料差額収益	22,956		0			22,956	20,950	2,006
保健予防活動収益	38,937		386	338	48	39,323	39,835	△ 512
その他医業収益	8,414		0			8,414	12,259	△ 3,845
事業間負担金(在宅/診療所)	21,704		0			21,704	24,460	△ 2,756
介護サービス収益		63,536	0			63,536	71,205	△ 7,669
その他介護サービス収益		56	0			56	56	0
計	1,438,223	63,592	2,344	1,773	571	1,504,159	1,508,674	△ 4,515
医業外収益								
預金利息	48		0			48	79	△ 31
国県等補助金	35,260	959	0			36,219	109,967	△ 73,748
負担金交付金	386,686	28,565	19,268	12,229	7,039	434,519	394,012	40,507
負担金交付金(本部費)	419		0			419	414	5
長期前受金戻入(現金を伴わない)(A)	91,258	226	154	77	77	91,638	79,869	11,769
その他医業外収益	7,417		0			7,417	15,170	△ 7,753
計	521,088	29,750	19,422	12,306	7,116	570,260	599,511	△ 29,251
収益合計	1,959,311	93,342	21,766	14,079	7,687	2,074,419	2,108,185	△ 33,766
医業費用								
給与費	780,709	62,872	0			843,581	844,491	△ 910
退職給付引当金	71,212		0			71,212	73,491	△ 2,279
賞与引当金繰入額	61,291	5,995	0			67,286	59,563	7,723
材料費	296,747	28	154	134	20	296,929	297,718	△ 789
経費	125,912	3,307	998	637	361	130,217	120,230	9,987
委託費	325,622	753	204	197	7	326,579	308,195	18,384
減価償却費(B)	194,965	1,879	282	84	198	197,126	190,637	6,489
資産減耗費(現金を伴わない)(C)	2,025		0			2,025	4,923	△ 2,898
研究研修費	6,228	239	0			6,467	5,785	682
本部費	419		0			419	414	5
事業間負担金		9,634	12,070	8,245	3,825	21,704	24,460	△ 2,756
派遣職員人件費負担金	7,896		0			7,896	0	7,896
計	1,873,026	84,707	13,708	9,297	4,411	1,971,441	1,929,907	41,534
医業外費用								
企業債償還金(利子)・支払利息	14,501	12	0			14,513	16,462	△ 1,949
その他医業外費用	14,965		0			14,965	15,478	△ 513
計	29,466	12	0	0	0	29,478	31,940	△ 2,462
費用合計	1,902,492	84,719	13,708	9,297	4,411	2,000,919	1,961,847	39,072
収益的収支(決算額)	56,819	8,623	8,058	4,782	3,276	73,500	146,338	△ 72,838
年度末累積剰余金・累積欠損金	683,665	176,032	153,863			1,013,560	940,060	73,500

(資本的収支)

区分	病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	4年度決算額	増減
			計(ハ)	黒坂	二部			
企業債								
企業債	43,300		0			43,300	44,000	△ 700
負担金			0			0	0	0
補助金			0			0	0	0
補助金	55,823		0			55,823	61,330	△ 5,507
貸付金償還	2,475		0			2,475	2,700	△ 225
貸付金償還			0			0	0	0
資本的収入計	101,598	0	0	0	0	101,598	108,030	△ 6,432
建設改良費								
固定資産購入費	108,341	1,050	0			109,391	112,559	△ 3,168
企業債償還金								
企業債償還金(元金)	191,616	550	0			192,166	181,433	10,733
貸付金								
奨学金貸付金	600		0			600	1,150	△ 550
資本的支出計	300,557	1,600	0	0	0	302,157	295,142	7,015
資本的収支	△ 198,959	△ 1,600	0	0	0	△ 200,559	△ 187,112	△ 13,447

(単年度資金収支)

現金を伴わない収益(A)	91,258	226	154	77	77	91,638	79,869	11,769
現金を伴わない費用(B)+(C)	196,990	1,879	282	84	198	199,151	195,560	3,591
単年度資金収支	△ 36,408	8,676	8,186	4,789	3,397	△ 19,546	74,917	△ 94,463

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	未払金等残高(B)	資金不足負担金発生までの額(A)-(B)
	1,016,526	69,435	947,091
			966,403
			△ 19,312

退職給付引当金残高	前年度引当金残高		退職給付引当金		退職給付金		引当金残高	
	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金	退職給付金	総残高	増減		
	313,545	71,212	2人	33,003	351,754	38,209		

令和5年度病院事業等の決算について

1、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT・MRIなどの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床(内地域包括ケア病床25床)の入院業務と21診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。加えて、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

なお、令和5年度の主な事業として、鳥取県医療施設等設備整備費補助金を充当し診断用X線装置、外科用X線テレビシステム等の更新を行った。

2、「出かける医療・近づく医療」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっていることから、通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車を走らせ、自宅から日野病院(診療所)の間で運行させた。

また、訪問診察(週3回)に加え、在宅介護支援事業(訪問看護と訪問リハビリ)と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活(療養)を支援している。(訪問診察と在宅介護支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。)

(ア) 訪問診察

訪問診察は、超音波診断装置及び心電計を用いるなどし、充実した診療を目指している。訪問診察の延べ患者数は、令和5年度で401名(令和4年度は474名)となっている。

(イ) 在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリを行った。

令和5年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護1,790名(令和4年度は1,856名)、訪問リハビリ4,508名(令和4年度は4,949名)、居宅支援件数1,121件(令和4年度は1,244件)となっている。

(ウ) 診療所事業

無医地区の黒坂(日野町)と二部(伯耆町)に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。令和5年度延べ患者数は471名となった。(令和4年度は492名)

コロナ禍の影響があったとはいえ2か年続けて入院患者数が減少していることに注視しながら、今後も現在の病院機能を維持していくことと併せて、在宅療養の推進、新興感染症への対応(院内感染防止対策・診療・各種検査・ワクチン接種等)を行っていくことが必要となる。

加えて、令和元年度に締結した日野郡の医療連携に係る基本協定に基づき、周辺医療機関との医療連携や機能分担について推進していくことが必要と考える。

また、令和4年3月に総務省から「公立病院経営強化ガイドライン」が提示されたことを受け、令和5年11月に日野病院経営強化プランを策定した。

令和5年度病院事業等の決算概況資料

日野病院が行っている、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

1、医業収支・各種統計について

令和5年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支

収益について、病院事業の医業収益は前年度と比べ、入院収益については、患者数が減少したが診療単価増の影響で増収となった。一方、外来収益は新型コロナウイルス感染症が終息に向かい患者数、診療単価とも減となり減収となった。

在宅事業の介護サービス収益は、訪問看護利用者と訪問リハビリ利用者とも減少により減収となった。

診療所事業は、黒坂診療所が患者数の減、診療単価増で減収。二部診療所が患者数の増、診療単価増で増収。全体では患者数の減、診療単価増となり収益はほぼ同額となった。

全体では1,759千円の減収となった。

医業費用について、前年度と比べ、経費、委託費、減価償却費等が増加し、全体で44,290千円の増となった。

以上から、医業収支は令和4年度と比較し46,049千円の減となった。

(医業収入)

病院事業について、令和4年度と比較して外来収益は患者数が37,009人となり590人減少した。1人あたりの診療単価は10,807円となり247円の減少、収益は15,696千円の減収となった。

入院収益は、患者数が28,393人で、311人減少した。1人あたりの診療単価は33,328円となり1,196円の増加、収益は23,957千円の増収となった。

在宅介護支援事業については、令和4年度と比較して訪問看護利用者が66人の減、訪問リハビリ利用者が441人減となった。収益は7,669千円の減収であった。

診療所事業については、令和4年度と比較して患者数は黒坂診療所が28人の減、二部診療所が7人の増となり、全体では21人の減となったが診療単価の増加により収益はほぼ同額となった。

その他の医業収益については、室料差額収益が2,006千円の増、保健予防活動収益は主に予防接種の件数減の影響により512千円の減収となった。その他医業収益は事業所との委託契約（江府町）に係るPCR検査件数の減等により3,845千円の減となった。

(医業費用)

令和4年度と比較して、光熱水費の高騰、修繕費の増等により経費が9,987千円の増、CT保守の開始、非常勤医師の人件費の増等により委託費が18,384千円の増、その他、減価償却費6,489千円の増、派遣職員人件費(看護師)の増等で全体で44,290千円増加した。

2、単年度資金収支について

令和5年度の単年度資金収支(現金)は、19,546千円減少した。

3、赤字補てんによる追加負担金発生の状況について

平成20年度に構成町の赤字補てんによる追加負担金について発生の条件を、単年度資金収支の減による補てん(赤字補てん)から、運転資金(留保資金)不足の補てんへ変更した。

令和5年度末時点で、資金不足発生までの額は947,091千円となり、当分の間、赤字補てんによる追加負担金は発生することはない状況となっている。

4、退職給付引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、正職員については、給料総額の140/1000とし、引当てを46,504千円実施、会計年度任用職員については、引当てを5,614千円実施し、全体で52,118千円を引当てた。

また、平成26年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年19,094千円の引当てを実施している。(今年度10年目で15年間実施)

退職給与金は2名(看護師2名)に対し、総額33,003千円の支払いを行い、引当金残高は351,754千円となり、前年度と比べ、38,209千円増加した。

5、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、稼働病床数、救急告示病院、病院事業債元利償還金等に係る措置として、195,219千円(令和4年度は189,038千円)の措置額となった。

特別交付税については、不採算地区病院、へき地保健医療、共済追加費用等に係る措置として、241,557千円(令和4年度は214,278千円)の措置額となった。

なお、不採算地区病院の措置については、平成19年度から対象となっているが、平成28年度からは稼働病床数に対する措置(平成27年度までは許可病床数)となり、加えて実繰出金の80%との比較(どちらか少ない額)による措置となっている。また、令和3年度から新型コロナウイルス対応のため措置額が1.3倍に拡充されている。

交付税措置額は全体で、436,776千円(令和4年度は403,316千円)となった。(内425,199千円を負担金として収入)

6、累積剰余金の処分について

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

累積剰余金は、令和5年度決算終了時点で1,013,560千円となった。

剰余金を処分する際は、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、令和5年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

なお、今後は資本的収支不足額の補填財源として使用するために、未処分利益剰余金を減債積立金へ積立する予定としている。

7、日野郡の医療連携について

周辺人口が減少する中、個々の医療機関だけでは維持していくことが困難な機能も、各病院の連携により維持することができることもある。このような理由から、令和2年3月に「日野郡の医療連携に係る基本協定」を締結した。

小児科については、3町での小児科医師共同雇用について鳥取大学と協議を重ねている。常勤医の派遣は先延ばしとなったものの、令和5年4月から非常勤医師を当院と日南病院に派遣してもらうこととなり、日野郡内で毎日小児科の診療を受けられる体制を構築した。

一方、人事交流については、江尾診療所との間で、大腸検査や読影等、様々な面で武地先生の協力を得ており、当院からは臨床検査技師の派遣を継続している。

また、日南病院との間では、令和2年度にPCR検査機器の貸し出しを受けることが出来た他、令和4年度には当院から診療放射線技師の派遣を行った。

さらに、今年度は鳥取大学医学部附属病院看護部から看護師1人（看護局長）の派遣を受けることができた。

今後も近隣医療機関との連携協力を行っていくことが重要であり、鳥取大学地域医療学及び小児科への支援の在り方や電子カルテの共有等についても検討を重ねている。

8、新型コロナウイルス感染症対応について

令和5年5月8日から5類感染症となったが、県との間に感染症法に基づく医療措置協定を引き続き締結しており、今後も新興感染症等に適時適確に対応していく。

9、自治体立優良病院表彰受賞について

全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が、昭和61年度から実施している自治体立優良病院表彰の総務大臣表彰を受賞した。

なお、前年度に自治体立優良病院表彰を受賞したが、今回受賞した総務大臣表彰は、原則として既に両協議会会長表彰を受けた病院で、総務省が定める自治体立優良病院選考基準に合致し、総務大臣の表彰を受けるにふさわしい病院として、推薦があった病院の中から選考される。

選考基準は過去5ヶ年間の各年度において 収支の均衡が図られ、救急医療、保健衛生活動、他医療機関との連携、高度・特殊・先駆的医療、へき地医療の各状況を踏まえて総合的に判断されるもので、日野病院の主な選考理由は、無医地区で診療所を設置していること、鳥取大学と連携し総合診療医を育成していること等が高く評価されたもので、本年度は全国で6つの病院が同表彰を受賞したが、その中で病床数が100床未満の病院は当院のみであった。

令和5年度決算 医業収支(病院・在宅・診療所事業)年度比較表

(収益)

(単位:千円)

内訳	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考	
外来収益	病 院	355,741	341,622	360,455	358,447	382,941	415,637	399,941	△ 15,696	年間外来患者数 37, 009人(1人あたり 10, 807円)
	在 宅	70,001	72,007	75,154	79,581	73,502	71,205	63,536	△ 7,669	訪問看護20, 212千円・訪問リハビリ31, 857千円・居宅介護11, 467千円
	診療所	2,617	2,601	1,967	1,876	2,008	1,958	1,958	0	黒坂(1, 435千円)・二部(523千円)
入院収益	921,689	878,379	897,327	951,209	952,498	922,314	946,271	23,957	年間入院患者数 28, 393人(1人あたり 33, 328円)	
室料差額	33,009	29,811	28,529	29,282	25,966	20,950	22,956	2,006	稼働率(特別室15.6%・個室A66.2%・個室B81.0%)	
保健予防	26,185	28,937	30,583	32,220	36,762	39,835	39,323	△ 512	ドック・各種検診	
その他	16,562	15,223	15,956	22,996	15,847	12,315	8,470	△ 3,845	文書料等	
計(A)	1,425,804	1,368,580	1,409,971	1,475,611	1,489,524	1,484,214	1,482,455	△ 1,759		

(費用)

内訳	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
給 与 費	956,120	993,257	1,015,833	863,901	892,265	904,054	910,867	6,813	正職員(給料357,226千円、手当286,778千円)、フルタイム会計年度任用職員(給料77,741千円、手当19,536千円)、パートタイム会計年度任用職員(報酬32,785千円)、法定福利費136,801千円
退職給与金等	67,904	69,038	69,407	74,101	75,118	73,491	71,212	△ 2,279	通常分52,118千円(正職員46,504千円、会計年度任用職員5,614千円)・経過措置分(10年目)19,094千円
材 料 費	274,869	251,531	262,648	287,195	294,806	297,718	296,929	△ 789	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経 費	96,428	96,560	95,288	98,136	104,499	120,230	130,217	9,987	消耗品・光熱水費・修繕費等
委 託 費	142,149	150,409	151,688	326,199	327,560	308,195	326,579	18,384	給食・寝具・検査委託等
減価償却費等	125,280	127,808	165,088	160,172	170,309	195,560	199,151	3,591	減価償却費(197, 126千円)・資産減耗費(2, 025千円)
その他	9,383	9,547	5,675	2,539	3,796	6,199	14,782	8,583	研究研修費(6, 467千円)・本部費(419千円)・派遣職員(看護師)人件費負担金(7, 896千円)
計(B)	1,672,133	1,698,150	1,765,627	1,812,243	1,868,353	1,905,447	1,949,737	44,290	

(収支)

内訳	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
計(A)―(B)	△ 246,329	△ 329,570	△ 355,656	△ 336,632	△ 378,829	△ 421,233	△ 467,282	△ 46,049	医業収益計(A)―医業費用計(B)
(前年度との比較)	23,404	△ 83,241	△ 26,086	19,024	△ 42,197	△ 42,404	△ 46,049		

* 医業収支以外の主なもの

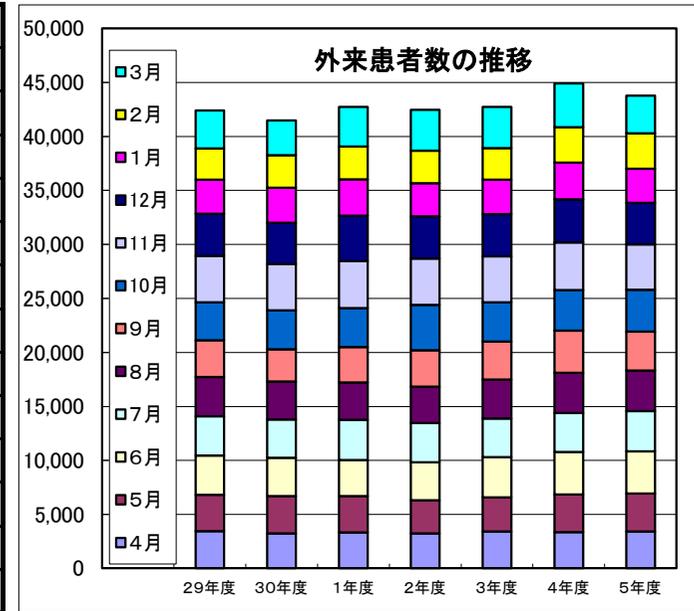
(単位:千円)

(収入)	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
負 担 金	340,730	345,984	357,706	368,234	413,619	394,012	434,519	40,507	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療 含む)
補 助 金	35,636	31,814	27,979	67,608	76,422	109,967	36,219	△ 73,748	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金・地域医療人材確保補助金 等
(支出)	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
起債償還等	173,477	151,833	162,319	192,253	183,493	197,895	206,679	8,784	元金 192, 166千円・利子14, 513千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

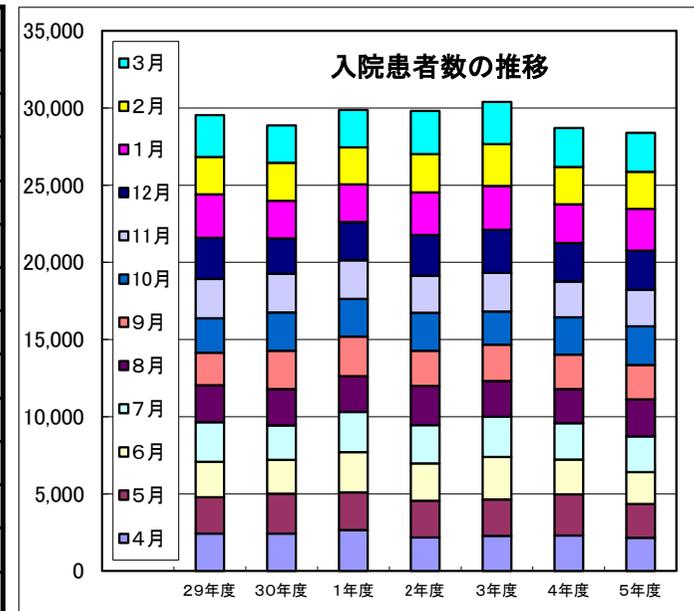
患者数	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
4月	3,458	3,238	3,346	3,239	3,413	3,373	3,431	58
5月	3,355	3,477	3,354	3,084	3,166	3,471	3,518	47
6月	3,640	3,531	3,343	3,518	3,733	3,948	3,879	△ 69
7月	3,634	3,537	3,714	3,627	3,577	3,585	3,752	167
8月	3,627	3,539	3,476	3,359	3,596	3,750	3,740	△ 10
9月	3,406	2,978	3,261	3,384	3,521	3,890	3,600	△ 290
10月	3,513	3,583	3,621	4,178	3,642	3,761	3,876	115
11月	4,303	4,300	4,332	4,309	4,262	4,408	4,196	△ 212
12月	3,889	3,821	4,208	3,892	3,906	4,006	3,863	△ 143
1月	3,162	3,234	3,379	3,091	3,185	3,371	3,144	△ 227
2月	2,915	3,034	3,046	2,991	2,928	3,282	3,289	7
3月	3,510	3,213	3,639	3,783	3,802	4,051	3,490	△ 561
計	42,412	41,485	42,719	42,455	42,731	44,896	43,778	△ 1,118



(入院患者数の推移)

(単位:人)

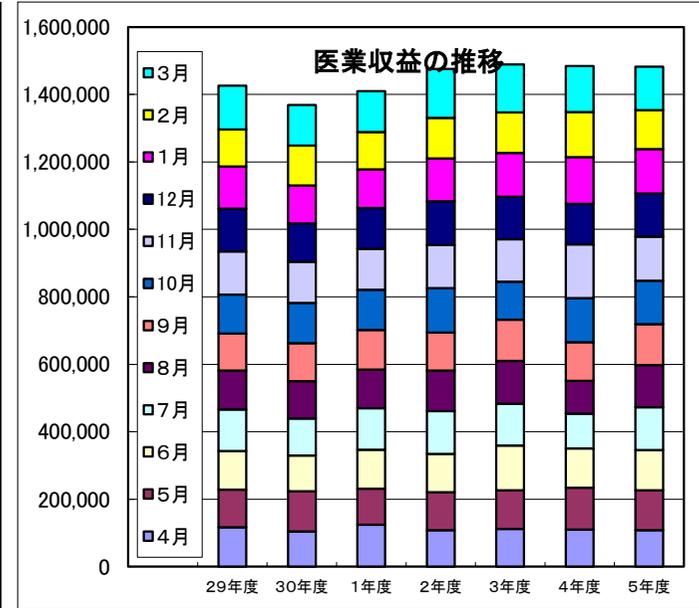
患者数	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
4月	2,438	2,423	2,651	2,187	2,292	2,302	2,158	△ 144
5月	2,344	2,583	2,444	2,367	2,354	2,681	2,187	△ 494
6月	2,295	2,197	2,603	2,414	2,754	2,242	2,069	△ 173
7月	2,572	2,223	2,610	2,494	2,599	2,356	2,314	△ 42
8月	2,384	2,369	2,324	2,539	2,314	2,213	2,391	178
9月	2,110	2,479	2,564	2,272	2,351	2,220	2,247	27
10月	2,236	2,476	2,430	2,460	2,147	2,438	2,500	62
11月	2,536	2,500	2,500	2,403	2,507	2,306	2,342	36
12月	2,684	2,305	2,489	2,643	2,805	2,502	2,561	59
1月	2,805	2,445	2,436	2,756	2,825	2,506	2,705	199
2月	2,420	2,460	2,400	2,488	2,723	2,416	2,398	△ 18
3月	2,708	2,403	2,413	2,780	2,714	2,522	2,521	△ 1
計	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	28,393	△ 311



(収益の推移)

(単位:千円)

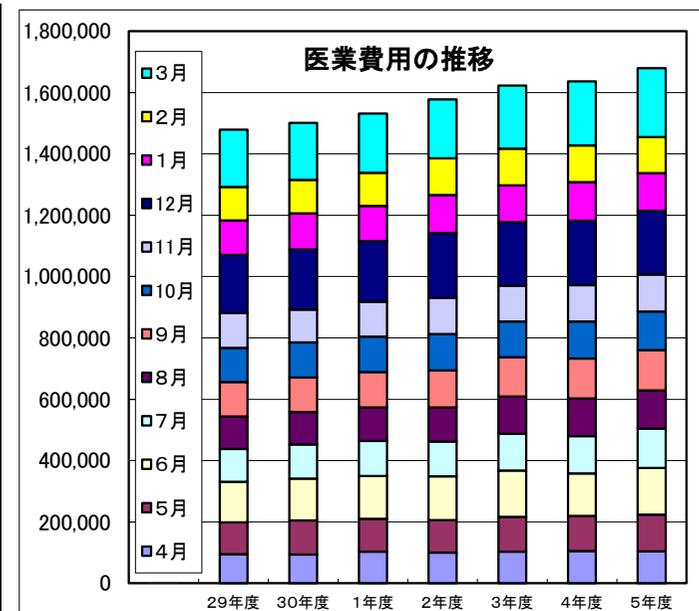
収益	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
4月	116,639	104,247	123,823	107,677	111,900	110,244	108,481	△ 1,763
5月	111,271	119,669	107,764	112,662	114,462	123,533	118,020	△ 5,513
6月	114,588	105,343	114,791	113,721	133,120	116,269	118,942	2,673
7月	123,042	109,785	123,674	127,009	123,335	103,035	126,742	23,707
8月	115,885	111,070	113,859	120,524	127,536	97,529	125,439	27,910
9月	109,947	112,628	118,210	112,239	122,321	114,834	120,943	6,109
10月	114,932	119,486	118,632	131,752	112,601	130,618	129,478	△ 1,140
11月	127,888	122,183	121,905	128,016	125,885	159,178	130,344	△ 28,834
12月	127,351	112,886	121,123	129,962	126,071	120,962	127,488	6,526
1月	124,661	113,306	114,350	127,192	128,989	138,164	132,338	△ 5,826
2月	110,451	118,068	110,367	119,536	120,824	133,413	115,700	△ 17,713
3月	129,148	119,909	121,473	145,322	142,479	136,435	128,540	△ 7,895
計	1,425,803	1,368,580	1,409,971	1,475,612	1,489,523	1,484,214	1,482,455	△ 1,759



(費用の推移)

(単位:千円)

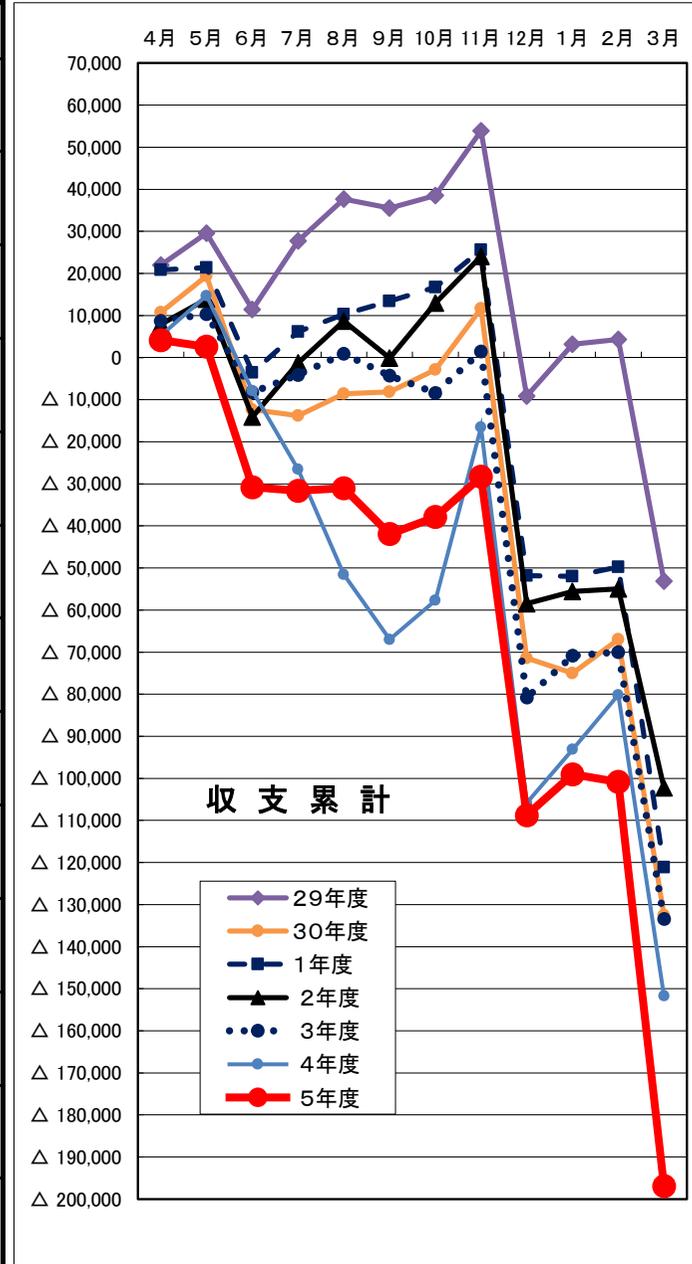
費用	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
4月	94,659	93,494	102,980	99,764	103,195	104,971	104,323	△ 648
5月	103,708	111,053	107,192	106,659	112,818	114,112	119,588	5,476
6月	132,671	137,092	139,737	141,756	151,694	138,872	152,347	13,475
7月	106,785	111,240	114,007	114,186	119,225	121,673	127,572	5,899
8月	105,946	105,871	109,739	110,577	122,503	122,518	124,837	2,319
9月	112,075	112,167	115,046	121,006	127,519	130,285	131,832	1,547
10月	111,939	114,173	115,329	118,643	116,716	121,314	125,446	4,132
11月	112,520	107,637	113,057	116,984	116,063	118,016	120,751	2,735
12月	190,408	196,015	198,547	212,441	208,288	210,318	207,948	△ 2,370
1月	112,280	116,847	114,467	124,343	119,068	125,418	122,621	△ 2,797
2月	109,367	110,089	108,185	118,880	119,921	120,442	117,500	△ 2,942
3月	186,571	185,401	192,846	192,621	205,909	207,981	224,607	16,626
計	1,478,929	1,501,079	1,531,132	1,577,860	1,622,919	1,635,920	1,679,372	43,452



(収支の推移)

(単位:千円)

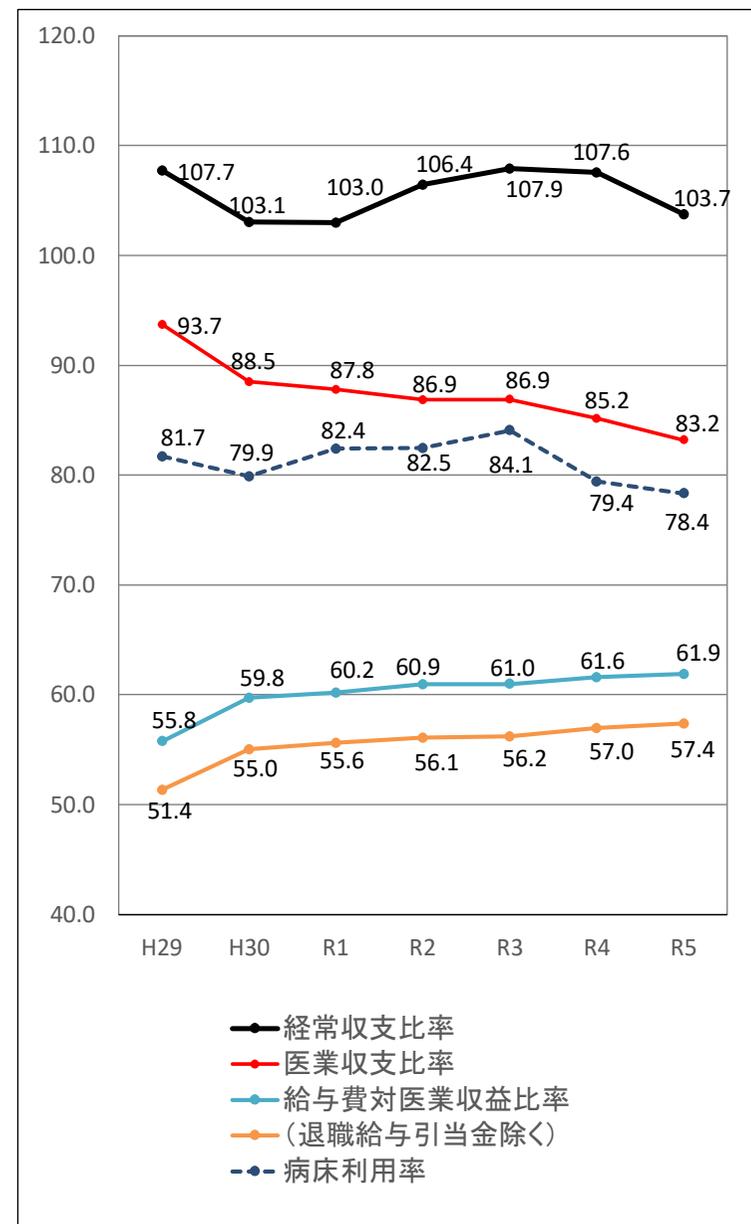
収支	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
4月	21,980	10,753	20,843	7,913	8,705	5,273	4,158	△ 1,115
5月	7,563	8,616	572	6,003	1,644	9,421	△ 1,568	△ 10,989
6月	△ 18,083	△ 31,749	△ 24,946	△ 28,035	△ 18,574	△ 22,603	△ 33,405	△ 10,802
7月	16,257	△ 1,455	9,667	12,823	4,110	△ 18,638	△ 830	17,808
8月	9,939	5,199	4,120	9,947	5,033	△ 24,989	602	25,591
9月	△ 2,128	461	3,164	△ 8,767	△ 5,198	△ 15,451	△ 10,889	4,562
10月	2,993	5,313	3,303	13,109	△ 4,115	9,304	4,032	△ 5,272
11月	15,368	14,546	8,848	11,032	9,822	41,162	9,593	△ 31,569
12月	△ 63,057	△ 83,129	△ 77,424	△ 82,479	△ 82,217	△ 89,356	△ 80,460	8,896
1月	12,381	△ 3,541	△ 117	2,849	9,921	12,746	9,717	△ 3,029
2月	1,084	7,979	2,182	656	903	12,971	△ 1,800	△ 14,771
3月	△ 57,423	△ 65,492	△ 71,373	△ 47,299	△ 63,430	△ 71,546	△ 96,067	△ 24,521
計	△ 53,126	△ 132,499	△ 121,161	△ 102,248	△ 133,396	△ 151,706	△ 196,917	△ 45,211



決算統計数値の推移

項目	決算統計	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
医業収益 (A)	20表(2)	1,531,160	1,468,544	1,512,614	1,530,403	1,577,345	1,576,294	1,576,180
医業外収益 (B)	20表(15)	304,097	311,795	336,785	428,707	468,375	499,282	469,081
医業費用 (C)	20表(26)	1,633,384	1,659,408	1,722,185	1,761,521	1,815,106	1,850,635	1,893,978
医業外費用 (D)	20表(40)	70,080	67,923	73,450	79,143	80,148	78,603	77,783
職員給与費 (E)	20表(27)	854,210	877,465	910,817	932,607	962,056	971,418	975,885
材料費 (F)	20表(28)	254,845	232,134	241,728	261,086	268,014	270,660	269,954
うち薬品費 (G)	21表(22)	131,251	129,876	136,658	130,778	138,816	133,787	139,376
年延入院患者数 (H)	27表(6)	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	28,393
うち一般患者数 (I)	27表(1)	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	28,393
年延病床数 (J)	27表(12)	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234
うち一般病床数 (K)	27表(7)	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234

項目		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
経常収支比率	$\frac{(A)+(B)}{(C)+(D)}$	107.7	103.1	103.0	106.4	107.9	107.6	103.7
医業収支比率	$\frac{(A)}{(C)}$	93.7	88.5	87.8	86.9	86.9	85.2	83.2
職員給与費対医業収益比率	$\frac{(E)}{(A)}$	55.8	59.8	60.2	60.9	61.0	61.6	61.9
材料費対医業収益比率	$\frac{(F)}{(A)}$	16.6	15.8	16.0	17.1	17.0	17.2	17.1
うち薬品費対医業収益比率	$\frac{(G)}{(A)}$	8.6	8.8	9.0	8.5	8.8	8.5	8.8
病床利用率	$\frac{(H)}{(J)}$	81.7	79.9	82.4	82.5	84.1	79.4	78.4
うち一般病床	$\frac{(I)}{(K)}$	81.7	79.9	82.4	82.5	84.1	79.4	78.4



令和5年度 外来患者(在宅・診療所含)分析

(単位:人)

収益

(単位:千円)

患者数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	稼動	平均
4月	3,503	3,515	3,401	3,458	3,238	3,346	3,239	3,413	3,373	3,431	58	20	171.6
5月	3,531	3,268	3,374	3,355	3,477	3,354	3,084	3,166	3,471	3,518	47	20	175.9
6月	3,556	3,579	3,589	3,640	3,531	3,343	3,518	3,733	3,948	3,879	△ 69	22	176.3
7月	3,759	3,735	3,611	3,634	3,537	3,714	3,627	3,577	3,585	3,752	167	20	187.6
8月	3,418	3,425	3,787	3,627	3,539	3,476	3,359	3,596	3,750	3,740	△ 10	20	187.0
9月	3,587	3,339	3,639	3,406	2,978	3,261	3,384	3,521	3,890	3,600	△ 290	20	180.0
10月	3,998	3,641	3,385	3,513	3,583	3,621	4,178	3,642	3,761	3,876	115	21	184.6
11月	3,893	4,230	4,238	4,303	4,300	4,332	4,309	4,262	4,408	4,196	△ 212	20	209.8
12月	4,158	4,019	4,099	3,889	3,821	4,208	3,892	3,906	4,006	3,863	△ 143	20	193.2
1月	3,616	3,262	3,383	3,162	3,234	3,379	3,091	3,185	3,371	3,144	△ 227	19	165.5
2月	3,177	3,258	3,188	2,915	3,034	3,046	2,991	2,928	3,282	3,289	7	19	173.1
3月	3,619	3,784	3,733	3,510	3,213	3,639	3,783	3,802	4,051	3,490	△ 561	20	174.5
計	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	42,455	42,731	44,896	43,778	△ 1,118	241	181.7

収益	病院	訪問	診療所
33,070	5,589	99	
34,546	5,680	187	
37,201	5,904	123	
37,851	5,486	205	
35,318	4,905	119	
34,961	4,675	200	
32,310	5,357	149	
31,808	5,269	236	
32,627	5,012	153	
28,892	4,944	178	
28,193	5,276	135	
33,164	5,439	174	
399,941	63,536	1,958	

(内訳)

(単位:人)

(単位:千円)

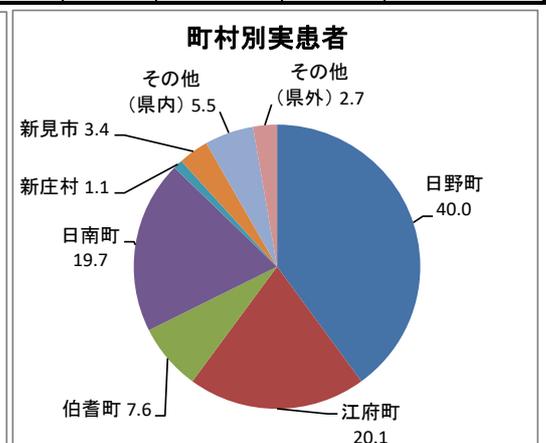
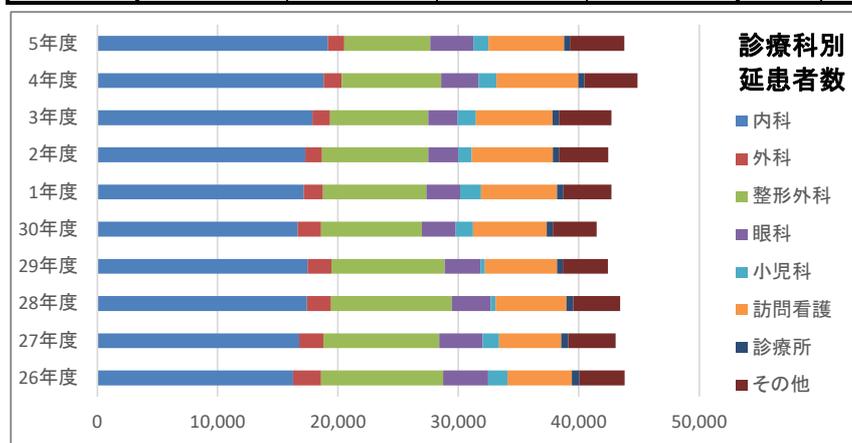
診療科	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	稼動	平均
内科	14,905	15,372	16,015	15,564	14,950	15,528	15,431	15,697	16,565	16,856	291	241	69.9
(内 透析)	1,714	1,804	1,995	1,953	1,917	2,032	2,116	2,144	1,719	1,654	△ 65	260	6.4
循環器内科	0	0	0	421	484	469	560	871	951	1,014	63	94	10.8
消化器内科	576	645	743	795	545	486	522	421	454	445	△ 9	48	9.3
脳神経内科	778	767	657	688	678	677	771	885	831	840	9	49	17.1
外科	2,063	1,755	1,737	1,710	1,668	1,315	1,125	1,210	1,290	1,169	△ 121	240	4.9
整形外科	10,137	9,630	10,025	9,424	8,378	8,582	8,816	8,174	8,271	7,122	△ 1,149	239	29.8
心臓血管外科	270	244	271	274	277	289	277	251	215	213	△ 2	46	4.6
眼科	3,742	3,599	3,251	2,947	2,783	2,797	2,490	2,423	3,109	3,585	476	231	15.5
耳鼻咽喉科	694	730	610	631	560	575	464	472	408	583	175	48	12.1
泌尿器科	1,350	1,302	1,442	1,275	1,224	1,488	1,512	1,543	1,512	1,424	△ 88	88	16.2
皮膚科	747	836	855	826	897	913	980	1,045	1,147	1,129	△ 18	50	22.6
女性診療科	168	192	220	221	198	222	218	253	210	161	△ 49	49	3.3
小児科	1,604	1,363	402	373	1,466	1,744	1,130	1,537	1,476	1,250	△ 226	146	8.6
心療内科	743	764	777	770	759	798	929	981	1,059	1,095	36	50	21.9
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	80	101	123	22	21	5.9
訪問看護・リハ	5,345	5,182	5,869	5,994	6,114	6,323	6,728	6,364	6,805	6,298	△ 507	241	26.1
黒坂診療所	550	534	512	462	446	448	429	462	393	365	△ 28	97	3.8
二部診療所	69	47	41	37	58	65	73	62	99	106	7	45	2.4
計	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	42,455	42,731	44,896	43,778	△ 1,118	-	-

収益	診療単価	備考
250,466	14,859	月～金
48,693	29,440	月～金
9,364	9,235	月・木
5,772	12,971	水
3,753	4,468	木
20,328	17,389	月～金
53,949	7,575	月～金
1,114	5,230	第1～4火
19,593	5,465	月～金
2,917	5,003	木
14,095	9,898	月・木
2,755	2,440	火
720	4,472	火
9,622	7,698	火・水・金
4,783	4,368	金
710	5,772	第1・3月
63,536	10,088	随時
1,435	3,932	火・木
523	4,934	水
465,435	10,632	

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町(小計)	日南町	新庄村	新見市	その他(県内)	その他(県外)	合計
実患者数*	1,956	984	371	3,311	963	53	166	271	132	4,896
割合(%)	40.0	20.1	7.6	67.6	19.7	1.1	3.4	5.5	2.7	100.0
(R4実患者数)	1,897	979	347	3,223	919	35	96	242	160	4,675
割合(%)	40.3	20.8	6.6	68.9	19.7	0.7	2.1	5.2	3.4	100.0



令和5年度 入院患者分析

(単位:人)

患者数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	稼働	平均	稼働率 (%)	入院収益
4月	1,975	2,106	2,283	2,438	2,423	2,651	2,187	2,292	2,302	2,158	△ 144	30	71.9	72.7	66,956
5月	1,743	2,045	2,173	2,344	2,583	2,444	2,367	2,354	2,681	2,187	△ 494	31	70.5	71.3	74,297
6月	1,843	1,848	2,190	2,295	2,197	2,603	2,414	2,754	2,242	2,069	△ 173	30	69.0	69.7	70,607
7月	1,943	2,052	2,079	2,572	2,223	2,610	2,494	2,599	2,356	2,314	△ 42	31	74.6	75.4	76,729
8月	2,016	2,211	2,302	2,384	2,369	2,324	2,539	2,314	2,213	2,391	178	31	77.1	77.9	80,645
9月	2,108	2,128	2,374	2,110	2,479	2,564	2,272	2,351	2,220	2,247	27	30	74.9	75.7	75,539
10月	2,179	2,246	2,534	2,236	2,476	2,430	2,460	2,147	2,438	2,500	62	31	80.6	81.5	85,146
11月	2,024	2,037	2,638	2,536	2,500	2,500	2,403	2,507	2,306	2,342	36	30	78.1	78.9	83,807
12月	2,312	2,290	2,751	2,684	2,305	2,489	2,643	2,805	2,502	2,561	59	31	82.6	83.4	80,185
1月	2,517	2,310	2,736	2,805	2,445	2,436	2,756	2,825	2,506	2,705	199	31	87.3	88.1	93,481
2月	2,207	2,198	2,521	2,420	2,460	2,400	2,488	2,723	2,416	2,398	△ 18	29	82.7	83.5	77,821
3月	2,506	2,651	2,641	2,708	2,403	2,413	2,780	2,714	2,522	2,521	△ 1	31	81.3	82.1	81,058
計	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	28,393	△ 311	366	77.6	78.4	946,271

(内訳)

(単位:人)

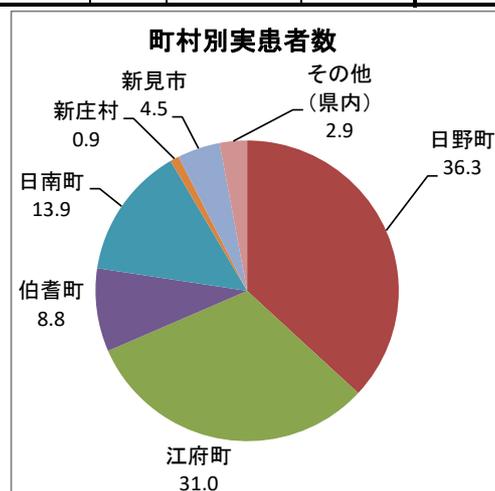
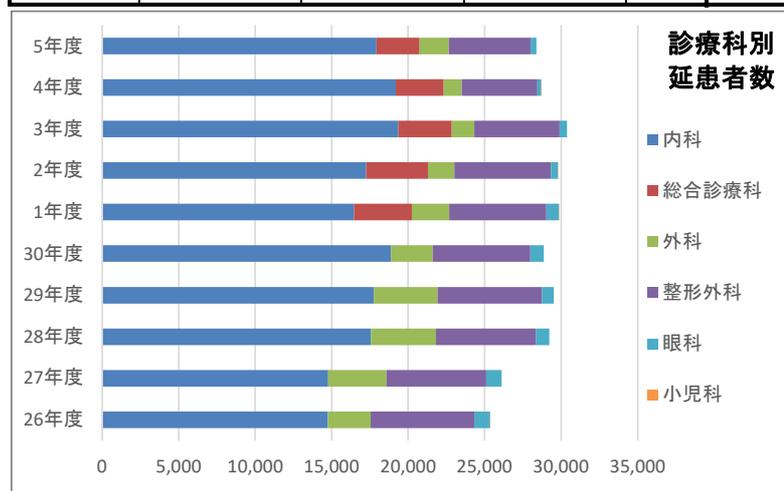
(単位:千円)

診療科	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	稼働	平均	収益 (千円)	単価 (円)
内科	14,746	14,771	17,569	17,762	18,865	16,461	17,252	19,351	19,194	17,920	△ 1,274	366	49.0	548,007	30,581
総合診療科	0	0	0	0	0	3,790	4,044	3,509	3,139	2,831	△ 308	366	7.7	89,100	31,473
外科	2,800	3,819	4,251	4,171	2,751	2,443	1,728	1,456	1,177	1,907	730	366	5.2	83,329	43,696
整形外科	6,772	6,523	6,523	6,805	6,380	6,349	6,306	5,575	4,944	5,341	397	366	14.6	201,175	37,666
眼科	1,036	1,009	879	794	867	819	471	494	248	394	146	366	1.1	24,660	62,589
小児科	19	0	0	0	0	2	2	0	2	0	△ 2	366	0.0	0	-
計	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	29,803	30,385	28,704	28,393	△ 311	366	77.6	946,271	33,328
平均患者数	69.5	71.4	80.1	80.9	79.1	81.6	81.7	83.2	78.6	77.6					
稼働率	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9	82.4	82.5	84.1	79.4	78.4	(一般病床99床)				

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町 (小計)	日南町	新庄村	新見市	その他 (県内)	その他 (県外)	構成町以外 (小計)	合計
実患者数*	276	236	67	579	106	7	34	22	13	182	761
割合 (%)	36.3	31.0	8.8	76.1	13.9	0.9	4.5	2.9	1.7	23.9	100.0
(R4実患者数)	261	157	54	472	98	5	14	23	13	153	625
割合 (%)	41.8	25.1	8.6	75.5	15.7	0.8	2.2	3.7	2.1	24.5	100.0



材 料 費 ・ 経 費 ・ 委 託 費 比 較 表

(材料費)

(単位:円)

項目	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
材料費支払額	98,800,535	87,520,371	85,406,546	105,530,999	96,413,157	90,566,446	97,764,301	7,197,855	新型コロナ用物品支給が終了、物価高による値上がり等による増
医薬品	172,364,134	161,101,116	174,085,413	174,179,992	192,940,729	202,626,289	194,316,182	△ 8,310,107	薬局薬剤+4,523千円(患者治療薬)、検査薬剤△12,833千円(PCR検査試薬等の減)
その他	3,704,813	2,909,706	3,156,194	7,483,859	5,451,768	4,524,445	4,847,781	323,336	医療消耗備品費4,645千円・給食材料費203千円 医療消耗備品更新の増
支払金額	274,869,482	251,531,193	262,648,153	287,194,850	294,805,654	297,717,180	296,928,264	△ 788,916	

(経費)

(単位:円)

項目	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
厚生福利費	2,303,977	2,728,623	2,740,941	2,465,391	2,660,220	2,550,940	2,632,949	82,009	
交際費	981,142	985,583	774,096	755,406	981,328	825,985	959,985	134,000	
旅費交通費	119,625	187,570	183,520	1,025,522	1,166,246	1,590,824	1,226,363	△ 364,461	
職員被服費	5,783,188	5,657,297	5,566,158	5,464,663	5,198,283	5,933,444	7,290,736	1,357,292	看護師用ユニフォームリース単価の増等
消耗品費	9,586,102	9,132,385	9,044,043	9,549,473	9,124,374	9,347,450	9,399,682	52,232	
消耗備品費	954,858	977,763	1,063,504	1,585,185	1,194,231	1,723,511	2,063,869	340,358	更新物品の増
光熱水費	40,534,378	42,403,380	40,690,890	37,771,976	45,298,594	58,806,648	61,839,198	3,032,550	電気料金、灯油・ガス単価の増による
燃料費	1,384,242	1,497,283	1,402,718	1,271,014	1,513,181	1,364,667	1,354,276	△ 10,391	使用量の減
食糧費	6,576	8,640	2,541	0	3,795	7,914	0	△ 7,914	
印刷製本費	1,008,288	858,276	883,450	870,210	868,670	892,210	1,016,180	123,970	
修繕費	9,217,657	7,876,161	9,112,799	10,754,810	9,805,782	8,969,347	13,981,184	5,011,837	医療機器、施設修繕費の増
保険料	2,743,768	2,792,924	2,799,444	2,804,269	1,472,678	2,935,147	2,929,287	△ 5,860	
賃借料	15,994,352	15,802,026	14,908,023	16,668,056	18,086,808	18,405,002	16,654,508	△ 1,750,494	人工呼吸器レンタル等の減、LED照明リース満了による減
通信運搬費	3,014,625	2,900,482	2,993,820	3,470,644	3,746,233	3,984,330	4,052,988	68,658	通話量等の増
諸会費	1,105,440	1,135,112	1,211,582	1,084,864	1,126,777	1,212,259	1,454,152	241,893	
特別修繕引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,100,000	1,100,000	キュービクル内のコンデンサ交換の為の引当金
貸倒引当金繰入額	0	0	653,000	360,000	319,000	168,000	595,000	427,000	
雑費	1,689,623	1,617,347	1,257,378	2,234,930	1,933,298	1,511,944	1,665,918	153,974	
支払金額	96,427,841	96,560,852	95,287,907	98,136,413	104,499,498	120,229,622	130,216,275	9,986,653	

(委託費)

(単位:円)

項目	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備 考
検査委託費(支払実績)	12,350,248	11,894,725	14,072,591	14,574,749	17,483,929	18,247,305	19,741,015	1,493,710	外注検査件数の増による
寝具単価	4,068,478	4,230,138	4,668,703	4,195,565	4,649,852	4,973,396	4,961,186	△ 12,210	使用数の減
病衣単価	1,098,144	1,101,060	1,684,236	2,160,672	0	0	0	0	CSセット導入により
給食(委託費)	33,696,000	33,696,000	34,008,000	35,640,000	35,640,000	35,640,000	35,640,000	0	平成26年～月額2,600,000円(税抜)・令和2年～月額2,700,000円(税抜)
給食(材料費)	16,323,682	16,112,089	16,806,245	15,736,428	15,982,569	15,230,534	18,105,591	2,875,057	食事提供数等の増
自動分析装置	1,188,000	1,358,640	1,199,000	1,280,400	1,482,800	1,387,100	320,870	△ 1,066,230	更新年度
MR保守料	8,203,680	8,203,680	8,240,400	8,316,000	8,316,000	8,316,000	8,316,000	0	平成26年～月額683,640円(税込)・令和1年4月～月額680,400円、10月～月額693,000円(税込)
CT・DRテレビ保守料	7,663,680	7,393,680	8,885,010	10,520,400	10,893,300	4,088,700	10,988,120	6,899,420	CT(R3年度更新)前年度無償期間内。今年度より保守料支払による増。
富士FCRシステム保守	1,681,560	1,681,560	0	0	0	0	0	0	サポート期間終了
消防用設備点検	426,600	426,600	430,550	434,500	434,500	434,500	434,500	0	平成20年～年額395,000円(税抜)
空気調和設備保守	2,592,000	2,592,000	2,616,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,618,000	△ 22,000	年4回実施
透析浸透水処理定期点検他	674,136	4,087,308	676,512	1,589,720	975,700	2,401,300	813,560	△ 1,587,740	2年に1回オーバーホールあり(メンテナンス時の交換部品により金額変動)
日立人工透析排水維持管理	432,000	782,352	436,000	440,000	440,000	440,000	440,000	0	
三菱昇降機保守	2,021,760	2,021,760	2,040,480	2,059,200	2,059,200	2,059,200	2,059,200	0	
自動ドア保守	810,000	810,000	815,000	825,000	825,000	825,000	825,000	0	
カーテン保守	401,112	427,127	433,470	437,448	437,448	437,448	441,188	3,740	保守未契約のカーテンクリーニングを依頼
電気保安協会業務	697,031	697,031	703,485	709,940	709,940	709,940	709,940	0	
清掃、洗濯委託料	12,694,320	12,694,320	12,811,860	12,276,000	12,929,400	12,929,400	15,285,600	2,356,200	令和2年コロナの影響でワックス清掃を行わなかったため△594,000円(税抜) 令和5年人件費の高騰等により増(入札)月額979,500円(税抜)から月額1,158,000円(税抜)
特別清掃	1,406,160	1,406,160	1,430,000	1,432,200	775,500	781,000	1,105,500	324,500	昨年度、コロナの影響により一部業務を行わなかった
医療廃棄物処理	4,328,640	4,444,740	4,617,900	4,897,750	6,015,900	10,443,400	5,854,750	△ 4,588,650	新型コロナウイルス感染症の5類移行により減

医療ガス設備保守	967,680	947,376	1,002,574	1,027,240	988,130	979,880	976,690	△ 3,190	ボンベ検査実施件数の減
玄関マット	205,932	226,668	310,776	327,456	327,456	356,220	391,572	35,352	月額 23,760円(税抜)・令和2年月額 24,808円(税抜)・令和4年月額 26,986円(税抜)・令和5年月額 29,664円(税抜)
コピー機積算カウンター料金	507,738	580,556	708,546	519,184	649,861	619,172	583,252	△ 35,920	使用量の減(使用量で金額変動)
生ゴミ処理機保守	103,680	103,680	104,640	35,200	0	0	0	0	
除雪	550,000	550,000	550,000	550,000	590,000	630,000	630,000	0	月額 157,500円(税込)
特殊建築物定期調査	0	140,400	289,300	55,000	0	289,300	0	△ 289,300	建物全体の調査の年(3年に1回)
電子カルテ等情報システム保守	5,269,488	8,469,529	10,252,678	11,041,782	12,126,972	12,182,742	11,855,602	△ 327,140	
病院警備委託料	6,053,688	7,713,636	7,785,054	7,856,472	7,856,472	8,020,884	8,799,120	778,236	平成25年～月額467,106円 平成30年～月額595,188円(税抜) 令和4年～月額607,643円(税抜) 令和5年～月額666,600円(税抜)
薬剤共同購入委託費	0	0	0	0	2,243,765	4,105,722	4,210,855	105,133	薬剤購入金額の3%(令和3年度10月から導入)
人事給与管理システム	336,960	444,960	340,080	343,200	343,200	563,200	1,718,200	1,155,000	インボイス対応システム改修
手術室環境モニタリング	693,360	637,200	649,000	649,000	649,000	649,000	649,000	0	
おしどりネット利用料	0	0	0	720,000	720,000	720,000	720,000	0	
医療コミュニケーションシステム利用料	0	0	0	0	0	0	55,000	55,000	
非常勤医師等委託料	0	0	0	167,795,154	158,995,751	141,544,258	146,784,783	5,240,525	主に整形外科手術件数の増等による
遠隔画像診断支援業務	9,939,780	9,771,948	10,898,900	12,266,980	13,059,420	12,139,930	13,493,480	1,353,550	検査件数の増減による
その他	4,764,258	4,762,036	2,221,723	2,845,352	6,319,826	3,410,525	7,700,056	4,289,531	CM放送+1,313,400円、総務大臣表彰広告+1,485,000円、手術室モニター点検+701,008円、スポットチェックモニタ保守+385,000円、HbA1c分析計スポット点検+253,000円等による。
支払金額	142,149,795	150,408,959	151,688,713	326,197,992	327,560,891	308,195,056	326,578,630	18,383,574	

人件費比較表

(単位:千円)

項目		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備考
給料	医師	27,712	31,816	38,029	35,362	37,409	40,789	44,871	4,082	医師の異動による増
	看護師	170,670	167,994	172,628	175,569	180,138	168,443	161,772	△ 6,671	職員の退職等による
	准看護師	25,196	22,024	22,225	16,559	12,857	12,948	13,093	145	
	医療技術員	77,411	82,071	77,285	83,670	84,387	94,916	92,371	△ 2,545	入退職者の本給の差等による
	事務員	37,919	43,029	39,352	42,803	44,111	40,352	36,708	△ 3,644	職員の退職による
	労務員	9,733	9,807	9,861	9,301	9,336	9,360	8,411	△ 949	
	小計	348,641	356,741	359,380	363,264	368,238	366,808	357,226	△ 9,582	
フルタイム会計	看護師	0	0	0	20,357	20,541	19,863	26,206	6,343	
	准看護師	0	0	0	7,780	5,659	2,243	2,957	714	昨年度病休職員の復帰調整等
	医療技術員	0	0	0	2,952	2,952	4,790	4,644	△ 146	臨床検査技師の減
	事務員	0	0	0	19,993	22,530	25,848	30,265	4,417	外来クラークの増
	労務員	0	0	0	8,417	11,906	13,243	13,670	427	
小計	0	0	0	59,499	63,588	65,987	77,741	11,754		
賃金	嘱託医師	8,901	27,980	20,539	0	0	0	0	0	制度改正による科目変更により皆減(R2～)
	非常勤医師	147,578	139,272	136,567	0	0	0	0	0	"
	看護師	8,022	16,465	32,209	0	0	0	0	0	"
	准看護師	14,792	18,005	16,855	0	0	0	0	0	"
	医療技術員	14,036	9,577	9,715	0	0	0	0	0	"
	事務員	24,674	24,417	25,904	0	0	0	0	0	"
	労務員	17,773	16,473	14,862	0	0	0	0	0	"
小計	235,776	252,189	256,651	0	0	0	0	0		
手当(正職員)	扶養手当	6,912	7,051	6,836	7,442	7,195	7,656	7,962	306	
	地域手当	5,209	5,785	6,746	6,355	6,662	7,149	7,837	688	
	管理職手当	7,106	6,883	5,853	5,647	5,880	5,855	5,485	△ 370	
	住居手当	3,627	3,167	4,225	4,947	5,202	6,254	5,588	△ 667	
	通勤手当	10,761	10,669	12,060	12,424	13,849	13,522	13,209	△ 313	
	初任給調整手当	17,426	19,323	23,376	20,325	22,428	18,480	21,625	3,145	医師の異動による
	医療業務手当	6,780	7,220	8,100	7,605	8,100	8,155	11,760	3,605	医師の異動による
	放射線取扱手当	161	182	168	238	252	210	238	28	
	時間外勤務手当	23,755	24,810	20,814	20,408	20,520	21,643	19,020	△ 2,623	
	日当直手当	4,042	3,253	3,376	3,100	3,241	3,718	4,640	922	
	管理職特別手当	1,952	1,811	1,861	2,084	2,244	2,130	4,891	2,761	
	夜間看護手当	10,370	9,602	10,899	10,541	11,322	11,936	10,563	△ 1,373	
	夜間勤務手当	3,608	3,325	3,372	3,057	3,200	3,291	3,366	75	
	待機手当	292	292	534	662	617	638	586	△ 52	
	防疫等業務手当	0	0	0	237	1,823	6,117	124	△ 5,993	新型コロナ入院患者等の対応に係る減
	児童(子供)手当	3,250	2,785	3,455	4,090	4,010	4,745	4,790	45	
	期末手当	54,156	56,166	56,188	54,094	54,514	45,064	51,903	6,839	4年度に人事院勧告による率の減があった事に加え、併せて3年度適及減額調整も行っていたため4年度が低かった。
	勤労手当	35,254	37,397	40,323	38,996	39,301	41,938	39,289	△ 2,649	職員の減に加え入退職者本給の差による減等
	救急医療機関勤務臨時	0	0	0	0	0	4,451	6,616	2,165	看護職員処遇改善に係る手当(R4新設)令和4年10月から増額。4～9月に掛かる支給額の差分
	賞与引当金繰入額	54,745	56,854	61,415	63,534	63,888	59,563	67,286	7,723	
小計	249,406	256,575	269,601	265,786	274,248	272,515	286,778	14,263		
(会計年度任用職員)	通勤手当	0	0	0	1,954	1,980	2,150	2,230	80	
	時間外勤務手当	0	0	0	2,491	2,595	2,851	2,729	△ 122	
	日当直手当	0	0	0	707	589	441	369	△ 72	
	夜間看護手当	0	0	0	672	737	540	621	81	
	夜間勤務手当	0	0	0	182	200	148	197	49	
	待機手当	0	0	0	2	0	0	0	0	
	期末手当	0	0	0	8,322	9,321	8,533	11,367	2,834	人員の増、支給率の増
	防疫等業務手当	0	0	0	6	468	1,158	32	△ 1,126	新型コロナ入院患者等の対応に係る減
救急医療機関勤務臨時	0	0	0	0	0	1,138	1,992	854	同、手当(正職員)	
小計	0	0	0	14,336	15,890	16,959	19,536	2,577		
パートタイム会計	医師	0	0	0	17,717	18,050	21,141	11,600	△ 9,541	人員の減
	看護師	0	0	0	1,631	1,935	4,042	5,634	1,592	
	准看護師	0	0	0	4,350	4,911	6,031	3,035	△ 2,996	
	医療技術員	0	0	0	2,071	2,178	4,516	4,739	223	
	事務員	0	0	0	5,638	5,681	5,378	5,523	145	
	労務員	0	0	0	514	1,544	1,935	2,254	319	
小計	0	0	0	31,921	34,299	43,043	32,785	△ 10,258		
法定福利費	共済負担金	101,214	103,553	105,120	105,531	122,156	124,008	124,628	620	
	共済追加費用	8,679	8,459	7,363	7,396	7,867	6,593	6,120	△ 473	
	社会保険料	10,272	13,460	15,503	13,841	4,294	6,011	3,293	△ 2,718	
	公務災害負担金	801	744	726	732	743	740	847	107	
	労災保険料	1,331	1,536	1,489	1,595	942	1,390	1,913	523	
小計	122,297	127,752	130,201	129,095	136,002	138,742	136,801	△ 1,941		
退職給	退職給付引当金(通常)	48,810	49,944	50,313	55,007	56,024	54,397	52,118	△ 2,279	
	退職給付引当金(追加)	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	0	
	小計	67,904	69,038	69,407	74,101	75,118	73,491	71,212	△ 2,279	
給与費計(A)	1,024,024	1,062,295	1,085,240	938,002	967,383	977,545	982,079	4,534		
《参考》										
で委託費	非常勤医師	0	0	0	165,893	157,305	139,868	145,439	5,571	
	非常勤医療技術員	0	0	0	1,902	1,691	1,676	1,346	△ 330	
計(B)	0	0	0	167,795	158,996	141,544	146,785	5,241		
合計(A)+(B)	1,024,024	1,062,295	1,085,240	1,105,797	1,126,379	1,119,089	1,128,863	9,774		

人件費比較表（職員数）

年間延人数

（単位：人）

項目		30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備考
正職員 (再任用職員含)	医師	68	84	77	84	85	96	11.0	1名増
	看護師	579	634	643	655	637	609	△ 28.0	職員の退職等による減
	准看護師	72	72	57	48	48	48	0.0	
	医療技術員	321	320	324	316	347	354	7.0	放射線技師増
	事務員	156	144	168	161	144	132	△ 12.0	職員の退職等による減
	労務員	36	36	36	36	36	36	0.0	
小計		1,232	1,290	1,305	1,300	1,297	1,275	△ 22.0	
非常勤職員	医師	36	27	24	24	24	12	△ 12.0	1名退職
	非常勤医師	703	675	713	728	694	688	△ 6.0	診療回数の減等
	看護師	68	111	96	107	116	152	36.0	正職からの雇用形態変更を含む増
	准看護師	77	72	72	66	61	38	△ 23.0	退職による
	医療技術員	47	44	75	77	87	83	△ 4.0	
	事務員	160	158	156	172	186	192	6.0	
	労務員	86	73	52	77	84	80	△ 4.0	
小計		1,177	1,160	1,188	1,251	1,252	1,245	△ 7.0	
計		2,409	2,450	2,493	2,551	2,549	2,520	△ 29.0	

1月あたり人数

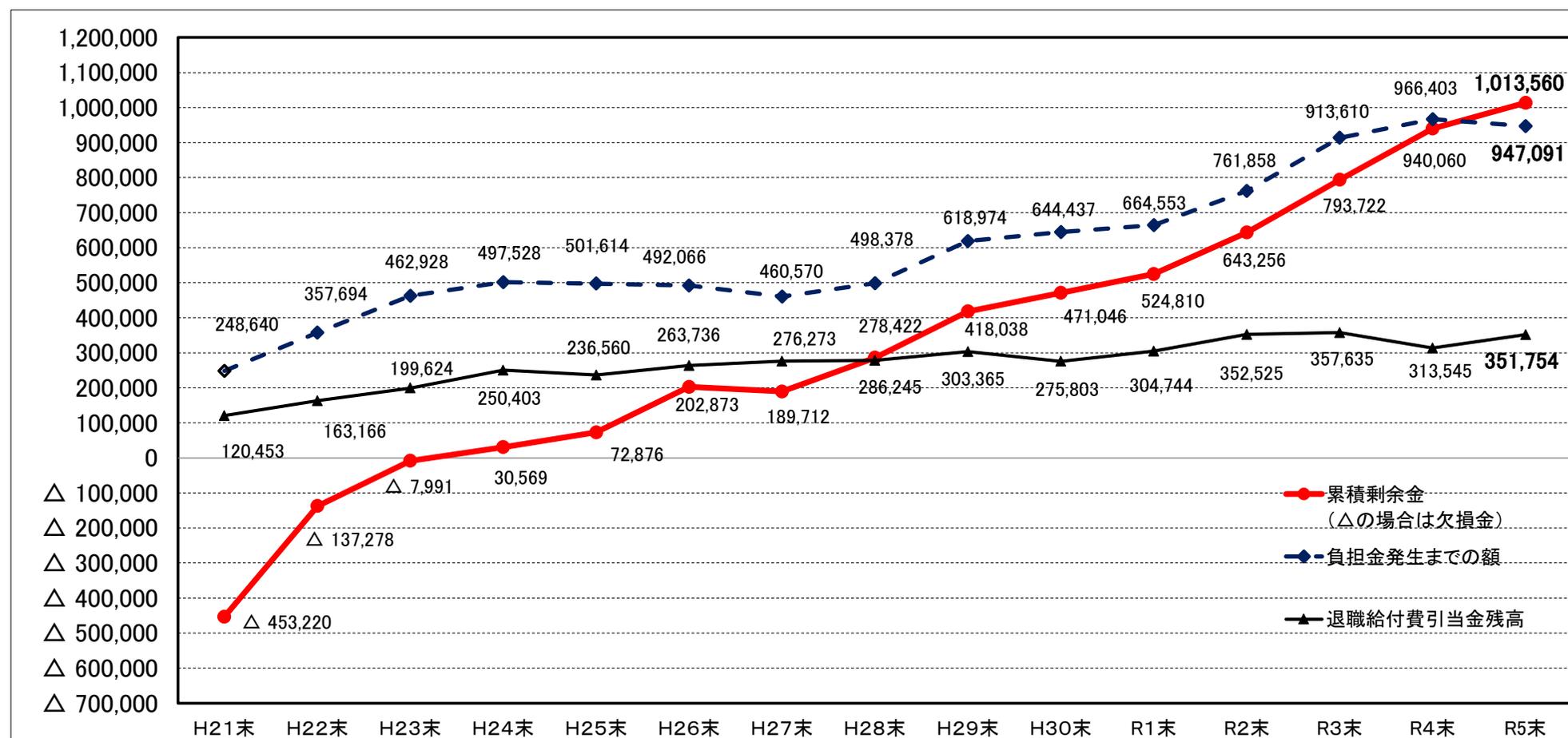
（単位：人）

項目		30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引	備考
正職員 (再任用職員含)	医師	5.7	7.0	6.4	7.0	7.1	8.0	0.9	
	看護師	48.3	52.8	53.6	54.6	53.1	50.8	△ 2.3	
	准看護師	6.0	6.0	4.8	4.0	4.0	4.0	0.0	
	医療技術員	26.8	26.7	27.0	26.3	28.9	29.5	0.6	
	事務員	13.0	12.0	14.0	13.4	12.0	11.0	△ 1.0	
	労務員	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	
小計		102.7	107.5	108.8	108.3	108.1	106.3	△ 1.8	
非常勤職員	医師	3.0	2.3	2.0	2.0	2.0	1.0	△ 1.0	
	非常勤医師	58.6	56.3	59.4	60.7	57.8	57.3	△ 0.5	
	看護師	5.7	9.3	8.0	8.9	9.7	12.7	3.0	
	准看護師	6.4	6.0	6.0	5.5	5.1	3.2	△ 1.9	
	医療技術員	3.9	3.7	6.3	6.4	7.3	6.9	△ 0.4	
	事務員	13.3	13.2	13.0	14.3	15.5	16.0	0.5	
	労務員	7.2	6.1	4.3	6.4	7.0	6.7	△ 0.3	
小計		98.1	96.7	99.0	104.3	104.3	103.8	△ 0.5	
計		200.8	204.2	207.8	212.6	212.4	210.0	△ 2.4	

累積剰余金及び負担金発生までの額の推移

(単位:千円) (単位:千円)

年 度	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末	R5末
病院事業等決算額	94,614	108,361	129,287	38,560	42,306	7,392	△ 13,161	96,533	131,793	53,008	53,764	118,446	150,466	146,338	73,500
端数調整及び 資本剰余金取り崩し額	0	207,581	0	0	0	122,605	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累積剰余金 (△の場合は欠損金)	△ 453,220	△ 137,278	△ 7,991	30,569	72,876	202,873	189,712	286,245	418,038	471,046	524,810	643,256	793,722	940,060	1,013,560
負担金発生までの額	248,640	357,694	462,928	501,614	497,528	492,066	460,570	498,378	618,974	644,437	664,553	761,858	913,610	966,403	947,091
退職給付費引当金残高	120,453	163,166	199,624	250,403	236,560	263,736	276,273	278,422	303,365	275,803	304,744	352,525	357,635	313,545	351,754



施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

施設

工事内容	契約金額	契約年月日	契約先
日野病院当直室系統空調機更新工事	1,265,000 円 (内消費税 115,000円)	令和5年5月12日	三和商事(株)
日野病院検査室系統空調機更新工事	4,125,000 円 (内消費税 375,000円)	令和5年5月12日	三和商事(株)
日野病院蒸気ボイラー設備更新工事	2,343,000 円 (内消費税 213,000円)	令和5年5月13日	三和商事(株)
日野病院防災アンプ更新工事	5,280,000 円 (内消費税 480,000円)	令和5年9月27日	(有)米子報知器

設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
胆道ビデオスコープ	3,256,000 円 (内消費税 296,000円)	令和5年5月12日	小西医療器(株)
透析送迎用軽自動車(2台)	3,700,000 円 (内消費税 192,500円)	令和5年5月12日	合同会社江府自動車
公用車	1,050,000 円 (内消費税 3,759円)	令和5年5月12日	合同会社江府自動車
オスカーハイブリッドタイプ(4台)	572,000 円 (内消費税 52,000円)	令和5年5月25日	村中医療器(株)
下肢牽引装置付電動油圧式手術台	7,678,000 円 (内消費税 698,000円)	令和5年5月25日	村中医療器(株)
ノートパソコン	198,330 円 (内消費税 18,030円)	令和5年5月29日	オフィスオートメーションシステム(株)
ノートパソコン	177,430 円 (内消費税 16,130円)	令和5年6月15日	オフィスオートメーションシステム(株)
薬用保冷ショーケース	328,900 円 (内消費税 29,900円)	令和5年6月22日	宮野医療器(株)
輸液ポンプ(3台)	561,000 円 (内消費税 51,000円)	令和5年6月22日	村中医療器(株)
汎用人工呼吸器	3,718,000 円 (内消費税 338,000円)	令和5年6月22日	村中医療器(株)
電動ベッド(4台)	2,046,000 円 (内消費税 186,000円)	令和5年7月6日	村中医療器(株)
スポットチェックモニター(4台)	924,000 円 (内消費税 84,000円)	令和5年7月6日	小西医療器(株)
外来インフォメーション用タブレット	138,600 円 (内消費税 12,600円)	令和5年7月14日	オフィスオートメーションシステム(株)
超音波洗浄器	121,000 円 (内消費税 11,000円)	令和5年8月1日	宮野医療器(株)
電圧計	132,000 円 (内消費税 12,000円)	令和5年9月4日	村中医療器(株)
マイクロニードルホルダー	187,550 円 (内消費税 17,050円)	令和5年9月7日	小西医療器(株)
ノートパソコン	190,850 円 (内消費税 17,350円)	令和5年9月21日	オフィスオートメーションシステム(株)
ストレッチャー	313,500 円 (内消費税 28,500円)	令和5年9月27日	村中医療器(株)

ペイシェントツール	165,000 円 (内消費税 15,000円)	令和5年9月27日	小西医療器(株)
電子カルテ端末(2台)	902,000 円 (内消費税 82,000円)	令和5年10月16日	(株)ケイズ
セーフテック輸液ポンプ(4台)	825,000 円 (内消費税 75,000円)	令和5年11月13日	村中医療器(株)
超音波診断装置	3,652,000 円 (内消費税 332,000円)	令和5年11月13日	宮野医療器(株)
汎用超音波画像診断装置	931,700 円 (内消費税 84,700円)	令和5年11月13日	小西医療器(株)
超音波画像診断・眼軸長測定装置	4,125,000 円 (内消費税 375,000円)	令和5年11月13日	小西医療器(株)
3階特別室空調機	825,000 円 (内消費税 75,000円)	令和5年11月13日	三和商事(株)
電動診察台	302,500 円 (内消費税 27,500円)	令和5年12月7日	村中医療器(株)
セントラルモニター	4,455,000 円 (内消費税 405,000円)	令和5年12月7日	村中医療器(株)
オートレンズメーター	657,800 円 (内消費税 59,800円)	令和5年12月7日	宮野医療器(株)
ガステーブル	459,800 円 (内消費税 41,800円)	令和5年12月7日	(有)エフエスエーシステムズ
床走行式介護リフト	1,520,000 円 (内消費税 0円)	令和5年12月18日	村中医療器(株)
一般撮影装置	14,520,000 円 (内消費税 1,320,000円)	令和5年12月18日	宮野医療器(株)
外科用X線テレビシステム	13,684,000 円 (内消費税 1,244,000円)	令和5年12月18日	宮野医療器(株)
生理検査サポートシステム	9,526,000 円 (内消費税 866,000円)	令和5年12月18日	村中医療器(株)
全自動電解質分析装置	1,595,000 円 (内消費税 145,000円)	令和5年12月18日	村中医療器(株)
ベッドサイドモニタ(2台)	3,850,000 円 (内消費税 350,000円)	令和5年12月18日	村中医療器(株)
シリンジポンプ	202,400 円 (内消費税 18,400円)	令和5年12月18日	村中医療器(株)
穿刺プラケット等	236,500 円 (内消費税 21,500円)	令和5年12月20日	宮野医療器(株)
ベッドパンウォッシャー	2,145,000 円 (内消費税 195,000円)	令和5年12月25日	宮野医療器(株)
手動式除細動器	2,343,000 円 (内消費税 213,000円)	令和6年1月22日	村中医療器(株)
ビデオ鼻咽喉スコープシステム	3,223,000 円 (内消費税 293,000円)	令和6年1月31日	小西医療器(株)
外来インフォメーション用タブレット	140,657 円 (内消費税 12,787円)	令和6年2月5日	オフィスオートメーションシステム(株)
外来インフォメーション用タブレット	501,600 円 (内消費税 45,600円)	令和6年2月26日	オフィスオートメーションシステム(株)
ノートパソコン(2台)	297,000 円 (内消費税 27,000円)	令和6年3月1日	(株)ケイズ

委員会活動状況

日野病院委員会(ワーキング) 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	
		幹事会
1	病院運営会議	
		人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	
		病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	
		電子カルテ検討委員会 医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	
		リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 薬剤管理室運営委員会 臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	
		病院機能検討委員会 医師負担軽減対策委員会 看護職員負担軽減対策委員会 医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	
		外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	
		薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	
		保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡・NST委員会 (褥瘡対策チーム) がん研究及び対策委員会 生活習慣病対策委員会 ドック検診委員会 栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	
		医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療ガス安全管理委員会 診療記録開示検討委員会 医療放射線安全管理委員会
13	院内事故調査委員会	
14	院内感染対策委員会	
		ICT委員会
15	労働安全衛生委員会	
16	診療記録管理委員会	
17	サービス推進委員会	
18	接遇向上委員会	
19	教育・研修委員会	
		図書委員会 BLS委員会
20	災害対策委員会	
21	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第208回	R5.4.19	6名	(1) 5月1日付け辞令交付について (2) 令和5年度各委員会及びワーキングの編成について (3) 令和4年度部門別目標の評価及び令和5年度部門別目標の提出について (4) 外来診察医の変更について (5) 業務改善提案書について (6) マニュアルの変更について (7) 施設基準の変更について (8) 患者さまの声について (9) その他 ・令和5年度 特別休暇（旧夏季休暇）について ・新規採用職員歓迎会（職員表彰受賞式）の開催について（5/25） ・救急救命士との連絡協議会の開催について 対面or WEB（5月）
第209回	R5.5.24	6名	(1) 6月1日付け辞令交付について (2) 令和4年度病院事業等の決算状況について (3) 令和4年度決算分析における各種統計数値の確認について (4) 業務改善提案書について (5) マニュアルの変更について (6) 施設基準の変更について (7) 患者さまの声について (8) その他 ・令和5年度自治体立優良病院（総務大臣表彰）の受賞について（6/15） ・人事院規則改正に伴う新型コロナウイルス感染症対応業務に係る防疫等業務手当の廃止について（5月8日以降） ・寄付採納について（2件）
第210回	R5.6.21	6名	(1) 7月1日付け辞令交付について (2) 新規採用職員の評価について (3) 日野病院組合議会臨時会の開催について（6/23） (4) 業務改善提案書について (5) マニュアルの変更について (6) 施設基準の変更について (7) 患者さまの声について (8) その他 ・令和5年度自治体立優良病院総務大臣表彰被表彰病院の決定について ・ねう祭り行事への参加について（7/15）
第211回	R5.7.20	5名	(1) 8月1日付け辞令交付について (2) 職員の採用試験について (3) 日野病院組合議会の開催について（8/28） (4) 業務改善提案書について (5) マニュアルの変更について (6) 施設基準の変更について (7) 患者さまの声について (8) その他 ・とっとり健康寿命延伸フォーラムの開催について（10/28（土）） ・厚生局適時調査の結果について
第212回	R5.8.22	6名	(1) 9月1日付け辞令交付について (2) 日野病院組合議会の開催について（8/28） (3) 基本理念・基本方針の見直しについて (4) 職員説明会の開催について (5) 業務改善提案書について (6) マニュアルの変更について (7) 施設基準の変更について (8) 患者さまの声について

			(9)その他 ・小児等インフルエンザ予防接種接種体制について
第213回	R5.9.20	6名	(1)10月1日付け辞令交付について (2)人事評価の実施について (3)インフルエンザ予防接種について (4)令和5年度へき地医療拠点病院施設整備事業補助金に係る医療機器の要望について (5)業務改善提案書について (6)マニュアルの変更について (7)施設基準の変更について (8)患者さまの声について (9)その他 ・令和5年度とっとり・健康寿命延伸フォーラムの開催について(10/28)
第214回	R5.10.18	6名	(1)11月1日付け辞令交付について (2)日野病院組合議会定例会の開催について(11/17) (3)感染症に罹患した職員の取り扱いについて (4)業務改善提案書について (5)マニュアルの変更について (6)施設基準の変更について (7)患者さまの声について (8)その他 ・病床機能報告について ・出退勤管理について ・日野病院経営強化プラン案についてのご意見等
第215回	R5.11.22	6名	(1)12月1日付け辞令交付について (2)令和6年度予算要求について (3)日野病院組合議会定例会の結果について(11/17) (4)人事評価による勤勉手当の加算(減算)について (5)職員表彰の推薦について (6)業務改善提案書について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)患者さまの声について (10)その他 ・出退勤時刻の記録について ・令和5年度人事院勧告に基づく給与改正について
第216回	R5.12.20	6名	(1)1月1日付け辞令交付について (2)仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)について (3)奨学生の募集について (4)日野病院職員表彰の推薦について(12月末まで) (5)地方交付税(負担金)の確定について (6)外来診察医の変更について (7)業務改善提案書について (8)マニュアルの変更について (9)施設基準の変更について (10)患者さまの声について (11)その他 ・出勤簿の変更(出退勤時刻の記載)について(1/1~)
第217回	R6.1.24	5名	(1)2月1日付け辞令交付について (2)日野病院組合議会定例会について(2/27) (3)令和5年度決算見込み及び令和5年度当初予算の状況について (4)令和6年度医療機器の購入予定について(当初及び補正対応) (5)職員表彰について (6)業務改善提案書について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)患者さまの声について (10)その他 ・令和5年度医療機器の購入状況について

			<ul style="list-style-type: none"> ・江府消防署との症例検討会の開催について(2/13) ・4月1日付人事異動について(現段階での状況)
第218回	R6.2.21	5名	<ul style="list-style-type: none"> (1)3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について (2)新入職員オリエンテーションの実施について(4月1日) (3)外来診察及び医師の変更について(4月～) (4)令和6年度各委員会及びワーキングの編成について (5)令和5年度部門別目標の評価及び令和6年度部門別目標の提出について (6)業務改善提案書について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)患者さまの声について (10)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員歓迎会(職員表彰受賞式)の開催について
第219回	R6.3.19	6名	<ul style="list-style-type: none"> (1)3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について (2)新入職員オリエンテーションの実施について(4月1日) (3)外来診察及び医師の変更について(4月～) (4)令和6年度各委員会及びワーキングの編成について (5)令和5年度部門別目標の評価及び令和6年度部門別目標の提出について (6)業務改善提案書について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)患者さまの声について (10)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員歓迎会(職員表彰受賞式)の開催について ・外来呼び出しについて

(1)倫理委員会
開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.4.19	6名	受付番号2023-1 承認 課題名 訪問看護業務支援システムによる訪問看護職員の業務効率化に関する調査研究
第2回	R5.6.21	6名	受付番号2023-2 承認 課題名 DEXCOMG6とリブレによるCGMの精度に関する研究
第3回	R5.8.22	6名	受付番号2023-3 承認 課題名 中山間地の小病院と診療所というセッティングの差によりかかりつけ医の機能にどのような差が生じるか
第4回	R5.10.18	6名	受付番号2023-4(変更申請) 承認 課題名 クレアチニン/シスタチンC比によるサルコペニアの診断能に関する研究
第5回	R6.2.21	6名	受付番号2023-5 (必要かどうか検討) 課題名 透析導入に踏み切れなかった2型糖尿病患者への看護師の関わりの課題 ~腎代替療法選択期の患者の心理過程に沿って~ 受付番号2023-6 (資料不備のため再提出) 課題名 認知症患者に対する身体拘束の看護師への意識調査 ~拘束具の種類別に見たアンケートを行って~

2. 管理職会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	
第1回	R5.4.26	12名	(1) 3月末経営概況及び決算見込みについて (2) 3月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 5月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 外来診察の変更について (7) 令和5年度各委員会及びワーキングの委員編成について (8) 令和4年度部門別目標の評価及び令和5年度部門別目標の提出について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 施設基準の変更について (11) 患者様の声について (12) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度特別休暇（旧夏季休暇）について ・新規採用職員歓迎会（職員表彰式）の開催について（5/25） ・看護の日イベントについて（5/20） ・地域連携連絡会について（6月調整中） ・救急救命士の救急活動に関する連絡会（5/17）
第2回	R5.5.31	12名	(1) 4月末経営概況について (2) 4月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 6月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和4年度病院事業等の決算状況について (7) 令和4年度決算分析における各種統計数値の確認について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの変更について (12) 患者様の声について (13) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・人事院規則改正に伴う新型コロナウイルス感染症対応業務に係る防疫等業務手当の廃止について（5月8日以降） ・寄付採納について（2件） ・新型コロナウイルスワクチン集団接種担当医師表
第3回	R5.6.28	12名	(1) 5月末経営概況について (2) 5月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 7月1日付辞令交付について (5) 日野病院組合議会（臨時会6/23）の開催について (6) 日野町コミュニティーチャンネルについて (7) 業務改善提案書について (8) 施設基準の変更について (9) マニュアルの変更について (10) 患者様の声について (11) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度自治体立優良病院総務大臣表彰被表彰病院の決定について ・ねう祭り行事への参加について（7/15） ・厚生局適時調査の実施について（7/18） ・医療監視について（書面審査提出済み）
第4回	R5.7.31	12名	(1) 6月末経営概況について (2) 6月分各種統計について

			<ul style="list-style-type: none"> (3) 各種委員会の議事録について (4) 8月1日付辞令交付について (5) 日野病院組合議会の開催について(8/28) (6) 外来診察の変更について (7) 日野町コミュニティーチャンネルについて (8) 業務改善提案書について (9) 施設基準の変更について (10) マニュアルの変更について (11) 患者様の声について (12) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・とっとり・健康寿命延伸フォーラムの開催について ・施設基準等に係る適時調査の結果について
第5回	R5.8.29	9名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 7月末経営概況について (2) 7月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 9月1日付辞令交付について (5) 日野病院組合議会の開催について(8/28) (6) 職員説明会の開催について (7) 日野病院基本理念等の見直しについて (8) 外来診察の変更について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの変更について (13) 患者様の声について (14) その他
第6回	R5.9.27		<ul style="list-style-type: none"> (1) 8月末経営概況について (2) 8月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 10月1日付辞令交付について (5) 人事評価の実施について (6) インフルエンザ予防接種について (7) 外来診察の変更について (8) 鳥取県医療施設等設備整備費補助金について (9) 業務改善提案書について (10) マニュアルの変更について (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 施設基準の変更について (13) 患者様の声について (14) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度とっとり・健康寿命延伸フォーラムの開催について(10/28)
第7回	R5.10.25	10名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 9月末経営概況について (2) 9月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 11月1日付辞令交付について (5) 日野病院組合議会定例会の開催について(11/17) (6) 感染症に罹患した職員の取扱いについて (7) 業務改善提案書について (8) マニュアルの変更について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 施設基準の変更について (11) 患者様の声について (12) その他
第8回	R5.11.29	12名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 10月末経営概況について (2) 10月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について

			<ul style="list-style-type: none"> (4) 12月1日付辞令交付について (5) 令和6年度当初予算要求について (6) 日野病院組合議会の結果について(11/17開催) (7) 業務改善提案書について (8) マニュアルの変更について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 施設基準の変更について (11) 患者様の声について (12) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年人事院勧告に基づく給与改正について ・出退勤時刻の記録について
第9回	R5.12.27	11名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 11月末経営概況について (2) 11月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 1月1日付辞令交付について (5) 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)について (6) 奨学生の募集について (7) 外来診察医の変更について (8) 業務改善提案書について (9) マニュアルの変更について (10) 日野町コミュニティーチャンネルについて (11) 施設基準の変更について (12) 患者様の声について (13) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・出勤簿の変更(出退勤時刻の記載)について(1/1~)
第10回	R6.1.31	11名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 12月末経営概況について (2) 12月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 2月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和6年度医師異動について(県派遣医師等) (7) 日野病院組合議会定例会の開催について(2/27) (8) 令和5年度決算見込及び令和6年度当初予算の状況について (9) 令和6年度医療機器の購入予定について (10) 職員表彰について (11) 外来診察医の変更について (12) 日野町コミュニティーチャンネルについて (13) マニュアルの変更について (14) 施設基準の変更について (15) 患者様の声について (16) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度医療機器の購入状況について ・江府消防署との症例検討会の開催について(2/13) ・看護補助者処遇改善事業に係る賃金改善について
第11回	R6.2.28	9名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 1月末経営概況について (2) 1月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会について(2/27) (7) 外来診察の変更について (8) 外来担当医師及び外来診療体制の変更について(4月から) (9) 業務改善提案書について (10) 職員表彰について (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 施設基準の変更について (13) 患者様の声について

			(14) その他
第12回	R6.3.27	11名	(1) 2月末経営概況について (2) 2月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月31日（退職）及び4月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 新規採用職員オリエンテーションの実施について（4/1） (7) 外来診察及び医師の変更について（4月～） (8) 令和6年度各委員会及びワーキングの編成について (9) 令和5年度部門別目標評価及び令和6年度部門別目標の提出について (10) 業務改善提案書について (11) マニュアルの変更について (12) 日野町コミュニティーチャンネルについて (13) 施設基準の変更について (14) 患者様の声について (15) その他 ・新規採用職員歓迎会（職員表彰受賞式）の開催について

3. 情報システム管理委員会

(1) 電子カルテ検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	R5.5.10	17	1. 前回議事録確認 2. Q&A管理台帳 3. その他 ●4月より体制変更。 ●委員会開催日程について ●電子カルテシステム再起動について ●パスワード更新期間について
第2回	R5.8.9	16	1. 前回議事録確認 2. Q&A管理台帳 3. その他 ●電子カルテレベルアップスケジュールについて ●適時調査への対応 ●電子カルテバックアップについて
第3回	R5.11.8	13	1. 前回議事録確認 2. Q&A管理台帳 3. その他 ●電子カルテバックアップについて ●POCUS ●外国人患者受入帳票について
第4回	R6.2.14	15	1. 前回議事録確認 2. Q&A管理台帳 3. その他 ●レベルアップについて

4. 診療局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.4.11	10名	薬事審議会、地域連携室の体制について、留守医について
第2回	R5.5.9	13名	薬事審議会、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う変更等について、PCR検査について、面会について
第3回	R5.6.13	8名	米子保健所管内における麻しん(はしか)の発生について、入院患者数について、看護補助体制加算について、電子カルテサーバメンテナンスについて、退院サマリについて、コロナ治療薬について、在宅自己注射指導管理料について
第4回	R5.7.11	9名	適時調査について、新しい人工呼吸器について、エコー購入について、輸血後感染症について
第5回	R5.8.8	8名	電子カルテレベルアップスケジュールについて、救急医療管理加算について、適時調査での指摘について、新型コロナウイルス感染症の流行について
第6回	R5.9.12	9名	薬事審議会、エコーの算定要件について、今年度の収支について、施設基準について
第7回	R5.10.10	9名	コロナ治療薬の公費について、インフル予防接種について、施設基準の在院日数等について、病床の管理について
第8回	R5.11.14	11名	施設基準について、ドック検診について土曜日のインフル予防接種について
第9回	R5.12.12	7名	今月の包括直入について、MRIの問診票について、眠剤の処方日数制限について感染症治療薬の処方について
第10回	R6.1.9	8名	地域連携室の体制について、病床について、能登半島地震について
第11回	R6.2.13	9名	地域包括ケア病床の施設基準について、予約日の変更について
第12回	R6.3.12	10名	薬事審議会、地域連携室定例報告、診療報酬改定について

5. 医療技術局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.4.27	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第2回	R5.6.1	7名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第3回	R5.6.29	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第4回	R5.8.3	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第5回	R5.8.31	4名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第6回	R5.9.28	4名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第7回	R5.10.26	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第8回	R5.11.30	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第9回	R5.12.28	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第10回	R6.2.1	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第11回	R6.2.29	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告
第12回	R6.3.28	5名	管理職会議の報告、各部署からの意見、報告

活動報告

管理職会議の報告を行い、各部門の現況・課題などを共有した。

(1) 検査室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5. 8. 30	9名	<ul style="list-style-type: none"> 検査室運営委員会要綱ならびに委員名簿の確認 令和4年度検査件数の推移および収支報告 外部精度管理調査 結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ニトホーメディカル免疫精度管理調査（令和5年2月実施） ビトロサーベイ（令和5年5月実施） テタミナーサーベイ（令和5年6月実施） 厚生局適時調査（令和5年7月実施）報告 凝固検査用試験管の採血量についての注意事項 電子加圧新規掲載項目・名称変更等のお知らせ <ul style="list-style-type: none"> フリーライトチェーン・アスペルギルスIgG抗体・ガストリン
第2回	R5. 11. 22	7名	<ul style="list-style-type: none"> 生化学自動分析機の点検予定について 令和5年度の検査機器更新について① 訪問・施設等での採血に伴う事前採血ラベル発行時の注意点 中央処置室設置の採血管準備装置の不具合発生と点検予定について
第3回	R6. 4. 2	8名	<ul style="list-style-type: none"> 外部精度管理調査 結果報告 <ul style="list-style-type: none"> Wakoサーベイ(生化学)（令和5年5月実施） 日本医師会 臨床検査精度管理調査（令和5年9月実施） 令和6年6月診療報酬改定について 令和5年度の検査機器更新について② 院内検査の新規採用項目について <ul style="list-style-type: none"> VZV(水痘・帯状疱疹ウイルス)・HSV(単純ヘルペスウイルス) 入院患者の外來採血オーダーについて 4月以降のコロナPCR検査について

7. 看護業務検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.4.7	12名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第2回	R5.5.12	10名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第3回	R5.6.9	8名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第4回	R5.7.14	8名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第5回	R5.8.18	6名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第6回	R5.9.8	7名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第7回	R5.10.13	9名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第8回	R5.11.10	8名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第9回	R5.12.8	7名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第10回	R6.1.12	9名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第11回	R6.2.9	4名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他
第12回	R6.3.15	9名	1報告事項： 2. 各委員会から報告・連絡事項 3. その他

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
看護局 補助者 会第1回	R4.5.7	11名	今年度のスローガンから目標設定 次年度ユニホームの検討委員会 教育：CandyLinkの活用 8テーマ85項目+ 月一ゼミ 1名外来クレーク増えるための業務整理
看護局 補助者	R4.10.5	11名	マニュアル変更(2F /3F) 介助浴・配膳について 年度目標の中間評価

会第2回			看護補助体制充実加算について 2月リネンの棚卸と不足分の補充早出業時間の変更 eラーニング以外の院内研修の計画(ポジショニング・移乗・食事介助・口腔ケア・おむつ交換CSセットの内容変更について 同意書・承諾書の説明サイン用紙のスキャンと保管について
看護局 補助者 会第3回	R5.2.6	9名	2月リネンの棚卸と不足分の補充 ケアワーカーの研修(食事介助・口腔ケア・おむつ交換) 2月リネンの棚卸と不足分の補充早出業時間の変更後の評価 年度末評価について

活動報告

今年度の活動目標と評価

教育:ケアワーカー研修(eラーニング+自院研修)(食事介助・口腔ケア・おむつ交換)

CSセットの内容変更

リネンの棚卸と補充

マニュアル追加と変更

(1)透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.10	12名	透析室の現況・業務:リリーフ体制・人員配置について・夜間、祝祭日、休日の受け入れについて:当院では困難。
第2回	R5.6.14	8名	透析室の現況・看護目標・新規受け入れ患者について
第3回	R5.7.12	12名	透析の現況・厚生局適時調査・新スタッフの評価・新規患者状況
第4回	R5.8.9	8名	透析の現況・下肢末梢動脈疾患指導料(血管外科・皮膚科・循環器科の掲示)・スタッフの病休等の体制・新規患者受け入れは見合わせ
第5回	R5.11.15	7名	透析の現況・新規患者の転入あり・透析患者さんインフルエンザワクチン開始
第6回	R6.1.24	8名	透析の現況・新規患者の転入あり・新スタッフの穿刺開始
第7回	R6.3.13	8名	透析の現況・透析室人員配置について・新規患者あり(通院に不安あり見送り)・ヒヤリハット報告

活動報告

* 新スタッフの育成開始

* 新規患者受け入れ・・・2名 (今後の予定者 2名あり)

* 厚生局適時調査・・・下肢末梢動脈疾患指導料について指摘なし(受診科の掲示)

* 夜間、祝祭日等の患者受け入れは、困難。

8. 地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.6.1	7名	休日入院者の入院時情報提供書・訪問看護報告書の処理方法について、尚仁福祉会との意見交換会、パッと見えNetの活用について、特養の方の内服薬の取り扱いについて
第2回	R5.8.17	8名	尚仁福祉会との意見交換会、退院時必要書類について
第3回	R5.9.21	7名	施設基準について、地域連携連絡票について、意思決定支援のマニュアル作成について
第4回	R5.10.19	7名	尚仁福祉会との意見交換会、
第5回	R5.11.16	9名	診療申込書・様式変更について、日野町高齢者補聴器購入費助成事業について
第6回	R6.1.15	8名	ベッドコントロールについて、MRI検査予約方法変更調整について(予定)
第7回	R6.2.15	6名	「入院中の患者が他医療機関を受診する場合」の流れ、毛利CM 担当患者の外来同席について
第8回	R6.4.25	14名	MRI・CT検査予約方法の変更について、協力対象施設入所者入院加算について(令和6年6月～新設)、3. 意思決定支援マニュアルについて

活動報告

2023/6/8 令和5年度地域連携連絡会(参加者44名)
日野病院診療体制の紹介(コロナ禍3年間の現状と今後)、意見交換会

9. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.6.14	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血委員会要綱および活動指針、令和5年度輸血委員会名簿・役割確認 ・部門目標(令和4年度:反省、令和5年度:目標設定) ・診療科別血液製剤使用状況(令和5年4月)報告 ・輸血後感染症検査実施状況(令和5年4月～5月)報告 ・血液製剤発注システムおよび定時配送便の効率的な運用への協力について ・輸血終了後に薬剤管理室へ返却する際の輸血伝票について(記載漏れ事案に対する再確認)
第2回	R5.8.2	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科別血液製剤使用状況(令和5年5月、6月、7月)報告 ・輸血後感染症検査実施状況(令和5年6月～7月)報告 ・日赤輸血情報「島根県/鳥取県赤十字血液センター主催 オンライン説明会のご案内」 ・平日夜間・休日における、webでの血液製剤発注システムの導入および進捗状況 ・緊急時以外の、平日日勤帯での外来(透析室)実施のRBC輸血の基本手順についての検討
第3回	R5.10.11	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科別血液製剤使用状況(令和5年8月、9月)報告 ・輸血後感染症検査実施状況(令和5年8月～9月)報告 ・令和4年度 輸血後感染症検査実施率 最終報告 ・日赤輸血情報「輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例－2022年－」 「赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用－2022年－」 「血液疾患と輸血」 ・夜間・休日輸血等の時間外輸血(全製剤)実施時の【手書き輸血伝票(4枚複写)】運用の徹底
第4回	R5.12.13	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科別血液製剤使用状況(令和5年10月、11月)報告 ・輸血後感染症検査実施状況(令和5年10月～11月)報告 ・日赤輸血情報「新記載要領に基づく輸血用血液製剤の電子化された添付文書改訂のお知らせ」 「血漿分画製剤用の血液」ほか 「令和5年度 赤十字血液シンポジウム【中四国ブロック】」 「中四国ブロック内医療機関対象 オンライン勉強会のご案内」
第5回	R6.2.28	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科別血液製剤使用状況(令和5年12月、令和6年1月)報告 ・輸血後感染症検査実施状況(令和5年12月～令和6年2月)報告 ・日赤輸血情報「血液安全監視体制年報(2022年版)のお知らせ」 「血液製剤発注システム(web発注システム)の仕様変更について」 「血液製剤発注システム(web発注システム)による発注登録の一部変更について」 ・輸血マニュアル『平日時間外および休日(薬剤管理室不在時)の対応』の改訂案について
第6回	R6.4.10	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科別血液製剤使用状況(令和6年2月、3月)報告 ・令和5年度 血液製剤発注・廃棄全集計報告 ・輸血後感染症検査実施状況(令和6年3月～4月)報告 ・日赤輸血情報「照射凍結赤血球-LR『日赤』用時解凍洗浄(薬価基準未収載医薬品)製造販売承認取得のお知らせ」 「血液製剤発注システムによるWEB発注率の推移(全国)」 「WEBによる発注と定時配送便ご協力をお願い」

10. 物流委員会

(1) 薬事審議委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.4.11	12名	新規採用薬、採用中止薬、出荷調整薬の報告。 ラグノス、モビコールの患者限定採用解除。
第2回	R6.9.12	9名	新規採用薬、採用中止薬、出荷調整薬、製造中止薬の報告。 救急薬剤の希釈方法の統一に関して検討。
第3回	R6.3.12	10名	新規採用薬、採用中止薬、出荷調整薬、製造中止薬の報告。

(2) SPD委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.15	4名	定数変更9件(アルウェッティ除菌シート、ソフライト、ポリエチレングローブ他) サンプル申請1件(クリネルユニバーサル50) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第2回	R5.6.12	6名	定数変更2件(オールシリコントレイキット、絶縁型ブレード電極) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第3回	R5.7.10	4名	サンプル申請1件(ラパホット) 新規採用3件(サンプル管、アルギセーブ、補助回路) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第4回	R5.8.21	7名	定数変更7件(トラキオストミーチューブ、吸収シート、アイソレーションガウン他) サンプル申請1件(セーフタッチニトリルグローブ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第5回	R5.9.13	4名	サンプル申請1件(セルスポブイプラス) 新規採用1件(ダーマボンドプリオネ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第6回	R5.10.16	5名	定数変更4件(アルギセーブ、プラスチックネブライザー、採液アダプター他) サンプル申請2件(PTEGキット2種) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第7回	R5.11.13	3名	定数変更1件(シュアプラグ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第8回	R5.12.11	5名	定数変更4件(スピーディカテ、ヒューバ針、アクアプライム、オブサイト) サンプル申請4件(ニューサモーム人口鼻、ディスポーザブル呼吸回路他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第9回	R6.1.15	5名	定数変更5件(アルコンスーチャナイロン、関節鏡ドレープ他) サンプル申請2件(ディスポシート、バイオトロールサニタイジングワイプEX) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第10回	R6.2.19	4名	サンプル申請2件(除菌クロス、伸縮包帯) 新規採用件(ディスポシート) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第11回	R6.3.11	3名	新規採用2件(除菌クロス、伸縮包帯) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第12回	R6.4.8	5名	定数変更2件(ソフライト、ケアエル) サンプル申請1件(穴あきトランクス) 新規採用3件(バリウムコップ、滅菌ツェッペル、サニタイジングワイプ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他

(3) 委託業者連絡委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.9	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	R5.6.13	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	R5.8.8	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	R5.9.12	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	R5.10.10	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	R5.11.14	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	R5.12.12	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	R6.2.13	3名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	R6.3.12	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

11. 経営企画委員会

(1) 褥瘡NST委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.8	11名 8名	褥瘡対策チーム設置 褥瘡対策チーム員の選出 発生率報告 褥瘡症例検討 褥瘡回診・NSTミーティングの当番表作成 NST関連報告 NSTミーティング 日本臨床栄養代謝学会5月開催
第2回	R5.6.12	17名 12名	部門別目標 7月からの委員会開催を第2・4金曜日に変更する旨について 発生率報告 褥瘡症例検討 褥瘡対策手順書に褥瘡対策計画書の追加記入について 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング
第3回	R5.7.14	12名 7名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング
第4回	R5.8.18	17名 11名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 日本褥瘡学会9月開催 NST関連報告 NSTミーティング
第5回	R5.9.8	19名 10名	発生率報告 褥瘡症例検討 褥瘡対策計画書の栄養管理欄について 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング
第6回	R5.10.13	18名 11名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング NST専門療法士実地修練研修(鳥大病院)参加 環日本海NSTフォーラム
第7回	R5.11.10	10名 5名	発生率報告 褥瘡症例検討 院内研修会検討 褥瘡対策計画書の栄養管理欄について 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング
第8回	R5.12.8	11名 7名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング
第9回	R6.1.12	12名 7名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 JSPEN施設更新について→更新しない NSTミーティング

第10回	R6.2.16	10名 6名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 次年度の褥瘡対策チーム会構成員について 褥瘡関連の経過表観察項目、褥瘡及びMDRPU予防の看護診断立案の流れ、手引書(案) NST関連報告 NSTミーティング
第11回	R6.3.8	9名 6名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 日本褥瘡学会中国四国地方学会3月開催 NST関連報告 NST専門療法士受験要件の変更について NSTミーティング
第12回	R6.4.12	18名 10名	発生率報告 褥瘡症例検討 今後の学会・講習会等の予定 NST関連報告 NSTミーティング

(2)がん研究及び対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.18	3名	今年度より活動内容が大幅に変更となるため、概要を説明。 月ごとの担当者を決定。
第3回	R5.7.20	3名	マニュアルの確認
第5回	R5.10.19	4名	山本副医療技術局長の日本癌治療学会学術大会での発表実績報告
第7回	R6.4.11	4名	学会参加報告、令和5年度の活動のまとめ

活動報告

マニュアル作成
意思決、癌疼痛緩和マニユ
日本癌治療学会学術大会での発表実績報告

(3)ドック健診委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.11.13	7名	検診の問題点と改善策

活動報告

受託健診の遂行

(4)栄養管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	R5.6.13	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスポ食器での食事提供について ・濃厚流動食在庫報告 ・退院時の患者様からのご意見報告 ・平日昼食の医師検食について ・栄養補助食品の提供方法(配膳時セッティング)について
第2回	R5.9.19	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間早朝の食事出し、食止めオーダ運用の確認 ・食材費契約単価値上げについて ・日野郡栄養士地域連携会の開催予定について ・退院時の患者様からのご意見報告 ・メフォス外部業者による厨房立入衛生検査実施報告(指摘事項なし)
第3回	R5.11.21	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・日野郡栄養士地域連携会報告 ・食材費高騰による対応について ・検便検査項目の追加について ・非常食の更新予定について
第4回	R6.2.20	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・食材費高騰による契約単価再値上げについて ・診療報酬改定による食事療養費自己負担額引き上げについて ・ノロウイルス感染対応について確認 ・経管栄養剤の製品リニューアルについて ・退院時の患者様からのご意見報告

12. 医療安全管理委員会

(1) 医療放射線安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.7.6	7	令和5年度の委員会活動の確認内容確認
第2回	R5.9.19	8	令和5年度の放射線安全管理委員会 必須研修について

活動報告

放射線診療に従事する者に対する診療放射線の安全利用のための研修 線量管理・線量記録 放射線診療に関する有害事例等の対応に関する報告検討

14. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R.5.5.26	16名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、麻疹、SFTS、カンジダアウリスについて、補助犬受け入れについて
第2回	R.5.6.16	17名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、合同カンファレンスについて、麻疹、新型コロナウイルス感染症など
第3回	R.5.7.28	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、合同カンファレンス、適時調査指摘事項、新型コロナウイルス感染症など
第4回	R.5.8.18	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、新型コロナウイルス感染症罹患後の職場復帰について、入院時スクリーニングについて、合同カンファレ
第5回	R.5.9.15	15名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、院内感染対策講習会新型コロナウイルス感染症など
第6回	R.5.10.27	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、細菌検査報告書の変更についてなど
第7回	R.5.11.27	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症など
第8回	R.5.12.25	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、面会についてなど
第9回	R.6.1.22	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、など
第10回	R.6.2.26	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ノロウイルスアウトブレイクについて、診療報酬改定につ
第11回	R.6.3.22	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、梅毒、麻疹など
第12回	R.6.4.22	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、マニュアル改訂など

活動報告

- ・鳥取県院内感染対策講習会 参加
- ・厚労省院内感染対策講習会 参加
- ・米子保健所新型コロナウイルス対策会議 参加
- ・日本環境感染学会 参加
- ・マニュアルの改訂・周知

(1)ICT委員会

活動報告

- ・院内ラウンド 36回
- ・感染情報レポート 随時更新
- ・院内研修会
 - ①11月 手指衛生について 講師:サラヤ株式会社 岡田様
 - ②2月 ノロウイルス感染症について 講師:サラヤ株式会社 櫻井様
- ・合同カンファレンス
 - ①新型コロナウイルス感染症対策～5類移行後の各施設の対応に向けての対応～
6/7 博愛病院 (医療センター、博愛病院、西伯病院、日野病院)
 - ②新型コロナウイルス感染症対策～医療体制の変化、陽性者発生時のシュミレーション～
7/28 医療センター (医療センター、博愛病院、西伯病院、日野病院)
 - ③日野病院感染対策現地確認・指導、抗菌薬適正使用・耐性菌サーベイランス
8/25 日野病院 (医療センター、日野病院)
 - ④新型コロナウイルス感染症～10月以降の医療費等の見直しに係わる課題～
9/26 web会議 (博愛病院、西伯病院、日野病院)
 - ⑤基礎を振り返るインフルエンザ対策
11/28 web会議 (博愛病院、西伯病院、日野病院)
- ・鳥取県抗菌薬サーベイランス 参加

15. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.29	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス研修会の開催について ・ストレスチェックの実施に向けて ・春の健康診断で再検査等の職員の対応について ・監視カメラの設置検討について
第2回	R5.6.26	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの実施に向けて ・共済組合主催メンタルヘルス研修会について ・夜間職員入り口、川側駐車場の照明について
第3回	R5.7.26	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス研修の放映について ・春の健康診断における再検査等未受診者について
第4回	R5.8.28	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス研修の放映について ・ストレスチェックの実施について ・ストレスチェックの回答方法検討について
第5回	R5.9.25	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス研修の放映について ・ストレスチェックについて ・特定従事者検診について
第6回	R5.10.30	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・特定従事者検診について ・ストレスチェックについて
第7回	R5.11.27	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックについて ・令和6年度予算要求について
第8回	R5.12.25	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの来年度実施に向けて
第9回	R6.1.29	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの全体結果について ・ストレスチェックの来年度実施に向けて
第10回	R6.2.27	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症への注意喚起のお願い ・4月からの産業医交代に関して
第11回	R6.3.25	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・春の健康診断について ・産業医交代に係る連絡方法について
第12回	R6.4.22	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線従事者の線量管理について ・定期健康診断実施中におけるお願いについて ・メンタルヘルス推進体制図について ・産業医交代における今後の取り組み等について

16. 診療記録管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	R5.6.13	8名	・電子カルテサーバメンテナンスについて ・退院サマリーについて
第2回	R5.8.8	8名	・電子カルテレベルアップスケジュールについて ・適時調査での指摘について
第3回	R5.9.12	8名	・エコーの算定要件について
第4回	R6.3.12	10名	・診療報酬改定について カルテ記載が必要な診療報酬について

活動報告

適時調査での指摘内容について、改善するよう周知徹底を行った。
レセプトでカルテ記載が必要な診療報酬を確認した。
来年度の診療報酬改定について、必要な情報を周知した。

17. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	R5.5.18	17名	今年度より活動内容が大幅に変更となるため概要を説明。月ごとの担当者を決定。
第2回	R5.6.15	15名	企画・収録予定について進捗状況の確認
第3回	R5.7.20	9名	企画・収録予定について進捗状況の確認
第4回	R5.9.28	5名	企画・収録予定について進捗状況の確認
第5回	R5.10.19	4名	企画・収録予定について進捗状況の確認
第6回	R5.11.16	5名	企画・収録予定について進捗状況の確認
第7回	R6.4.11	12名	令和5年度の活動のまとめ

活動報告

【チャンネルひの】全12回の収録

月	テーマ	担当	出演
4	新入職員紹介	佐田山	佐田山
5	コロナウイルスの5類移行につ	佐田山	加藤医師
6	病児・病後児保育のご案内	森田・千葉・渡邊 田枝・藤原・小谷	2階 池田Ns
7	熱中症	今倉・藤原・川上 松本真・増田	増田
8	ひの's Kitchen	野坂・佐田山・権代	栄養
9	帯状疱疹ワクチンについて	倉間	足澤Ns
10	残薬・薬の飲み方について	森・住田・桐田・野田 大谷・絹谷・涌谷	薬局
11	ユニホーム紹介	福田・長尾純・木村 瀬田利・米原	米原Ns
12	フルエンザ感染予防対策につ	岩田・八木・砂原 影山李・船越	影山李・船越
1	窓口からのお知らせ	小川・矢田貝・佐々木 加藤亜	事務
2	くなった骨密度測定装置につ	松本保・木村・角一 松田・福田里・竹本	松田
3	慢性腎臓病について	緒方・田中・松本和 影山光・加藤淳	花田医師

18. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.12	8名	年間部門別目標の設定、ワーキング内容を検討した。
第2回	R5.7.4	9名	アンケートの実施内容を検討した。
第3回	R5.9.14	7名	9月にアンケート実施、日程等の詳細を検討した。
第4回	R5.11.7	4名	アンケートの結果について、12月研修会の内容を検討した。
第5回	R6.1.17	8名	研修会について12月⇒2月に変更した。アンケート結果の周知について検討した。セルフチェック票の作成について検討した。
第6回	R6.3.5	9名	アンケート結果について検討した。
第7回	R6.4.23	6名	年間部門別目標についての達成度の検討、セルフチェックの作成途中にて次年度に持ち越しについて話をした。

活動報告

- ・接遇アンケート(経験度調査)を実施した。(9月、記入者144名)
- ・接遇研修会を開催した。(2月、参加者132名)
- ・せせらぎ5月号にアンケート結果を掲載した。

19. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	R5.5.11	9名	要綱の確認、年間スケジュール調整、メンタルヘルス研修会準備
第2回	R5.6.8	10名	メンタルヘルス研修会の報告、医療安全研修会についての話し合い
第3回	R5.7.13	9名	医療安全研修会についての話し合い
第4回	R5.8.10	8名	職員説明会(研修)の話し合い
第5回	R5.9.14	9名	診療放射線安全研修会開催について(9月25日、28日)
第6回	R5.10.12	9名	診療放射線安全研修会、職員説明会の報告
第7回	R5.11.9	8名	医療安全研修会についての話し合い
第8回	R5.12.14	8名	医療安全研修会についての話し合い
第9回	R6.1.10	9名	接遇研修会の話し合い
第10回	R6.2.8	9名	接遇研修会の話し合い
第11回	R6.3.14	9名	接遇研修会の報告
第12回	R6.4.11	8名	今年度の振り返り

2、統計

患者統計

I. 外来患者数統計

1. 地域別統計

(人)

区分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	4,847	1,932	971	986	343	212	161	4	50	188
構成比(%)	100.0	39.9	20.0	20.3	7.1	4.4	3.3	0.1	1.0	3.9

2. 年齢階層別統計

(人)

区分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,232	9	54	52	48	45	82	101	173	193	176	221	328	253	210	171	116
女	2,615	11	48	54	46	38	93	84	115	176	151	221	339	305	319	292	323
計	4,847	20	102	106	94	83	175	185	288	369	327	442	667	558	529	463	439
構成比(%)	100.0	0.4	2.1	2.2	1.9	1.7	3.6	3.8	5.9	7.6	6.7	9.1	13.8	11.5	10.9	9.6	9.1

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

II. 入院患者数統計

1. 地域別統計

(人)

区分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	761	276	106	236	67	22	34	3	9	8
構成比(%)	100.0	36.3	13.9	31.0	8.8	2.9	4.5	0.4	1.2	1.1

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

2. 診療科別・年齢階層別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	1,011	100.0	82.1	--	--	1	6	2	12	22	24	63	83	129	163	200	306
	男	444	100.0	79.8	--	--	--	2	2	9	14	15	28	53	69	62	82	108
	女	567	100.0	83.8	--	--	1	4	--	3	8	9	35	30	60	101	118	198
構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	0.1	0.6	0.2	1.2	2.2	2.4	6.2	8.2	12.8	16.1	19.8	30.3
	男	100.0	--	--	--	--	0.5	0.5	2.0	3.2	3.4	6.3	11.9	15.5	14.0	18.5	24.3	
	女	100.0	--	--	--	--	0.2	0.7	--	0.5	1.4	1.6	6.2	5.3	10.6	17.8	20.8	34.9
内科	計	576	57.0	83.3	--	--	1	5	1	6	13	10	34	38	58	83	106	221
	男	279	62.8	80.7	--	--	--	2	1	5	8	8	17	34	35	40	52	77
	女	297	52.4	85.9	--	--	1	3	--	1	5	2	17	4	23	43	54	144
外科	計	74	7.3	79.3	--	--	--	--	--	1	4	3	5	6	11	14	22	8
	男	34	7.7	75.9	--	--	--	--	--	--	4	3	3	4	5	4	6	5
	女	40	7.1	82.2	--	--	--	--	--	1	--	--	2	2	6	10	16	3
整形外科	計	129	12.8	82.2	--	--	--	1	--	4	1	1	5	11	17	27	28	34
	男	33	7.4	76.0	--	--	--	--	--	4	1	1	3	3	7	2	3	9
	女	96	16.9	84.4	--	--	--	1	--	--	--	--	2	8	10	25	25	25
眼科	計	116	11.5	76.2	--	--	--	--	--	--	1	7	13	21	33	24	15	2
	男	45	10.1	77.5	--	--	--	--	--	--	--	1	2	8	17	11	6	--
	女	71	12.5	75.4	--	--	--	--	--	--	1	6	11	13	16	13	9	2
総診	計	116	11.5	83.3	--	--	--	--	1	1	3	3	6	7	10	15	29	41
	男	53	11.9	82.4	--	--	--	--	1	--	1	2	3	4	5	5	15	17
	女	63	11.1	84.1	--	--	--	--	--	1	2	1	3	3	5	10	14	24

3.診療科別・在院期間別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	1,011	100.0	28,388	28.1	343	175	113	93	171	64	45	3	4	--
	男	444	100.0	11,634	26.2	158	91	39	40	68	24	21	2	1	--
	女	567	100.0	16,754	29.5	185	84	74	53	103	40	24	1	3	--
構成比 (%)	計	100.0	--	--	--	33.9	17.3	11.2	9.2	16.9	6.3	4.5	0.3	0.4	--
	男	100.0	--	--	--	35.6	20.5	8.8	9.0	15.3	5.4	4.7	0.5	0.2	--
	女	100.0	--	--	--	32.6	14.8	13.1	9.3	18.2	7.1	4.2	0.2	0.5	--
内科	計	576	57.0	18,418	32.0	164	119	67	54	94	40	31	3	4	--
	男	279	62.8	7,735	27.7	90	67	23	25	43	16	12	2	1	--
	女	297	52.4	10,683	36.0	74	52	44	29	51	24	19	1	3	--
外科	計	74	7.3	1,914	25.9	21	21	8	7	9	3	5	--	--	--
	男	34	7.7	899	26.4	8	8	4	6	5	--	3	--	--	--
	女	40	7.1	1,015	25.4	13	13	4	1	4	3	2	--	--	--
整形外科	計	129	12.8	4,968	38.5	12	14	12	18	53	14	6	--	--	--
	男	33	7.4	1,501	45.5	1	6	1	5	12	4	4	--	--	--
	女	96	16.9	3,467	36.1	11	8	11	13	41	10	2	--	--	--
眼科	計	116	11.5	374	3.2	113	2	1	--	--	--	--	--	--	--
	男	45	10.1	144	3.2	44	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	71	12.5	230	3.2	69	1	1	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	116	11.5	2,714	23.4	33	19	25	14	15	7	3	--	--	--
	男	53	11.9	1,355	25.6	15	9	11	4	8	4	2	--	--	--
	女	63	11.1	1,359	21.6	18	10	14	10	7	3	1	--	--	--

4.診療科別・退院月別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比 (%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	計	1,011	100.0	76	81	71	79	95	89	93	80	99	90	82	76	128
	男	444	100.0	34	35	30	38	39	44	47	44	38	35	35	25	58
	女	567	100.0	42	46	41	41	56	45	46	36	61	55	47	51	70
構成比 (%)	計	100.0	--	7.5	8.0	7.0	7.8	9.4	8.8	9.2	7.9	9.8	8.9	8.1	7.5	12.7
	男	100.0	--	7.7	7.9	6.8	8.6	8.8	9.9	10.6	9.9	8.6	7.9	7.9	5.6	13.1
	女	100.0	--	7.4	8.1	7.2	7.2	9.9	7.9	8.1	6.3	10.8	9.7	8.3	9.0	12.3
内科	計	576	57.0	40	48	36	50	62	53	43	42	53	53	48	48	101
	男	279	62.8	18	22	16	25	31	27	24	26	22	28	24	16	43
	女	297	52.4	22	26	20	25	31	26	19	16	31	25	24	32	58
外科	計	74	7.3	6	5	5	6	9	8	8	4	8	7	6	2	5
	男	34	7.7	3	1	4	3	2	4	7	3	2	2	2	1	2
	女	40	7.1	3	4	1	3	7	4	1	1	6	5	4	1	3
整形外科	計	129	12.8	11	8	10	8	11	8	14	13	15	8	10	13	1
	男	33	7.4	5	3	1	3	3	1	3	2	3	3	3	3	--
	女	96	16.9	6	5	9	5	8	7	11	11	12	5	7	10	1
眼科	計	116	11.5	10	8	12	5	5	11	13	12	11	10	12	7	--
	男	45	10.1	2	5	5	2	2	6	5	9	4	--	4	1	--
	女	71	12.5	8	3	7	3	3	5	8	3	7	10	8	6	--
総診	計	116	11.5	9	12	8	10	8	9	15	9	12	12	6	6	21
	男	53	11.9	6	4	4	5	1	6	8	4	7	2	2	4	13
	女	63	11.1	3	8	4	5	7	3	7	5	5	10	4	2	8

疾病統計（入院患者）

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
	総数	計	1,011	100.0	576	74	129	116	116
		男	444	100.0	279	34	33	45	53
		女	567	100.0	297	40	96	71	63
	構成比(%)	計	100.0	--	57.0	7.3	12.8	11.5	11.5
		男	100.0	--	62.8	7.7	7.4	10.1	11.9
		女	100.0	--	52.4	7.1	16.9	12.5	11.1
I	感染症及び寄生虫症	計	38	3.8	29	--	--	--	9
		男	10	2.3	9	--	--	--	1
		女	28	4.9	20	--	--	--	8
II	新生物<腫瘍>	計	71	7.0	37	28	1	--	5
		男	38	8.6	26	9	--	--	3
		女	33	5.8	11	19	1	--	2
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	10	1.0	8	--	--	--	2
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	7	1.2	5	--	--	--	2
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	31	3.1	24	1	--	2	4
		男	14	3.2	12	1	--	--	1
		女	17	3.0	12	--	--	2	3
V	精神及び行動の障害	計	6	0.6	5	1	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	4	0.7	4	--	--	--	--
VI	神経系の疾患	計	45	4.5	32	--	5	--	8
		男	17	3.8	13	--	1	--	3
		女	28	4.9	19	--	4	--	5
VII	眼及び付属器の疾患	計	114	11.3	1	--	--	113	--
		男	45	10.1	--	--	--	45	--
		女	69	12.2	1	--	--	68	--
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	9	0.9	6	--	--	--	3
		男	4	0.9	3	--	--	--	1
		女	5	0.9	3	--	--	--	2
IX	循環器系の疾患	計	142	14.0	114	1	3	--	24
		男	72	16.2	52	--	1	--	19
		女	70	12.3	62	1	2	--	5
X	呼吸器系の疾患	計	116	11.5	93	1	--	--	22
		男	66	14.9	55	--	--	--	11
		女	50	8.8	38	1	--	--	11
X I	消化器系の疾患	計	100	9.9	63	28	--	--	9
		男	52	11.7	34	13	--	--	5
		女	48	8.5	29	15	--	--	4
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	18	1.8	13	1	--	--	4
		男	6	1.4	4	1	--	--	1
		女	12	2.1	9	--	--	--	3
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	57	5.6	16	3	35	--	3
		男	25	5.6	9	3	12	--	1
		女	32	5.6	7	--	23	--	2
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	54	5.3	47	2	--	--	5
		男	19	4.3	17	1	--	--	1
		女	35	6.2	30	1	--	--	4
X V	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X VI	周産期に発生した病態	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	55	5.4	40	2	--	--	13
		男	25	5.6	20	1	--	--	4
		女	30	5.3	20	1	--	--	9
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	121	12.0	26	6	85	--	4
		男	38	8.6	14	4	19	--	1
		女	83	14.6	12	2	66	--	3
X X	傷病及び死亡の外因	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	計	2	0.2	1	--	--	1	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	1	--
X X II	特殊目的用コード	計	22	2.2	21	--	--	--	1
		男	7	1.6	6	--	--	--	1
		女	15	2.6	15	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
	総数	計	1,011	100.0	576	74	129	116	116
		男	444	100.0	279	34	33	45	53
		女	567	100.0	297	40	96	71	63
	構成比(%)	計	100.0	--	57.0	7.3	12.8	11.5	11.5
		男	100.0	--	62.8	7.7	7.4	10.1	11.9
		女	100.0	--	52.4	7.1	16.9	12.5	11.1
A047	[M]クロストリジウム・ ディフィシルによる全腸炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
A049	[M]細菌性腸管感染症、詳 細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
A081	[M]ノーウォーク様ウイル スによる急性胃腸症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
A084	[M]ウイルス性腸管感染 症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸 炎、感染症及び詳細不明の原 因によるもの	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
A090	[M]感染症が原因のその他及 び詳細不明の胃腸炎及び大腸 炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による 胃腸炎及び大腸炎	計	14	1.4	9	--	--	--	5
		男	5	1.1	4	--	--	--	1
		女	9	1.6	5	--	--	--	4
A415	[M]その他のグラム陰性菌 による敗血症	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	5	0.5	5	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	4	0.4	3	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	3	--	--	--	1
B027	[M]播種性帯状疱疹	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴 わないもの	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
B169	[M]急性B型肝炎、デルタ因 子及び肝性昏睡を伴わないも の	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪 性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	2	2	--	--	--
		男	3	0.7	2	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生 物<腫瘍>】	計	5	0.5	2	3	--	--	--
		男	3	0.7	1	2	--	--	--
		女	2	0.4	1	1	--	--	--
C182	[M]上行結腸【結腸の悪性 新生物<腫瘍>】	計	9	0.9	2	7	--	--	--
		男	4	0.9	1	3	--	--	--
		女	5	0.9	1	4	--	--	--
C186	[M]下行結腸【結腸の悪性 新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C187	[M]S状結腸【結腸の悪性 新生物<腫瘍>】	計	3	0.3	--	2	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	--	2	--	--	1
C189	[M]結腸、部位不明【結腸 の悪性新生物<腫瘍>】	計	3	0.3	1	1	--	--	1
		男	3	0.7	1	1	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
C20	[M]直腸の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>】	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>】	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C252	[M]膵尾部【膵の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性新生物<腫瘍>】	計	9	0.9	6	3	--	--	--
		男	4	0.9	4	--	--	--	--
		女	5	0.9	2	3	--	--	--
C341	[M]上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
C509	[M]乳房、部位不明【乳房の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
C549	[M]子宮体部、部位不明【子宮体部の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C61	[M]前立腺の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
C677	[M]尿管【膀胱の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C679	[M]膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	4	0.9	4	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C778	[M]多部位のリンパ節【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
C786	[M]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	7	0.7	1	6	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	6	1.1	--	6	--	--	--
D329	[M]髄膜、部位不明【髄膜の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
D421	[M]脊髄膜【髄膜の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
D500	[M]失血による鉄欠乏性貧血（慢性）	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
D508	[M]その他の鉄欠乏性貧血	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
D529	[M]葉酸欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
D619	[M]無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
D649	[M]貧血、詳細不明	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
E10	[M]1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E100	[M]昏睡を伴うもの【1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>】	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
E11	[M]2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	計	6	0.6	5	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	4	0.7	3	--	--	--	1
E110	[M]昏睡を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E113	[M]眼合併症を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>】	計	2	0.2	--	--	--	2	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	2	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E15	[M]非糖尿病性低血糖性昏睡	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E162	[M]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
E639	[M]栄養欠乏症、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
E835	[M]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E86	[M]体液量減少(症)	計	11	1.1	9	--	--	--	2
		男	7	1.6	6	--	--	--	1
		女	4	0.7	3	--	--	--	1
E870	[M]高浸透圧及び高ナトリウム血症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
F152	[M]依存症候群【カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
F209	[M]統合失調症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
F419	[M]不安障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
F459	[M]身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
G20	[M]パーキンソン<Parkinson>病	計	6	0.6	6	--	--	--	--
		男	4	0.9	4	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
G231	[M]進行性核上性眼筋麻痺[スティール・リチャードソン・オルゼウスキー<Steele-Richardson-Olszewski>病]	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	2
G309	[M]アルツハイマー<Alzheimer>病、詳細不明	計	12	1.2	11	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	11	1.9	10	--	--	--	1
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
G442	[M]緊張性頭痛	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	7	0.7	4	--	--	--	3
		男	6	1.4	4	--	--	--	2
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
G562	[M]尺骨神経の病変	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
G711	[M]筋強直性障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G903	[M]多系統変性(症)	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	4	--	--	--	--
G919	[M]水頭症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G959	[M]脊髄疾患、詳細不明	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--
H110	[M]翼状片	計	1	0.1	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
H250	[M]老人性初発白内障	計	3	0.3	--	--	--	3	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	--	3	--
H251	[M]老人性核白内障	計	1	0.1	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
H258	[M]その他の老人性白内障	計	2	0.2	1	--	--	1	--
		男	1	0.2	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	101	10.0	--	--	--	101	--
		男	41	9.2	--	--	--	41	--
		女	60	10.6	--	--	--	60	--
H264	[M]後発白内障	計	2	0.2	--	--	--	2	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	2	--
H269	[M]白内障、詳細不明	計	3	0.3	--	--	--	3	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	--	3	--
H270	[M]無水晶体(眼)	計	1	0.1	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
H811	[M]良性発作性めまい<眩暈(症)>	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
H813	[M]その他の末梢性めまい <眩暈(症)>	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	3	0.7	2	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
H814	[M]中枢性めまい<眩暈 (症)>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
H819	[M]前庭機能障害、詳細不明	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	2
I071	[M]三尖弁閉鎖不全(症)	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I10	[M]本態性(原発性<一次 性>)高血圧(症)	計	6	0.6	6	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
I129	[M]腎不全を伴わない高血 圧性腎疾患	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I201	[M]記録されたれん<攣> 縮を伴う狭心症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I279	[M]肺性心疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I319	[M]心膜の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I350	[M]大動脈弁狭窄(症)	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
I351	[M]大動脈弁閉鎖不全 (症)	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I480	[M]発作性心房細動	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I482	[M]慢性心房細動	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I489	[M]心房細動及び心房粗 動、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	18	1.8	16	--	--	--	2
		男	9	2.0	8	--	--	--	1
		女	9	1.6	8	--	--	--	1
I509	[M]心不全、詳細不明	計	63	6.2	49	1	--	--	13
		男	32	7.2	21	--	--	--	11
		女	31	5.5	28	1	--	--	2
I518	[M]その他の診断名不明確 な心疾患	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I609	[M]くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
I613	[M]脳幹の脳内出血	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
I620	[M]硬膜下出血(急性) (非外傷性)	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
I633	[M]脳動脈の血栓症による 脳梗塞	計	12	1.2	10	--	--	--	2
		男	8	1.8	6	--	--	--	2
		女	4	0.7	4	--	--	--	--
I634	[M]脳動脈の塞栓症による 脳梗塞	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉 塞又は狭窄による脳梗塞	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	8	0.8	6	--	--	--	2
		男	3	0.7	2	--	--	--	1
		女	5	0.9	4	--	--	--	1
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I7021	[I]下肢閉塞性動脈硬化症・ 壊疽あり	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
I709	[M]全身性及び詳細不明のア テローム<じゅく<粥>状> 硬化(症)	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I802	[M]下肢のその他の深在血管 の静脈炎及び血栓(性)静脈 炎	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
J019	[M]急性副鼻腔炎、詳細不 明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J029	[M]急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J030	[M]連鎖球菌による扁桃炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うイン フルエンザ、その他のインフルエン ザウイルスが分離されたもの	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J13	[M]肺炎連鎖球菌による肺 炎	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	8	0.8	4	--	--	--	4
		男	4	0.9	2	--	--	--	2
		女	4	0.7	2	--	--	--	2
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	6	0.6	4	--	--	--	2
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	5	0.9	3	--	--	--	2
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	22	2.2	19	--	--	--	3
		男	12	2.7	11	--	--	--	1
		女	10	1.8	8	--	--	--	2
J209	[M]急性気管支炎、詳細不 明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J40	[M]気管支炎、急性又は慢 性と明示されないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J439	[M]肺気腫、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	6	0.6	6	--	--	--	--
		男	6	1.4	6	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	7	0.7	5	--	--	--	2
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	4	0.7	2	--	--	--	2
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	44	4.4	38	--	--	--	6
		男	26	5.9	20	--	--	--	6
		女	18	3.2	18	--	--	--	--
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J930	[M]緊張性自然気胸	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J939	[M]気胸、詳細不明	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
J9611	[I]慢性2型呼吸不全の急性増悪	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K210	[M]食道炎を伴う胃食道逆流症	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K250	[M]急性、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K253	[M]急性、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
K254	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
K279	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K315	[M]十二指腸閉塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえ<壊>疝を伴わないもの	計	5	0.5	--	5	--	--	--
		男	5	1.1	--	5	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K413	[M]一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞を伴い、え<壊>疝を伴わないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K420	[M]臍ヘルニア、閉塞を伴い、え<壊>疝を伴わないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
K450	[M]その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞を伴い、えくぼ瘻を伴わないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	8	0.8	8	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	7	1.2	7	--	--	--	--
K562	[M]軸捻(転)	計	3	0.3	2	1	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K566	[M]その他及び詳細不明の腸閉塞	計	3	0.3	1	2	--	--	--
		男	3	0.7	1	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K572	[M]穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	6	0.6	5	1	--	--	--
		男	3	0.7	2	1	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
K590	[M]便秘	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K623	[M]直腸脱	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
K624	[M]肛門及び直腸の狭窄	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K631	[M]腸穿孔(非外傷性)	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	8	0.8	7	--	--	--	1
		男	5	1.1	4	--	--	--	1
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
K650	[M]急性腹膜炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	7	0.7	7	--	--	--	--
		男	7	1.6	7	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K720	[M]急性及び亜急性肝不全	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K761	[M]慢性(受動性)うっ血肝	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K800	[M]急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	3	0.3	--	3	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう<囊>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のう<囊>炎	計	7	0.7	2	5	--	--	--
		男	4	0.9	2	2	--	--	--
		女	3	0.5	--	3	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K831	[M]胆管閉塞	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	9	0.9	7	--	--	--	2
		男	4	0.9	3	--	--	--	1
		女	5	0.9	4	--	--	--	1
L021	[M]頸部の皮膚膿瘍、せつくフルンケル>及びよう<カルブンケル>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
L022	[M]体幹の皮膚膿瘍、せつくフルンケル>及びよう<カルブンケル>	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
L031	[M](四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	2
L033	[M]体幹の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	5	0.5	5	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--
L853	[M]皮膚乾燥症<乾皮症>	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
L899	[M]じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	2	--	--	--	1
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M1122	[I]左肘関節偽痛風	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I*]右膝関節偽痛風	計	3	0.3	2	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	2	--	1	--	--
M1127	[I]足関節偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M1128	[I]頸椎偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M1313	[I]手関節炎	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
M1315	[*]股関節炎	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
M151	[M]ヘバーデン<Heberden>結節(関節障害を伴うもの)	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	17	1.7	--	--	17	--	--
		男	9	2.0	--	--	9	--	--
		女	8	1.4	--	--	8	--	--
M4656	[I]腰椎化膿性脊椎炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
M4659	[I]化膿性脊椎炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
M4806	[*]腰部脊柱管狭窄症	計	4	0.4	1	1	2	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
M511	[M]腰部及びその他の部位の椎間板障害、神経根障害を伴うもの(G55、1*)	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
M5456	[*]急性腰痛症	計	6	0.6	1	1	3	--	1
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	5	0.9	1	--	3	--	1
M6259	[*]廃用症候群	計	7	0.7	6	--	--	--	1
		男	6	1.4	6	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
M7197	[I]左化膿性足関節滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M7969	[I]左側下肢痛	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8098	[I]骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M8419	[I]左肘頭偽関節	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	10	1.0	9	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	8	1.4	7	--	--	--	1
N119	[M]慢性尿細管間質性腎炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N151	[M]腎膿瘍及び腎周囲膿瘍	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N185	[M]慢性腎臓病、ステージ5	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N201	[M]尿管結石	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N202	[M]尿管結石を伴う腎結石	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
N289	[M]腎及び尿管の障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N300	[M]急性膀胱炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N321	[M]膀胱腸瘻	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	23	2.3	18	1	--	--	4
		男	7	1.6	6	--	--	--	1
		女	16	2.8	12	1	--	--	3
N410	[M]急性前立腺炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R064	[M]過呼吸	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R100	[M]急性腹症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R101	[M]上腹部に局限した疼痛	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
R104	[M]その他及び詳細不明の腹痛	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	3	0.3	2	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
R13	[M]えん<嚔>下障害	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
R233	[M]特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
R262	[M]歩行困難、他に分類されないもの	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
R31	[M]詳細不明の血尿	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	6	0.6	4	--	--	--	2
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	5	0.9	3	--	--	--	2
R42	[M]めまい<眩暈>感及び よろめき感	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
R54	[M]老衰	計	6	0.6	5	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	5	0.9	4	--	--	--	1
R55	[M]失神及び虚脱	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R568	[M]その他及び詳細不明の けいれん<痙攣>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R600	[M]限局性浮腫	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
R630	[M]食欲不振	計	10	1.0	8	--	--	--	2
		男	6	1.4	5	--	--	--	1
		女	4	0.7	3	--	--	--	1
R634	[M]異常体重減少	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
R688	[M]その他の明示された全 身症状及び徴候	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S001	[M]眼瞼及び眼球周囲部の 挫傷	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S010	[M]頭皮の開放創	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
S0290	[I]顔面骨骨折	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
S030	[M]顎の脱臼	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S065	[M]外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S0650	[I]右外傷性慢性硬膜下血腫	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S2200	[I*]第7胸椎圧迫骨折	計	6	0.6	1	--	5	--	--
		男	2	0.5	1	--	1	--	--
		女	4	0.7	--	--	4	--	--
S2230	[I]右第11肋骨骨折	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S2240	[I*]左肋骨多発骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
S3200	[*]第1腰椎圧迫骨折	計	26	2.6	3	--	23	--	--
		男	5	1.1	2	--	3	--	--
		女	21	3.7	1	--	20	--	--
S3230	[I]右腸骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S3250	[*]右恥骨骨折	計	2	0.2	1	--	1	--	--
		男	2	0.5	1	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S3280	[I]左坐骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S4210	[I]肩関節脱臼骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S4220	[*]左側上腕骨近位端骨折	計	3	0.3	1	--	2	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S4240	[*]上腕骨顆上骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S5240	[I]右橈骨尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[*]右橈骨遠位端骨折	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	--	--	4	--	--
S5280	[I]尺骨遠位端骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S610	[M]爪の傷害を伴わない指の開放創	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S619	[M]手首及び手の開放創、部位不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S701	[M]大腿の挫傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S7200	[*]大腿骨頸部骨折	計	7	0.7	2	--	4	--	1
		男	2	0.5	--	--	1	--	1
		女	5	0.9	2	--	3	--	--
S7210	[*]右大腿骨転子部骨折	計	18	1.8	--	--	18	--	--
		男	4	0.9	--	--	4	--	--
		女	14	2.5	--	--	14	--	--
S7240	[*]左大腿骨顆上骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S8200	[*]右膝蓋骨骨折	計	2	0.2	1	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S8210	[*]左脛骨近位端骨折	計	2	0.2	1	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S8250	[I]右足関節内果骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

ICD10別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
S8260	[I]右足関節外果骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S8280	[I*]左足関節脱臼骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I*]両側踵骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S9210	[I]右距骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[I]右中足骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S9240	[I]母趾末節骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
T0210	[I]胸腰椎圧迫骨折	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
T08-0	[I*]脊椎圧迫骨折	計	3	0.3	1	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	1	--	2	--	--
T1420	[I]右大腿骨転子部粉碎骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	3	0.3	--	3	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
T634	[M]その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
T814	[M]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	2	0.2	--	1	--	--	1
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
T913	[M]脊髄損傷の続発・後遺症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
U071	[M]エマーゼンシーコードU07.1	計	22	2.2	21	--	--	--	1
		男	7	1.6	6	--	--	--	1
		女	15	2.6	15	--	--	--	--
Z931	[M]胃瘻造設状態	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
Z961	[M]眼内レンズの存在	計	1	0.1	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	1	--

ICD10別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-			
E11	[M]2型<インスリン非依存性>糖尿病<N I D D M>	計	6	0.6	81.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	3	--		
		男	2	0.5	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	
E110	[M]容態を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<N I D D M>】	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
E113	[M]容態を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<N I D D M>】	計	2	0.2	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	2	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
E15	[M]非糖尿病性低血糖性昏睡	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	--	
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
E162	[M]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
E639	[M]栄養欠乏症、詳細不明	計	1	0.1	50.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	50.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
E835	[M]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
E86	[M]体液量減少(症)	計	11	1.1	83.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--	2	6	4	
		男	7	1.6	80.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	
E870	[M]高浸透圧及び高ナトリウム血症	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	
		男	2	0.5	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	
F03	[M]詳細不明の認知症	計	1	0.1	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	51.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	51.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F152	[M]依存症候群【コカインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
F209	[M]統合失調症、詳細不明	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
F419	[M]不安障害、詳細不明	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
F459	[M]身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	52.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	52.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
G20	[M]パーキンソン<P a r k i n s o n>病	計	6	0.6	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	2	--	--	--	
		男	4	0.9	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	2	--	--	
G231	[M]慢性肝臓病【慢性肝炎(慢性肝炎)<O l i v e r >病】	計	3	0.3	78.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--	--	
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
G309	[M]アルツハイマー<A l z h e i m e r>病、詳細不明	計	12	1.2	86.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	3	3	4	1	
		男	1	0.2	97.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計	2	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	
		男	1	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
G442	[M]緊張性頭痛	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.3	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	--	--	
		男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	7	0.7	64.6	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	3	1	1	1	--	--	--	--	
		男	6	1.4	63.8	--	--	--	--	--	--	2	1	--	1	2	1	1	--	--	--	--	--	
G562	[M]尺骨神経の病変	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
G711	[M]筋強直性障害	計	1	0.1	50.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	50.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
G903	[M]多系統変性(症)	計	4	0.4	64.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	--	--	--	--	--	--	--	
		男	4	0.7	64.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	--	--	--	--	--	--	--	
G919	[M]水頭症、詳細不明	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
G959	[M]脊髄疾患、詳細不明	計	4	0.4	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	1	--	
		男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	1	--	
H110	[M]翼状片	計	1	0.1	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
H250	[M]老人性初発白内障	計	3	0.3	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	3	0.5	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	1	--	--	--	
H251	[M]老人性核白内障	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
H258	[M]その他の老人性白内障	計	2	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	
		男	1	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	101	10.0	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	9	19	31	22	15	1	--		
		男	41	9.2	78.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	7	16	11	6	--	--		
H264	[M]後発白内障	計	2	0.2	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	
		男	2	0.4	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
H269	[M]白内障、詳細不明	計	3	0.3	71.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	--	--	--	--	
		男	3	0.5	71.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	--	--	--	--	
H270	[M]無水晶体(眼)	計	1																					

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	年齢階層																				
					0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-				
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計 男 女	2 1 1	0.2 0.2 0.2	79.0 76.0 82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--				
I279	[M]肺性心疾患、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	92.0 92.0 92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1			
I319	[M]心臓の疾患、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	93.0 93.0 93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1		
I350	[M]大動脈弁狭窄(症)	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	95.0 95.0 95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1		
I351	[M]大動脈弁閉鎖不全(症)	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	85.0 85.0 85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1		
I480	[M]発作性心房細動	計 男 女	2 1 1	0.2 0.2 0.2	90.5 90.0 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	
I482	[M]慢性心房細動	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	82.0 82.0 82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
I489	[M]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	82.0 82.0 82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
I500	[M]うっ血性心不全	計 男 女	18 9 9	1.8 2.0 1.6	89.6 85.9 93.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3	4	10	4	6	
I509	[M]心不全、詳細不明	計 男 女	63 32 31	6.2 7.2 5.5	87.9 85.9 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	1	2	8	16	32	9	15	
I518	[M]その他の診断名不明確な心疾患	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	95.0 95.0 95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	
I609	[M]くも膜下出血、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	88.0 88.0 84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
I613	[M]脳幹の脳内出血	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	84.0 84.0 84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計 男 女	3 1 2	0.3 0.2 0.4	90.7 91.0 90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	1	2
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計 男 女	12 8 4	1.2 1.8 0.7	76.3 75.3 78.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	1	2	1	4	4	3	1	2	
I634	[M]脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計 男 女	3 1 2	0.3 0.2 0.4	91.0 86.0 93.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計 男 女	3 1 2	0.3 0.2 0.4	88.7 86.0 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	
I638	[M]その他の脳梗塞	計 男 女	8 3 5	0.8 0.7 0.9	89.5 82.7 93.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	2	4	1	4	
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計 男 女	2 2 2	0.2 0.5 0.5	93.5 93.5 93.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	2
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	88.0 88.0 88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
I7021	[I]下肢閉塞性動脈硬化症・壊疽あり	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	86.0 86.0 86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
I709	[M]空芽性及び詳細不明のアテローム<じゅく>粥>状<硬皮>	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	93.0 93.0 93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	
I802	[M]下行腸のその他の常在細菌の肺炎及び血栓(性)静脈炎	計 男 女	3 3 3	0.3 0.5 0.5	91.0 91.0 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	2	
I919	[M]急性副鼻腔炎、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	95.0 95.0 95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	
J029	[M]急性咽喉炎、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	87.0 87.0 87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
J030	[M]連鎖球菌による扁桃炎	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	69.0 69.0 69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフルエンザウイルスが分類されたもの	計 男 女	2 1 1	0.2 0.2 0.2	48.5 28.0 69.0	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
J13	[M]肺炎連鎖球菌による肺炎	計 男 女	2 2 2	0.2 0.4 0.4	82.0 82.0 82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計 男 女	8 4 4	0.8 0.9 0.7	78.4 72.0 84.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	2	1	1	1	2	2	2	
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計 男 女	6 1 5	0.6 0.2 0.9	91.2 83.0 92.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	4	
J189	[M]肺炎、詳細不明	計 男 女	22 12 10	2.2 2.7 1.8	85.8 82.9 89.2	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	2	2	1	1	6	11	5	4		
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計 男 女	2 2 2	0.2 0.5 0.5	80.0 80.0 80.0	--	--	--	--	--	--	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	91.0 91.0 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
J439	[M]肺炎腫、詳細不明	計 男 女	2 2 2	0.2 0.5 0.5	80.0 80.0 80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	2	2	2	
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計 男 女	2 1 1	0.2 0.2 0.2	89.5 95.0 84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計 男 女	6 6 6	0.6 1.4 1.4	84.2 84.2 84.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	3	3	2	2	2	
J459	[M]喘息、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	71.0 71.0 71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
J46	[M]喘息発作重積状態	計 男 女	7 4 4	0.7 0.7 0.7	80.7 72.7 86.8	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計 男 女	44 26 18	4.4 5.9 3.2	83.4 86.3 91.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	6	7	8	11	21	7	9	12	
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	78.0 78.0 85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	85.0 85.0 85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計 男 女	2 1 1	0.2 0.2 0.2	91.5 92.0 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	1	
J930	[M]緊急性自然気胸	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	90.0 90.0 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
J939	[M]気胸、詳細不明	計 男 女	2 1 1	0.2 0.2 0.2	60.5 75.0 46.0	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
J9611	[I]慢性2型呼吸不全の急性増悪	計 男 女	1 1 1	0.1 0.2 0.2	93.0 93.0 93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	
K210	[M]食道炎を伴う胃食道逆流症	計 男 女	3 1 2	0.3 0.2 0.4	87.7 82.0 90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	2	2	

ICD10別・年齢階層別・病名数

病名	性別	総数	構成比(%)	平均年齢	年齢階層																		
					0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-		
K250 [M]急性、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1			
	男	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1			
K253 [M]急性、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	3	0.3	62.3	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--			
	男	2	0.5	58.5	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--			
K254 [M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K259 [M]悪性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	2	0.4	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K279 [M]悪性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
	男	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
K315 [M]十二指腸閉塞	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K409 [M]一側性又は両側不明のそけい臓径>ヘルニア、閉塞及びえく瘻>を伴わないもの	計	5	0.5	79.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	1				
	男	5	1.1	79.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	1				
K413 [M]一側性又は両側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞を伴い、えく瘻>を伴わないもの	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K420 [M]両側ヘルニア、閉塞を伴い、えく瘻>を伴わないもの	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
	男	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
K450 [M]その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞を伴い、えく瘻>を伴わないもの	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
	男	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
K559 [M]腸の血行障害、詳細不明	計	8	0.8	83.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	4				
	男	7	1.2	84.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1	4				
K562 [M]軸捻(転)	計	3	0.3	82.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1				
	男	2	0.5	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1				
K565 [M]閉塞を伴う腸癒着(索条物)	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K566 [M]その他及び詳細不明の腸閉塞	計	3	0.3	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	1				
	男	3	0.7	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	1				
K567 [M]イレウス、詳細不明	計	2	0.2	74.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--				
	男	2	0.5	74.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--				
K572 [M]穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
	男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
K573 [M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	6	0.6	75.8	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	--	2	--	1				
	男	3	0.7	65.3	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	--	2	--	--				
K590 [M]便秘	計	4	0.4	82.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--	1				
	男	2	0.5	78.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--				
K623 [M]直腸脱	計	2	0.2	84.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1				
	男	2	0.4	84.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1				
K624 [M]肛門及び直腸の狭窄	計	1	0.1	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--				
	男	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--				
K631 [M]腸穿孔(非外傷性)	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K635 [M]大腸<結腸>のポリープ	計	8	0.8	71.6	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	3	1	--	--				
	男	5	1.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	1	1	--	--				
K650 [M]急性腹膜炎	計	3	0.5	72.7	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	--	1	--	--				
	男	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
K703 [M]アルコール性肝硬変	計	7	0.7	66.9	--	--	--	--	--	--	--	1	--	4	2	--	--	--	--				
	男	7	1.6	66.9	--	--	--	--	--	--	--	1	--	4	2	--	--	--	--				
K709 [M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--				
	男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--				
K720 [M]急性及び亜急性肝不全	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K761 [M]慢性(変動性)うっ血肝	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K769 [M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K800 [M]急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	3	0.3	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1				
	男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1				
K802 [M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
	男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
K803 [M]胆管炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	97.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	97.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1				
K805 [M]胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1				
	男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1				
K810 [M]急性胆のう<嚢>炎	計	7	0.7	80.9	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	3	1				
	男	4	0.9	77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	1	1				
K830 [M]胆管炎	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
	男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
K831 [M]胆管閉塞	計	3	0.3	85.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1				
	男	3	0.5	85.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	2	--	1			
K859 [M]急性膵炎、詳細不明	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
	男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
K922 [M]胃腸出血、詳細不明	計	9	0.9	84.2	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3	1	--	4	--				
	男	4	0.9	76.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	1	--	--	--				
L021 [M]頸部の皮膚膿瘍、セブ<フルンケル>及びよう<カルプンケル>	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--				
	男	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--				
L022 [M]体幹部の皮膚膿瘍、セブ<フルンケル>及びよう<カルプンケル>	計	1	0.1	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
	男	1	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--				
L031 [M](四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	3	0.3	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	--				
	男	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--				
L033 [M]体幹部の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	2	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2				
	男	2	0.4	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2				
L039 [M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	5	0.5	86.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	1	--				
	男	2	0.5	84.5	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	1	--				
L853 [M]皮膚乾燥症<乾皮症>	計	2	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--				
	男	2	0.4	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--				
L899 [M]じよ<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明	計	3	0.3	91.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2				
	男	3	0.5	91.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2				
L984 [M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--				
	男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--													

ICD10別・年齢階層別・病名数

	総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-		
M1122 [i]左肘関節偽痛風	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	88.0 88.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--		
M1126 [*]右膝関節偽痛風	計 3 男 3 女 0	0.3 0.5 --	94.0 94.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	
M1127 [i]足関節偽痛風	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	89.0 89.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
M1128 [i]頸椎偽痛風	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	92.0 92.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M1313 [i]手関節炎	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	90.0 90.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M1315 [*]股関節炎	計 2 男 2 女 0	0.2 0.4 --	87.5 87.5 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	
M151 [M]ヘバーデン<Heberden>結節(関節障害を伴うもの)	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	67.0 67.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	
M169 [M]股関節症、詳細不明	計 2 男 1 女 1	0.2 0.2 0.2	73.5 75.0 72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	
M179 [M]膝関節症、詳細不明	計 17 男 9 女 8	1.7 2.0 1.4	80.0 80.7 79.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	5	7	2	1	--	
M4656 [i]腰椎化膿性脊椎炎	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	93.0 93.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M4659 [i]化膿性脊椎炎	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	57.0 57.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
M4806 [*]腰部脊柱管狭窄症	計 4 男 2 女 2	0.4 0.5 0.4	87.3 91.0 81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--	
M511 [M]腰部及びその他の部位の椎間板障害、神経根障害を伴うもの(G55.1*)	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	81.0 81.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M512 [M]その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計 3 男 1 女 2	0.3 0.2 0.4	51.7 50.0 52.5	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--	
M5456 [*]急性腰痛症	計 6 男 1 女 5	0.6 0.2 0.9	86.8 90.0 86.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	3	--	
M6259 [*]廃用症候群	計 7 男 6 女 1	0.7 1.4 0.2	81.7 80.2 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	1	1	--	2	3	--	
M7197 [i]左化膿性足関節滑液包炎	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	76.0 76.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	
M7969 [i]左側下肢痛	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	92.0 92.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M8098 [i]骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	92.0 92.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
M8419 [i]左肘頭偽関節	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	59.0 59.0 --	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
N10 [M]急性尿管管間質性腎炎	計 10 男 2 女 8	1.0 0.5 1.4	88.0 88.5 87.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	6	--	
N119 [M]慢性尿管管間質性腎炎、詳細不明	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	83.0 83.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	
N12 [M]尿管管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	94.0 94.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
N151 [M]腎膿瘍及び腎周囲膿瘍	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	82.0 82.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
N185 [M]慢性腎臓病、ステージ5	計 2 男 2 女 0	0.2 0.5 --	82.5 82.5 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--	
N189 [M]慢性腎臓病、詳細不明	計 4 男 3 女 1	0.4 0.7 0.2	67.3 60.3 88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	1	--	--	--	1	--	--	
N19 [M]詳細不明の腎不全	計 2 男 2 女 0	0.2 0.5 --	85.5 85.5 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--	
N201 [M]尿管結石	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	86.0 86.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
N202 [M]尿管結石を伴う腎結石	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	98.0 98.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
N209 [M]尿路結石、詳細不明	計 2 男 2 女 0	0.2 0.4 --	88.5 88.5 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	
N289 [M]腎及び尿管の障害、詳細不明	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	74.0 74.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	--	
N300 [M]急性膀胱炎	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	93.0 93.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
N309 [M]膀胱炎、詳細不明	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	85.0 85.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
N319 [M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	84.0 84.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
N321 [M]膀胱腸瘻	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	87.0 87.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
N390 [M]尿路感染症、部位不明	計 23 男 7 女 16	2.3 1.6 2.8	84.7 82.3 85.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	3	3	3	3	10	--	
N410 [M]急性前立腺炎	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	73.0 73.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	
R064 [M]過呼吸	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	88.0 88.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
R100 [M]急性腹症	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	17.0 17.0 --	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
R101 [M]上腹部に限局した疼痛	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	91.0 91.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
R104 [M]その他及び詳細不明の腹痛	計 2 男 2 女 0	0.2 0.5 --	75.0 75.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	
R11 [M]悪心及び嘔吐	計 3 男 1 女 2	0.3 0.2 0.4	88.3 85.0 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	--	
R13 [M]えん<嚥>下障害	計 2 男 2 女 0	0.2 0.4 --	87.5 87.5 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	
R233 [M]特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	79.0 79.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	
R252 [M](有害性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計 1 男 1 女 0	0.1 0.2 --	87.0 87.0 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	
R262 [M]歩行困難、他に分類されないもの	計 2 男 2 女 0	0.2 0.5 --	87.5 87.5 --	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	

I CD10別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計 1 1	0.1 0.2	86.0 86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
R31	[M]詳細不明の血尿	計 3 3	0.3 0.7	91.3 91.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1
R402	[M]昏睡、詳細不明	計 6 1	0.6 0.2	91.3 88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
R42	[M]めまい<眩暈>感及びよろめき感	計 3 2	0.3 0.5	88.7 88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1
R509	[M]発熱、詳細不明	計 3 1	0.3 0.2	75.0 39.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計 1 1	0.1 0.2	75.0 75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
R54	[M]老衰	計 6 1	0.6 0.2	94.2 87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	5
R55	[M]失神及び虚脱	計 1 1	0.1 0.2	80.0 80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
R568	[M]その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	計 1 1	0.1 0.2	83.0 83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
R600	[M]限局性浮腫	計 3 2	0.3 0.5	91.7 92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3
R630	[M]食欲不振	計 10 6	1.0 1.4	87.6 86.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	3	4
R634	[M]異常体重減少	計 2 2	0.2 0.4	90.5 90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
R688	[M]その他の明示された全身症状及び徴候	計 1 1	0.1 0.2	95.0 95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S001	[M]眼瞼及び眼球周囲部の挫傷	計 1 1	0.1 0.2	86.0 86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S010	[M]頭皮の開放創	計 1 1	0.1 0.2	91.0 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S0290	[i]顔面骨骨折	計 1 1	0.1 0.2	82.0 82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
S030	[M]頭の脱臼	計 1 1	0.1 0.2	75.0 75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S065	[M]外傷性硬膜下出血	計 1 1	0.1 0.2	86.0 86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S0650	[i]右外傷性慢性硬膜下血腫	計 1 1	0.1 0.2	90.0 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S2200	[i]*第7胸椎圧迫骨折	計 2 4	0.6 0.7	84.5 89.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	3	1	1
S2230	[i]右第11肋骨骨折	計 1 1	0.1 0.2	79.0 79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S2240	[i]*左肋骨多発骨折	計 2 2	0.2 0.4	89.0 89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
S3200	[i]*第1腰椎圧迫骨折	計 26 5	2.6 1.1	84.7 82.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	5	2	5	6	8
S3200	[i]*第1腰椎圧迫骨折	計 21 21	3.7 3.7	85.2 85.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	1	5	6	6
S3230	[i]右腸骨骨折	計 1 1	0.1 0.2	89.0 89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S3250	[i]*右恥骨骨折	計 2 2	0.2 0.5	80.0 80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--
S3280	[i]左坐骨骨折	計 1 1	0.1 0.2	98.0 98.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S4210	[i]肩関節脱臼骨折	計 1 1	0.1 0.2	90.0 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S4220	[i]*左側上腕骨近位端骨折	計 3 1	0.3 0.2	88.0 82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	1
S4240	[i]*上腕骨顆上骨折	計 2 1	0.2 0.2	89.5 71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	計 1 1	0.1 0.2	91.0 91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S5240	[i]右橈骨尺骨骨幹部骨折	計 1 1	0.1 0.2	76.0 76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S5250	[i]*右橈骨遠位端骨折	計 4 4	0.4 0.7	76.8 76.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--	1
S5280	[i]尺骨遠位端骨折	計 1 1	0.1 0.2	89.0 89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S610	[M]爪の傷害を伴わない指の開放創	計 1 1	0.1 0.2	80.0 80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S619	[M]手首及び手の開放創、部位不明	計 1 1	0.1 0.2	100.0 100.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S701	[M]大腿の挫傷	計 1 1	0.1 0.2	89.0 89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S7200	[i]*大腿骨頸部骨折	計 7 2	0.7 0.5	84.7 77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	1	3
S7210	[i]*右大腿骨転子部骨折	計 18 4	1.8 0.9	87.8 90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	4	5	7
S7240	[i]*左大腿骨顆上骨折	計 14 3	2.5 0.3	87.2 88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	4	5	2
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計 3 1	0.3 0.2	88.0 85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
S8200	[i]*右膝蓋骨骨折	計 1 1	0.1 0.2	85.0 73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
S8210	[i]*左脛骨近位端骨折	計 2 1	0.2 0.2	73.5 64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
S8250	[i]右足関節内果骨折	計 1 1	0.1 0.2	76.0 76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
S8260	[i]右足関節外果骨折	計 1 1	0.1 0.2	83.0 83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
S8280	[i]*左足関節脱臼骨折	計 2 2	0.2 0.5	46.5 46.5	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[i]*両側踵骨骨折	計 2 1	0.2 0.2	64.0 45.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--

ICD10別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-		
S9210	[i]右距骨骨折	計	1	0.1	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[i]右中足骨骨折	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9240	[i]母趾末節骨骨折	計	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T0210	[i]胸腰椎圧迫骨折	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T08-0	[*]脊椎圧迫骨折	計	3	0.3	79.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T1420	[i]右大腿骨转子部粉砕骨折	計	1	0.1	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T630	[M]へび毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	3	0.3	80.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	--	--
		男	2	0.5	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--
T634	[M]その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
		男	2	0.5	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	3	0.3	66.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	67.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T814	[M]処置に誘発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T835	[M]尿管糸フロステータス、挿入物及び移植片による感染症及び急性性反応	計	2	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
T913	[M]脊髄損傷の続発・後遺症	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
U071	[M]エマーゼンシーコードU07.1	計	22	2.2	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	4	3	11	--
		男	7	1.6	87.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1	4	--
Z931	[M]胃腸造設状態	計	1	0.1	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z961	[M]眼内レンズの存在	計	1	0.1	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	1,011	100.0	28,388	28.1	343	175	113	93	171	64	45	3	4	--
	男	444	100.0	11,634	26.2	158	91	39	40	68	24	21	2	1	--
	女	567	100.0	16,754	29.5	185	84	74	53	103	40	24	1	3	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	33.9	17.3	11.2	9.2	16.9	6.3	4.5	0.3	0.4
	男	100.0	--	--	--	35.6	20.5	8.8	9.0	15.3	5.4	4.7	0.5	0.2	--
	女	100.0	--	--	--	32.6	14.8	13.1	9.3	18.2	7.1	4.2	0.2	0.5	--
A047	[M]クロストリジウム・ディ フィシルによる全腸炎	計	1	0.1	19	19.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	19	19.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
A049	[M]細菌性腸管感染症、詳細 不明	計	2	0.2	21	10.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
A081	[M]ノーウォーク様ウイルス による急性胃腸症	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
A084	[M]ウイルス性腸管感染症、 詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸 炎、感染症及び詳細不明の原因 によるもの	計	2	0.2	18	9.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--
	男	2	0.4	18	9.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
A090	[M]感染症が原因のその他及び 詳細不明の胃腸炎及び大腸炎	計	1	0.1	34	34.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による胃 腸炎及び大腸炎	計	14	1.4	86	6.1	10	4	--	--	--	--	--	--	--
	男	5	1.1	22	4.4	4	1	--	--	--	--	--	--	--	--
A415	[M]その他のグラム陰性菌に よる敗血症	計	3	0.3	86	28.7	--	--	2	--	1	--	--	--	--
	男	3	0.5	86	28.7	--	--	2	--	1	--	--	--	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	5	0.5	236	47.2	1	1	--	1	--	1	1	--	--
	男	2	0.5	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	4	0.4	74	18.5	1	--	2	1	--	--	--	--	--
	男	4	0.7	74	18.5	1	--	2	1	--	--	--	--	--	--
B027	[M]播種性帯状疱疹	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴わ ないもの	計	2	0.2	29	14.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--
	男	2	0.4	29	14.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
B169	[M]急性B型肝炎、デルタ因子 及び肝性昏睡を伴わないもの	計	1	0.1	52	52.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪性 新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	324	81.0	--	--	1	--	--	1	2	--	--
	男	3	0.7	307	102.3	--	--	--	--	--	1	2	--	--	--
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生物 <腫瘍>】	計	5	0.5	105	21.0	1	2	--	1	1	--	--	--	--
	男	3	0.7	81	27.0	1	--	--	1	1	--	--	--	--	--
C182	[M]上行結腸【結腸の悪性新 生物<腫瘍>】	計	9	0.9	425	47.2	--	3	2	--	2	--	2	--	--
	男	4	0.9	92	23.0	--	1	2	--	1	--	--	--	--	--
C186	[M]下行結腸【結腸の悪性新 生物<腫瘍>】	計	2	0.2	53	26.5	--	--	--	2	--	--	--	--	--
	男	2	0.5	53	26.5	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
C187	[M]S状結腸【結腸の悪性新 生物<腫瘍>】	計	3	0.3	250	83.3	1	--	--	--	--	1	1	--	--
	男	3	0.5	250	83.3	1	--	--	--	--	1	1	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の 悪性新生物<腫瘍>】	計	3	0.3	69	23.0	1	--	--	1	1	--	--	--	--
	男	3	0.7	69	23.0	1	--	--	--	1	1	--	--	--	--
C20	[M]直腸の悪性新生物<腫瘍 >】	計	1	0.1	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	男	1	0.2	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管 の悪性新生物<腫瘍>】	計	3	0.3	140	46.7	--	2	--	--	--	1	--	--	--
	男	2	0.5	20	10.0	--	2	--	--	--	--	1	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び部位 不明の胆道の悪性新生物<腫瘍 >】	計	3	0.3	58	19.3	1	1	--	--	1	--	--	--	--
	男	3	0.7	58	19.3	1	1	--	--	1	--	--	--	--	--
C252	[M]膵尾部【膵の悪性新生物 <腫瘍>】	計	2	0.2	113	56.5	--	--	1	--	--	1	--	--	--
	男	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性 新生物<腫瘍>】	計	9	0.9	197	21.9	5	1	--	--	2	1	--	--	--
	男	4	0.9	54	13.5	2	1	--	--	1	--	--	--	--	--
C341	[M]上葉、気管支又は肺【気管 支及び肺の悪性新生物<腫瘍 >】	計	2	0.2	60	30.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--
	男	2	0.5	60	30.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部位不明 【気管支及び肺の悪性新生物< 腫瘍>】	計	4	0.4	239	59.8	--	1	--	1	--	1	--	--	--
	男	1	0.2	122	122.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
C509	[M]乳房、部位不明【乳房の 悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	74	37.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男	2	0.4	74	37.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
C549	[M]子宮体部、部位不明【子宮 体部の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C61	[M]前立腺の悪性新生物<腫 瘍>】	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C677	[M]尿管管【膀胱の悪性新生 物<腫瘍>】	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C679	[M]膀胱、部位不明【膀胱の 悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	155	38.8	--	1	--	1	1	--	--	--	--
	男	4	0.9	155	38.8	--	1	--	1	1	1	--	--	--	--
C778	[M]多部位のリンパ節【リンパ 節の続発性及び部位不明の悪性 新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C786	[M]後腹膜及び腹膜の続発性 悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	10	5.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	2	0.5	10	5.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び肝内胆管の続発性 悪性新生物<腫瘍>】	計	7	0.7	146	20.9	4	1	--	1	--	1	--	--	--
	男	1	0.2	30	30.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	女	6	1.1	116	19.3	4	1	--	--	--	1	--	--	--	--

ICD10別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
D329	[M]髄膜、部位不明【髄膜の良性新生物<腫瘍>】	計 1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
D421	[M]脊髄膜【髄膜の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計 1	0.1	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D500	[M]失血による鉄欠乏性貧血(慢性)	計 3	0.3	28	9.3	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	2	0.5	14	7.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D508	[M]その他の鉄欠乏性貧血	計 1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D509	[M]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計 1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D529	[M]葉酸欠乏性貧血、詳細不明	計 1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D619	[M]無形成性貧血、詳細不明	計 1	0.1	86	86.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D649	[M]貧血、詳細不明	計 3	0.3	27	9.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
E10	[M]1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	計 1	0.1	142	142.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
	男女	1	0.2	142	142.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
E100	[M]昏睡を伴うもの【1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>】	計 1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E11	[M]2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	計 6	0.6	137	22.8	2	--	3	--	--	1	--	--	--	--
	男女	2	0.5	10	5.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E110	[M]昏睡を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>】	計 1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E113	[M]眼合併症を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>】	計 2	0.2	6	3.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計 2	0.2	52	26.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E15	[M]非糖尿病性低血糖性昏睡	計 1	0.1	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E162	[M]低血糖症、詳細不明	計 1	0.1	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E639	[M]栄養欠乏症、詳細不明	計 1	0.1	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E835	[M]カルシウム代謝障害	計 1	0.1	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E86	[M]体液量減少(症)	計 11	1.1	292	26.5	3	2	--	3	2	--	1	--	--	--
	男女	7	1.6	210	30.0	2	1	--	2	1	--	1	--	--	--
E870	[M]高浸透圧及び高ナトリウム血症	計 1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計 2	0.2	28	14.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	2	0.5	28	14.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計 1	0.1	144	144.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害】	計 1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F152	[M]依存症候群【カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害】	計 1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F209	[M]統合失調症、詳細不明	計 1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F419	[M]不安障害、詳細不明	計 1	0.1	39	39.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F459	[M]身体表現性障害、詳細不明	計 1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン<Parkinson>病	計 6	0.6	206	34.3	2	1	1	--	--	1	1	--	--	--
	男女	4	0.9	180	45.0	1	1	--	--	--	1	1	--	--	--
G231	[M]進行性上肢振盪麻痺【ステール・リチャードソン・オルゼウスカー<Steele-Richardson-Olszewski>病】	計 3	0.3	65	21.7	1	--	1	--	1	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー<Alzheimer>病、詳細不明	計 12	1.2	871	72.6	2	2	--	1	2	4	--	--	1	--
	男女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G318	[M]神経系のその他の明示された変性疾患	計 2	0.2	103	51.5	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
	男女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
G442	[M]緊張性頭痛	計 1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計 3	0.3	85	28.3	2	--	--	--	--	1	--	--	--	--
	男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計 7	0.7	14	2.0	7	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	6	1.4	12	2.0	6	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計 1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G711	[M]筋強直性障害	計 1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
G903	[M]多系統変性(症)	計	4	0.4	80	20.0	1	--	1	2	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G919	[M]水頭症、詳細不明	計	1	0.1	88	88.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	88	88.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
G959	[M]脊髄疾患、詳細不明	計	4	0.4	149	37.3	--	1	1	--	2	--	--	--	--
		男女	1	0.2	59	59.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
H110	[M]翼状片	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H250	[M]老人性初発白内障	計	3	0.3	9	3.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H251	[M]老人性核白内障	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H258	[M]その他の老人性白内障	計	2	0.2	48	24.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	101	10.0	336	3.3	98	2	1	--	--	--	--	--	--
		男女	41	9.2	133	3.2	40	1	--	--	--	--	--	--	--
H264	[M]後発白内障	計	2	0.2	2	1.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H269	[M]白内障、詳細不明	計	3	0.3	9	3.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.5	9	3.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--
H270	[M]無水晶体(眼)	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H811	[M]良性発作性めまい<眩暈(症)>	計	3	0.3	18	6.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.5	18	6.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	3	0.3	11	3.7	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	3	0.7	11	3.7	3	--	--	--	--	--	--	--	--
H814	[M]中枢性めまい<眩暈(症)>	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H819	[M]前庭機能障害、詳細不明	計	2	0.2	12	6.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	12	6.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--
I071	[M]三尖弁閉鎖不全(症)	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I10	[M]本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	6	0.6	84	14.0	3	1	1	--	1	--	--	--	--
		男女	3	0.7	15	5.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--
I129	[M]腎不全を伴わない高血圧性腎疾患	計	1	0.1	107	107.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男女	1	0.2	107	107.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--
I201	[M]記録されたれんく撃縮を伴う狭心症	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	2	0.2	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計	2	0.2	45	22.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I279	[M]肺性心疾患、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I319	[M]心臓の疾患、詳細不明	計	1	0.1	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I350	[M]大動脈弁狭窄(症)	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I351	[M]大動脈弁閉鎖不全(症)	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I480	[M]発作性心房細動	計	2	0.2	49	24.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I482	[M]慢性心房細動	計	1	0.1	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I489	[M]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	18	1.8	627	34.8	3	2	3	3	4	1	2	--	--
		男女	9	2.0	316	35.1	2	--	3	1	1	1	1	--	--
I509	[M]心不全、詳細不明	計	63	6.2	2,132	33.8	15	17	8	4	12	3	3	--	1
		男女	32	7.2	896	28.0	7	11	3	1	7	1	2	--	--
I518	[M]その他の診断名不明確な心疾患	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
I609	[M]くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	64	64.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男女	1	0.2	64	64.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I613	[M]脳幹の脳内出血	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計	3	0.3	61	20.3	1	--	1	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	12	1.2	216	18.0	3	4	2	1	2	--	--	--	--
		男女	8	1.8	155	19.4	2	3	1	--	2	--	--	--	--
I634	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	3	0.3	238	79.3	1	--	--	--	--	1	1	--	--
		男女	1	0.2	80	80.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-	
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	3	0.3	674	224.7	1	1	--	--	--	--	--	1	--	
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	663	331.5	1	--	--	--	--	--	--	--	1	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	8	0.8	152	19.0	2	2	1	1	2	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	49	16.3	2	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	103	20.6	--	2	1	1	1	--	--	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	2	0.2	268	134.0	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--
		男	2	0.5	268	134.0	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I7021	[I]下肢閉塞性動脈硬化症・壊疽あり	計	1	0.1	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I802	[M]下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎	計	3	0.3	134	44.7	1	1	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	134	44.7	1	1	--	--	--	--	--	1	--	--
J019	[M]急性副鼻腔炎、詳細不明	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J029	[M]急性咽喉炎、詳細不明	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J030	[M]連鎖球菌による扁桃炎	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの	計	2	0.2	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J13	[M]肺炎連鎖球菌による肺炎	計	2	0.2	78	39.0	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	78	39.0	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	8	0.8	159	19.9	3	2	1	1	1	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	97	24.3	2	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		女	4	0.7	62	15.5	1	2	--	1	--	--	--	--	--	--
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	6	0.6	131	21.8	2	2	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	129	25.8	1	2	--	--	1	1	--	--	--	--
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	22	2.2	459	20.9	7	3	3	4	5	--	--	--	--	--
		男	12	2.7	220	18.3	4	3	1	1	3	--	--	--	--	--
		女	10	1.8	239	23.9	3	--	2	3	2	--	--	--	--	--
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	2	0.2	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
J439	[M]肺炎腫、詳細不明	計	2	0.2	46	23.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	46	23.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	140	70.0	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	124	124.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	6	0.6	173	28.8	--	3	--	1	1	1	--	--	--	--
		男	6	1.4	173	28.8	--	3	--	1	1	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	7	0.7	90	12.9	1	4	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	34	11.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	56	14.0	1	1	2	--	--	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	44	4.4	2,122	48.2	7	5	6	4	12	6	3	--	1	--
		男	26	5.9	1,504	57.8	3	2	4	3	7	4	2	--	1	--
		女	18	3.2	618	34.3	4	3	2	1	5	2	1	--	--	--
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
J852	[M]肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	2	0.2	118	59.0	1	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	112	112.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
J930	[M]緊張性自然気胸	計	1	0.1	94	94.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	94	94.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J939	[M]気胸、詳細不明	計	2	0.2	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9611	[I]慢性2型呼吸不全の急性増悪	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K210	[M]食道炎を伴う胃食道逆流症	計	3	0.3	47	15.7	1	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	34	17.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K250	[M]急性、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K253	[M]急性、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	3	0.3	42	14.0	--	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	26	13.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K254	[M]慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.2	27	13.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	27	13.5	1	--	--	1						

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえ<瘰>を伴わないもの	計	5	0.5	46	9.2	2	3	--	--	--	--	--	--	--
		男	5	1.1	46	9.2	2	3	--	--	--	--	--	--	--
K413	[M]一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞を伴い、え<瘰>を伴わないもの	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K420	[M]両ヘルニア、閉塞を伴い、え<瘰>を伴わないもの	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K450	[M]その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞を伴い、え<瘰>を伴わないもの	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	8	0.8	242	30.3	3	--	1	--	3	1	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻(転)	計	3	0.3	200	66.7	--	1	1	--	--	--	1	--	--
		男	2	0.5	183	91.5	--	1	--	--	--	--	1	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K566	[M]その他及び詳細不明の腸閉塞	計	3	0.3	57	19.0	1	1	--	--	1	--	--	--	--
		男	3	0.7	57	19.0	1	1	--	--	1	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	2	0.2	20	10.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	20	10.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--
K572	[M]穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.1	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	6	0.6	52	8.7	4	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	34	11.3	1	2	--	--	--	--	--	--	--
K590	[M]便秘	計	4	0.4	246	61.5	1	1	1	--	--	--	--	1	--
		男	2	0.5	220	110.0	--	1	--	--	--	--	--	1	--
K623	[M]直腸脱	計	2	0.2	86	43.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K624	[M]肛門及び直腸の狭窄	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K631	[M]腸穿孔(非外傷性)	計	1	0.1	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	8	0.8	18	2.3	8	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	5	1.1	12	2.4	5	--	--	--	--	--	--	--	--
K650	[M]急性腹膜炎	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	7	0.7	260	37.1	1	1	--	2	2	--	1	--	--
		男	7	1.6	260	37.1	1	1	--	2	2	--	1	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K720	[M]急性及び亜急性肝不全	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K761	[M]慢性(受動性)うっ血肝	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K800	[M]急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	3	0.3	51	17.0	--	2	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	1	0.1	124	124.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	124	124.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	61	30.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	7	0.7	93	13.3	1	4	1	1	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	57	14.3	1	1	1	1	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	1	0.1	150	150.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K831	[M]胆管閉塞	計	3	0.3	30	10.0	2	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.5	30	10.0	2	--	1	--	--	--	--	--	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	9	0.9	114	12.7	4	1	3	1	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	50	12.5	1	1	2	--	--	--	--	--	--
L021	[M]頸部の皮膚腫瘍、せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
L022	[M]体幹の皮膚腫瘍、せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--
L031	[M](四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	3	0.3	64	21.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--
L033	[M]体幹の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	2	0.2	25	12.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	5	0.5	104	20.8	--	2	--	2	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	59	29.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		計	3	0.5	45	15.0	--	2	--	1	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-	
L853	[M]皮膚乾燥症<乾皮症>	計	2	0.2	59	29.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L899	[M]じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域、詳細不明	計	3	0.3	57	19.0	--	1	1	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	81	81.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	81	81.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	68	68.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M1122	[I]左肘関節偽痛風	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I]*右膝関節偽痛風	計	3	0.3	71	23.7	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1127	[I]足関節偽痛風	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1128	[I]頸椎偽痛風	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M1313	[I]手関節炎	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
M1315	[I]*股関節炎	計	2	0.2	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M151	[M]ヘバーデン<Heberden>結節(関節障害を伴うもの)	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	2	0.2	168	84.0	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男女	1	0.2	116	116.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	17	1.7	591	34.8	1	1	2	2	11	--	--	--	--	--
		男女	9	2.0	319	35.4	--	1	1	1	6	--	--	--	--	--
M4656	[I]腰椎化膿性脊椎炎	計	1	0.1	66	66.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	66	66.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M4659	[I]化膿性脊椎炎	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M4806	[I]*腰部脊柱管狭窄症	計	4	0.4	120	30.0	--	2	--	1	--	1	--	--	--	--
		男女	2	0.5	39	19.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
M511	[M]腰部及びその他の部位の椎間板障害、神経根障害を伴うもの(G55、1*)	計	1	0.1	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	3	0.3	62	20.7	1	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M5456	[I]*急性腰痛症	計	6	0.6	267	44.5	2	--	--	1	1	2	--	--	--	--
		男女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M6259	[I]*廃用症候群	計	7	0.7	182	26.0	1	2	2	--	2	--	--	--	--	--
		男女	6	1.4	164	27.3	1	2	1	--	2	--	--	--	--	--
M7197	[I]左化膿性足関節滑液包炎	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M7969	[I]左側下肢痛	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8098	[I]骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	計	1	0.1	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M8419	[I]左肘頭偽関節	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿管間質性腎炎	計	10	1.0	382	38.2	--	2	1	3	2	1	1	--	--	--
		男女	2	0.5	116	58.0	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--
N119	[M]慢性尿管間質性腎炎、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N12	[M]尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
N151	[M]腎臓病及び腎周囲膿瘍	計	1	0.1	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
N185	[M]慢性腎臓病、ステージ5	計	2	0.2	89	44.5	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男女	2	0.5	89	44.5	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	4	0.4	94	23.5	--	2	--	1	1	--	--	--	--	--
		男女	3	0.7	70	23.3	--	2	--	--	1	--	--	--	--	--
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	2	0.2	96	48.0	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男女	2	0.5	96	48.0	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
N201	[M]尿管結石	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N202	[M]尿管結石を伴う腎結石	計	1	0.1	223	223.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男女	1	0.2	223	223.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	69	34.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	69	34.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
N289	[M]腎及び尿管の障害、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N300	[M]急性膀胱炎	計	1	0.1	67	67.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	67	67.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数		延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
			計	構成比(%)												
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N321	[M]膀胱腸瘻	計	1	0.1	94	94.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男女	1	0.2	94	94.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	23	2.3	662	28.8	3	3	5	3	8	--	1	--	--	--
		男女	7	1.6	197	28.1	2	--	1	1	3	--	--	--	--	--
N410	[M]急性前立腺炎	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R064	[M]過呼吸	計	1	0.1	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R100	[M]急性腹症	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R101	[M]上腹部に限局した疼痛	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R104	[M]その他及び詳細不明の腹痛	計	2	0.2	28	14.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	28	14.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	3	0.3	62	20.7	1	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
R13	[M]えん<嚔>下障害	計	2	0.2	92	46.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	92	46.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
R233	[M]特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R262	[M]歩行困難、他に分類されないもの	計	2	0.2	25	12.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	25	12.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R31	[M]詳細不明の血尿	計	3	0.3	79	26.3	2	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男女	3	0.7	79	26.3	2	--	--	--	--	1	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	6	0.6	90	15.0	--	4	2	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R42	[M]めまい<眩暈>及びよろめき感	計	3	0.3	34	11.3	2	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	16	8.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R509	[M]発熱、詳細不明	計	3	0.3	105	35.0	1	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R54	[M]老衰	計	6	0.6	583	97.2	--	--	--	--	1	2	3	--	--	--
		男女	1	0.2	82	82.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
R55	[M]失神及び虚脱	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R568	[M]その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R600	[M]限局性浮腫	計	3	0.3	33	11.0	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	18	9.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
R630	[M]食欲不振	計	10	1.0	280	28.0	2	2	1	2	2	1	--	--	--	--
		男女	6	1.4	132	22.0	2	1	--	1	2	--	--	--	--	--
R634	[M]異常体重減少	計	2	0.2	51	25.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	51	25.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
R688	[M]その他の明示された全身症状及び徴候	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S001	[M]眼瞼及び眼球周囲部の挫傷	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S010	[M]頭皮の開放創	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S0290	[I]顔面骨折	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S030	[M]額の脱臼	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S065	[M]外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S0650	[I]右外傷性慢性硬膜下血腫	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S2200	[I]*第7胸椎圧迫骨折	計	6	0.6	112	18.7	2	1	1	1	1	--	--	--	--	--
		男女	2	0.5	22	11.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S2230	[I]右第11肋骨骨折	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S2240	[I]*左肋骨多発骨折	計	2	0.2	20	10.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男女	2	0.4	20	10.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-	
S3200	[I]*第1腰椎圧迫骨折	計	26	2.6	908	34.9	1	3	5	6	7	3	1	--	--	--
		男	5	1.1	217	43.4	1	--	2	--	--	1	1	--	--	--
		女	21	3.7	691	32.9	--	3	3	6	7	2	--	--	--	--
S3230	[I]右腸骨骨折	計	1	0.1	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S3250	[I]*右恥骨骨折	計	2	0.2	99	49.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	99	49.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3280	[I]左坐骨骨折	計	1	0.1	76	76.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	76	76.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S4210	[I]肩関節脱臼骨折	計	1	0.1	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S4220	[I]*左側上腕骨近位端骨折	計	3	0.3	156	52.0	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	98	49.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
S4240	[I]*上腕骨顆上骨折	計	2	0.2	93	46.5	1	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	92	92.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S5240	[I]右橈骨尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[I]*右橈骨遠位端骨折	計	4	0.4	63	15.8	3	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	63	15.8	3	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S5280	[I]尺骨遠位端骨折	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S610	[M]爪の傷害を伴わない指の開放創	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S619	[M]手首及び手の開放創、部位不明	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S701	[M]大腿の挫傷	計	1	0.1	39	39.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	39	39.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S7200	[I]*大腿骨頸部骨折	計	7	0.7	358	51.1	--	2	1	1	--	2	1	--	--	--
		男	2	0.5	212	106.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		女	5	0.9	146	29.2	--	2	1	1	--	1	--	--	--	--
S7210	[I]*右大腿骨転子部骨折	計	18	1.8	808	44.9	--	--	2	3	10	2	1	--	--	--
		男	4	0.9	140	35.0	--	--	--	2	2	--	--	--	--	--
		女	14	2.5	668	47.7	--	--	2	1	8	2	1	--	--	--
S7240	[I]*左大腿骨顆上骨折	計	3	0.3	162	54.0	--	--	--	--	2	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	162	54.0	--	--	--	--	2	1	--	--	--	--
S801	[M]下腿のその他及び部位不明の挫傷	計	1	0.1	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S8200	[I]*右膝蓋骨骨折	計	2	0.2	49	24.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8210	[I]*左脛骨近位端骨折	計	2	0.2	75	37.5	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	70	70.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8250	[I]右足関節内果骨折	計	1	0.1	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8260	[I]右足関節外果骨折	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S8280	[I]*左足関節脱臼骨折	計	2	0.2	76	38.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	76	38.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I]*両側踵骨骨折	計	2	0.2	182	91.0	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	138	138.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S9210	[I]右距骨骨折	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[I]右中足骨骨折	計	1	0.1	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S9240	[I]母趾末節骨骨折	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
T0210	[I]胸腰椎圧迫骨折	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
T08-0	[I]*脊椎圧迫骨折	計	3	0.3	94	31.3	--	--	1	1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	94	31.3	--	--	1	1	1	--	--	--	--	--
T1420	[I]右大腿骨転子部粉碎骨折	計	1	0.1	39	39.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	39	39.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T630	[M]へび毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	3	0.3	10	3.3	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T634	[M]その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	34	17.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	34	17.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	3	0.3	6	2.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T814	[M]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	93	93.0	--	--	--							

ICD10別・在院期間別・病名数

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-		
T913	[M]脊髄損傷の続発・後遺症	計	1	0.1	98	98.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	1	0.2	98	98.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
U071	[M]エマージェンシーコード U07.1	計	22	2.2	459	20.9	14	1	--	2	3	2	--	--	--	--	
		男	7	1.6	170	24.3	3	1	--	1	2	--	--	--	--	--	--
		女	15	2.6	289	19.3	11	--	--	1	1	2	--	--	--	--	--
Z931	[M]胃瘻造設状態	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z961	[M]眼内レンズの存在	計	1	0.1	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		女	1	0.2	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	1	079	水晶体の障害	113	11.2	410	3.6	76.8
2	2	096	その他の型の心疾患	89	8.8	2,941	33.0	88.4
3	3	023	消化器の悪性新生物<腫瘍>	44	4.4	1,788	40.6	81.3
4	3	106	外的因子による肺炎	44	4.4	2,122	48.2	88.4
5	5	102	インフルエンザ及び肺炎	40	4.0	838	21.0	83.1
6	5	116	腸のその他の疾患	40	4.0	1,000	25.0	78.4
7	7	097	脳血管疾患	34	3.4	1,707	50.2	85.0
8	8	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	30	3.0	1,135	37.8	85.0
9	9	204	股関節部及び大腿の損傷	29	2.9	1,367	47.1	87.1
10	10	191	全身症状及び徴候	28	2.8	1,093	39.0	87.7
11	11	149	尿路系のその他の疾患	27	2.7	877	32.5	85.0
12	12	001	腸管感染症	22	2.2	192	8.7	70.2
13	12	227	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	22	2.2	459	20.9	86.3
14	14	131	関節症	20	2.0	763	38.2	78.7
15	15	105	慢性下気道疾患	19	1.9	515	27.1	82.7
16	15	119	胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	19	1.9	540	28.4	84.5
17	17	053	代謝障害	15	1.5	365	24.3	84.1
18	18	068	神経系のその他の変性疾患	14	1.4	974	69.6	86.1
19	19	047	糖尿病	13	1.3	361	27.8	75.4
20	19	145	腎尿管間質性疾患	13	1.3	454	34.9	87.6

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

1、病院事業関係

(単位:人)

手術件数	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
外科	66	59	71	63	72	58	△ 14
整形外科	135	145	144	120	56	68	12
眼科	98	95	55	58	82	125	43
脳外科	0	2	0	0	0	0	0
計	299	301	270	241	210	251	41

(単位:人)

人工透析状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
実日数	255	249	249	254	254	254	0
実患者数	176	179	195	210	180	168	△ 12
延べ患者数	2,142	2,108	2,274	2,391	2,117	2,039	△ 78

(単位:件)

内視鏡検査	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
上部消化管内視鏡	737	791	914	884	960	930	△ 30
胃透視	1	5	4	0	0	0	0
下部消化管内視鏡	126	182	165	165	183	177	△ 6
嚥下カメラ	0	1	0	0	0	2	2
気管支鏡	2	0	0	0	1	0	△ 1
胃ろう造設	15	12	14	5	10	3	△ 7
膀胱鏡	16	9	9	17	24	49	25
尿管ステント留置・交換	13	8	16	6	21	29	8

(単位:件)

放射線状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
一般撮影	6,052	6,251	5,308	5,646	5,064	4,807	△ 257
ポータブル撮影	584	541	650	552	486	350	△ 136
外科用イメージ撮影	72	61	81	21	50	46	△ 4
骨塩定量	828	886	780	754	679	748	69
マンモ撮影	17	13	19	11	4	5	1
造影・透視	150	134	158	93	93	120	27
訪問撮影	25	25	19	21	6	1	△ 5
CT検査	1,963	2,183	2,296	2,305	2,163	2,375	212
MRI検査	1,054	1,057	1,179	1,347	1,236	1,244	8
計	10,745	11,151	10,490	10,750	9,781	9,696	△ 85
遠隔読影	3,091	3,573	3,944	4,124	3,782	4,183	401

(単位:件)

超音波診断検査	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
腹部エコー	1,051	1,163	1,107	1,241	1,165	1,371	206
心エコー	164	282	367	419	402	406	4
その他エコー	230	208	233	317	178	203	25

(単位:件)

検査実施状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
人間ドック	107	115	128	138	133	172	39
人間ドック(MRI含)	28	28	35	46	58	57	△ 1
共済組合ドック	67	61	67	80	81	96	15
脳ドック	70	81	54	44	67	61	△ 6
生活習慣病健診	145	164	174	179	186	157	△ 29
子宮がん	38	33	42	42	50	32	△ 18
乳がんマ	7	6	9	5	0	0	0
骨塩	37	37	24	29	19	8	△ 11
原爆検診	1	1	1	2	0	0	0
予防接種	1,988	2,132	2,340	2,142	2,157	1,906	△ 251
特定健診	10	6	15	6	5	23	18
事業所健診	53	51	46	60	68	62	△ 6
DWIBS	0	0	0	3	30	15	△ 15
リブレ	0	0	4	8	3	8	5
計	2,551	2,715	2,939	2,784	2,857	2,597	△ 260

(単位:件)

薬状局況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
服薬指導(人数)	356	412	394	348	290	313	23
服薬指導(件数)	626	696	747	727	550	655	105
処方箋枚数	10,036	11,946	11,048	12,347	12,244	13,285	1,041
薬剤数	26,115	34,210	35,318	38,383	38,218	39,061	843
注射箋枚数	12,718	12,884	13,634	13,965	13,742	12,473	△ 1,269
製剤数	174	0	0	0	0	0	0
中心静脈栄養本数	2,973	2,919	4,618	3,908	3,281	3,197	△ 84
疑義照会	758	700	596	648	787	758	△ 29

日野病院部門別各種統計調べ(No.2)

(単位:件)

栄養管理室 状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
入院時 食事療養	71,079	73,877	68,742	69,647	66,250	67,362	1,112
特別食加算	33,841	36,346	38,096	36,894	37,985	37,252	△ 733
食堂加算	24,400	25,134	23,481	23,778	22,622	22,937	315
外来透 析数	662	588	497	390	422	681	259
栄養指 導	559	669	810	689	661	701	40
栄養情 報提 供加 算	0	0	79	79	101	175	74
その他 イベント 等指導	171	67	0	0	0	0	0
病児病 後児 食数				177	157	276	119

(単位:件)

臨床検査 室状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
生化学 セツト	10,816	11,796	11,861	12,640	12,503	11,988	△ 515
血液一般 検査	9,519	10,296	10,584	11,561	11,708	11,381	△ 327
凝固検 査	2,889	2,763	2,581	3,355	2,849	2,741	△ 108
尿検 査	5,214	5,735	5,771	6,058	6,409	6,309	△ 100
PCR検 査	0	0	628	1,583	5,605	2,511	△ 3,094
心電 図	1,763	1,859	2,059	2,120	2,132	2,146	14
呼吸機 能	318	348	368	416	400	450	50
誘発筋 電図	72	101	110	102	8	71	63
眼底カ メラ	279	288	294	318	365	383	18
脳波	13	12	18	12	7	8	1
血圧脈 波	234	234	273	251	295	316	21
計	31,117	33,432	34,547	38,416	42,281	38,304	△ 3,977

(単位:単位数)

理学療法 状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
運動器 I	10,224	8,650	8,097	8,822	8,765	7,563	△ 1,202
呼吸器 I	4,642	4,113	2,774	4,062	3,446	3,264	△ 182
脳血管 II	3,998	1,773	4,657	5,184	5,109	5,295	186
脳血管 III	0	375	0	0	0	0	0
地域包 括ケア 病床分	14,356	13,873	14,841	14,642	12,623	12,926	303
単位数 合計	33,220	28,784	30,369	32,710	29,943	29,048	△ 895
消炎鎮 痛 (件数)	320	263	433	181	210	218	8
退院時 指導 (件数)	364	370	396	391	356	394	38
退院前 指導 (件数)	102	119	126	132	106	100	△ 6

(単位:単位数)

作業療法 状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
運動器 I	1,006	590	1,329	859	1,800	1,141	△ 659
呼吸器 I	86	167	551	296	683	956	273
脳血管 II	1,436	370	1,800	1,323	2,112	2,212	100
地域包 括ケア 病床分	1,384	1,023	2,451	2,285	2,990	2,988	△ 2
単位数 合計	3,912	2,150	6,131	4,763	7,585	7,297	△ 288

(単位:単位数)

言語聴 覚 状況	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
呼吸器 I	0	0	1,366	1,812	1,548	1,500	△ 48
脳血管 II	2,116	1,093	1,968	1,960	2,100	2,543	443
脳血管 III	0	312	0	0	0	0	0
地域包 括ケア 病床分	69	12	12	2	0	14	14
単位数 合計	2,185	1,417	3,346	3,774	3,648	4,057	409
摂食機 能 療法 (件数)	3,389	3,315	2,401	1,648	1,668	1,439	△ 229

(単位:単位数)

リハビリ テーション 合計	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	5年度	差引
運動器 I	11,230	9,240	9,426	9,681	10,565	8,704	△ 1,861
呼吸器 I	4,728	4,280	4,691	6,170	5,677	5,720	43
脳血管 II	7,550	3,236	8,425	8,467	9,321	10,050	729
脳血管 III	0	687	0	0	0	0	0
地域包 括ケア 病床分	15,809	14,908	17,304	16,929	15,613	15,928	315
単位数 合計	39,317	32,351	39,846	41,247	41,176	40,402	△ 774

2、在宅介護支援事業関係

(単位:人)

訪問看護	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
実利用者 数	508	537	636	612	663	598	△ 65
延べ利 用者数	1,760	1,863	1,999	1,762	1,856	1,790	△ 66

(単位:人)

訪問 リハビリ	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
実利用者 数	831	908	915	871	937	917	△ 20
延べ利 用者数	4,354	4,460	4,733	4,602	4,943	4,508	△ 435

(単位:件)

居宅支 援	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	差引
介 護	1,120	1,182	1,143	983	809	639	△ 170
予 防	610	564	519	494	435	482	47

メディカルソーシャルワーカー業務統計(令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助 件数		239	338	352	378	341	345	367	335	309	280	269	300	3,853
入院・外来の内訳	入院	186	273	251	310	287	278	292	252	266	218	187	245	3,045
	外来	53	65	101	68	54	67	75	83	43	62	82	55	808
新規・継続の内訳	新規	38	44	63	52	38	60	82	61	42	47	57	44	628
	継続	201	294	289	326	303	285	285	274	267	233	212	256	3,225
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	10	9	25	25	22	21	28	14	5	14	10	9	192
	診療関係の援助	89	114	145	158	110	141	171	166	110	111	137	125	1,577
	人間関係の援助	25	37	52	52	73	48	41	30	34	47	50	51	540
	心理情緒的問題の援助	4	19	30	29	38	22	26	16	23	3	24	18	252
	社会復帰・退院援助	158	239	223	279	256	240	29	214	229	181	142	185	2,375
	関係(者)機関との連携・協力	186	230	253	266	260	234	236	244	233	221	222	234	2,819
面接等対象者	医師	121	143	159	186	180	168	180	176	138	122	135	167	1,875
	看護師	103	118	116	159	137	146	156	125	96	62	99	143	1,460
	職員	46	60	65	77	88	92	128	86	76	55	64	97	934
	本人	89	133	145	135	130	140	139	127	139	156	151	167	1,651
	家族	105	122	174	147	171	141	138	141	168	160	159	182	1,808
	関係機関	186	230	253	266	260	234	236	244	233	221	222	234	2,819
	その他	1	2	6	11	3	2	7	3	5	2	3	2	47
援助方法	面接	19	60	73	64	53	66	70	57	57	65	61	93	738
	協議	31	51	45	81	64	85	107	62	59	32	29	48	694
	訪問	4	8	6	7	8	9	12	6	13	7	7	9	96
	電話	186	49	283	281	279	227	236	261	243	256	239	224	2,764
	文書	29	41	43	44	48	50	45	42	49	42	50	71	554
新規紹介経路	医師	19	17	24	20	17	17	33	28	19	13	35	25	267
	看護師	18	12	21	16	16	11	27	20	12	7	23	30	213
	職員	5	5	4	1	5	5	13	8	8	6	9	9	78
	本人	17	17	32	21	14	29	39	19	22	36	45	33	324
	家族	12	8	26	10	7	18	22	11	11	25	36	27	213
	関係機関	27	25	32	29	29	29	53	43	28	29	47	32	403
	その他	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
介護支援連携指導(400点)		4	6	4	5	9	7	6	6	9	7	7	5	75
退院後訪問(580点)									1					1
退院支援計画(700点)		19	15	16	28	24	22	26	20	16	21	20	22	249
退院時共同指導(2000点)														0
在宅患者緊急時カンファレンス(200点)														0

3、業績

論文誌上発表 (令和5年1月～令和5年12月)

1. 原著論文

単純ヘルペスウイルスとメチシリン耐性ブドウ球菌の混合感染による角膜炎の1例

森山望、春木智子、清水由美子、宮崎大、井上幸次

あたらしい眼科 (09105-1810) 40 巻 4 号 Page552-555 (2023. 4)

多職種による継続的な対話の場づくりによる効用と枠組み 地域ケア会議に着目して

東根ちよ、井上和興、孝田雅彦、谷口晋一

日本プライマリ・ケア連合学会誌 (2185-2928) 46 巻 2 号 Page36-42 (2023. 6)

2. 総説・解説論文

特定健康診査・後期高齢者健診からの非ウイルス性肝疾患拾い上げ

孝田雅彦

疾病構造の地域特性対策専門委員会報告 37 巻 Page7-9(2023. 05)

【成功例から学ぶ! 外来での待ち時間対策集】時間予約制導入による待ち時間短縮の実現

山形睦美、池田清香、長尾加奈子、村上香里、石飛明日香、外山千景、福田さゆり、川上真奈
孝田雅彦

継続看護時代の外来看護 28 巻 2 号 Page024-030(2023. 05)

感染性角膜炎診療ガイドライン (第3版)

鈴木崇、江口洋、戸所大輔、子島良平、小泉範子、福岡秀記、井上幸次、宇野敏彦、鳥山浩二、
中川迅、堀田英美香、宮崎大、井上英紀、岡本直記、岸本達真、北澤耕司、齋藤智彦、戸田良太
郎、成松明知、難波広幸、長谷川優実、針谷威寛、三村健介、宮腰章生、宮本龍郎、山口雄大、
吉田真彰、日本眼感染症学会感染性角膜炎診療ガイドライン第3版制作委員会

日本眼科学会雑誌 (0029-0203) 127 巻 10 号 Page859-895(2023. 10)

3. その他

日野病院病院長コラム 第73回 お酒の話 その2 肝臓以外の臓器障害

孝田雅彦

広報ひの1月号 (令和5年1月発行) p11, 2023

かかりつけ医・かかりつけチーム・かかりつけ病院

孝田雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第76号 (令和5年1月発行) p2, 2023

日野病院のマークを見て、手塚治虫をおもうということ

井上幸次

日野病院組合だより せせらぎ 第76号（令和5年1月発行）p3, 2023

日野病院病院長コラム 第74回 お酒の話 その3 減酒療法(ハームリダクション)しませんか？

孝田雅彦

広報ひの2月号（令和5年2月発行）p11, 2023

日野病院病院長コラム 第75回 おなかの石はやっかい その2 尿路結石

孝田雅彦

広報ひの3月号（令和5年3月発行）p11, 2023

日野病院病院長コラム 第76回 全身がん検診（DWIBS ドゥイブス検診）受けてみませんか？

孝田雅彦

広報ひの4月号（令和5年4月発行）p19, 2023

日野病院病院長コラム 第77回 タバコの闇 その1 歴史とその害

孝田雅彦

広報ひの5月号（令和5年5月発行）p15, 2023

病児・病後児保育を継続できることになりました

孝田雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第77号（令和5年5月発行）p2, 2023

緑内障の今昔

井上幸次

日野病院組合だより せせらぎ 第77号（令和5年5月発行）p3, 2023

日野病院院長コラム第78回 その2 がん以外の害

孝田雅彦

広報ひの6月号（令和5年6月発行）p11, 2023

日野病院病院長コラム 第79回 タバコの闇 その3 受動喫煙

孝田雅彦

広報ひの7月号（令和5年7月発行）p11, 2023

日野病院病院長コラム 第80回 今がチャンス！早いほど得する带状疱疹ワクチン接種

孝田雅彦

広報ひの8月号（令和5年8月発行）p11, 2023

**日野病院病院長コラム 第 81 回 胆のうポリープと胆のうがん
—小さいときはみんなかわいく見えてしまう**

孝田雅彦

広報ひの 9 月号（令和 5 年 9 月発行） p11, 2023

総務大臣表彰を受賞して そして新たなスタート

孝田雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 78 号（令和 5 年 9 月発行） p 2, 2023

日野といわれても

井上幸次

日野病院組合だより せせらぎ 第 78 号（令和 5 年 9 月発行） p3, 2023

日野病院病院長コラム 第 82 回 増えている心不全 その 1 あなたの心臓 大丈夫？

孝田雅彦

広報ひの 10 月号（令和 5 年 10 月発行） p11, 2023

日野病院病院長コラム 第 83 回 増えている心不全 その 2 心不全の新しい薬

孝田雅彦

広報ひの 11 月号（令和 4 年 11 月発行） p11, 2023

日野病院病院長コラム 第 84 回 高齢者に勧めたいワクチン 4 種

（インフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチン・対象疱疹ワクチン・破傷風ワクチン）

孝田雅彦

広報ひの 12 月号（令和 5 年 12 月発行） p19, 2023

学会等発表（令和 5 年 1 月～令和 5 年 12 月）

1. 国内学会

角膜カンファランス 2023（第 47 回日本角膜学会総会・第 39 回日本角膜移植学会）

（令和 5 年 2 月 9 日-11 日 横浜）

イブニングセミナー「新知りオネア！あなたを“角”付けチェック」

井上幸次、高村悦子、前田直之、横井則彦

第 46 回日本眼科手術学会学術総会（令和 5 年 1 月 27 日-29 日 東京）

術中ヨード製剤使用の白内障術後眼内炎予防効果

松浦一貴、宮崎大、井上幸次

第 111 回鳥取大学眼科研究会（令和 5 年 2 月 18 日 米子）

Stemphylium vesicarium と methicillin-resistant Staphylococcus epidermidis による感染性
角膜炎の 1 例

春木智子、清水由美子、宮崎大、井上幸次

第 127 回日本眼科学会総会（令和 5 年 4 月 6 日-9 日 東京）

ランチョンセミナー「術後眼内炎を完封せよ！ パートIX～MVP (most valuable performance)
への終わりなき旅～」白内障術後眼内炎対策の変遷

井上幸次

未熟児網膜症の涙液中サイトカイン

馬場高志、魚谷竜、稲田耕大、佐々木慎一、清水由美子、三浦真澄、井上幸次、宮崎大

第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会（令和 5 年 4 月 28 日-30 日 横浜）

SARS-CoV-2 オミクロン株の長期ウイルス排泄を認めた COVID-19 の 4 例

西川ゆかり、土居歩、松田理沙、加藤弘之、岡本亮、椋田権吾、岡田健作、北浦剛、中本成紀、
千酌浩樹

第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（令和 5 年 5 月 13 日 名古屋）

便秘エコー（経腹走査、経臀裂走査）による便秘評価

孝田雅彦、野村友輪子、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香

第 67 回山陰眼科集談会，第 112 回鳥取大学眼科研究会（令和 5 年 5 月 21 日 米子）

ペムブロリズマブに関連し発症した粘膜類天疱瘡に急性角結膜病変を認めた 1 例
米原倫子、三宅瞳、宮崎大、井上幸次、大松寛、青野将太

原因菌の同定が困難であった真菌性角膜炎に対する真菌 DNA 配列解析の有用性

岡本直記、小山あゆみ、清水由美子、春木智子、井上幸次、宮崎大

術中ヨードの眼内炎予防効果

松浦一貴、宮崎大、井上幸次

角膜ヘルペス発症における気象因子の影響

大松寛、清水由美子、春木智子、宮崎大、井上幸次

日本超音波医学会 第 96 回学術大会（令和 5 年 5 月 28 日 大宮）

看護師による経腹・経臀裂エコーによる便秘評価

野村友輪子、孝田雅彦、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香

第 16 回 North Osaka Ophthalmology Seminar (令和 5 年 6 月 1 日 大阪)

眼感染症表街道・裏街道

井上幸次

令和 5 年鳥取県医学会 (令和 5 年 6 月 11 日 米子)

左大腿骨転子部骨折に対する骨接合術によって生じた左深大腿動脈仮性動脈瘤の 1 例

小原亘頭、孝田雅彦、下坂拓矢、河村美保、佐々木修一、百田靖、池田陽祐、遠藤雅之、椎田拓郎

直腸便貯留のエコー診断

孝田雅彦、野村友輪子、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香

第 59 回日本眼感染症学会 (フォーサム 2023 大阪) (令和 5 年 7 月 7 日-9 日 大阪)

単純ヘルペスウイルス角膜炎の再発における気候因子の影響

大松寛、清水由美子、春木智子、宮崎大、井上幸次

Stemphylium vesicarium による感染性角膜炎の 1 例

春木智子、清水由美子、井上幸次、宮崎大

感染性角膜炎画像において病原体特異的な部位を表示する AI の有用性の比較

永瀬大輔、綾塚裕二、中川雄次、春木智子、井上幸次、宮崎大

第 61 回全国自治体病院学会 (令和 5 年 8 月 31 日-9 月 1 日 札幌)

Cr/CystC による筋肉量の推定

森田花恋、桐田実奈、磯江光代、妹尾小百合、近藤仁子、孝田雅彦、柳樂慶太、永島秀樹

Cr/Cyst 比を用いた sarcopenic dysphagia の評価

桐田実奈、森田花恋、磯江光代、妹尾小百合、近藤仁子、孝田雅彦、柳樂慶太、永島秀樹

MRI R2*による肝組織鉄測定 of 検討

孝田雅彦、松田貴寛、木原琢也、杉原誉明

MRI による肝脂質測定 (PDFF) と鉄測定 (R2*) の臨床応用

松田貴寛、福田里奈、足羽康治、佐々木健二、孝田雅彦

医療介護連携のための画像・動画共有アプリの有用性

山口浩一、孝田雅彦、孫大輔、田中武志、谷口晋一

第 59 回日本超音波医学会中国地方会（令和 5 年 9 月 2 日 米子）

造影超音波検査で診断し得た横隔膜交通症の 1 例

竹本和弘、孝田雅彦、下坂拓矢、小原亘頭、加藤弘之、平井実佳子、佐々木修一

経臀裂エコーによる直腸便貯留評価

森田遥菜、野村友輪子、妹尾小百合、池田清香、近藤仁子、孝田雅彦

第 113 回鳥取大学眼科研究会（令和 5 年 9 月 16 日 米子）

感染性角膜炎画像において病原体特異的な部位を表示する AI の有用性の比較

永瀬大輔、綾塚裕二、中川雄次、春木智子、井上幸次、宮崎大

第 77 回日本臨床眼科学会（令和 5 年 10 月 6 日-9 日 東京）

アcantアメラ角膜炎に対する治療的レーザー角膜切除術の有効性

高梨菜穂、春木智子、山根史也、中島彩夏、井上幸次、宮崎大

解決！OSD 感染ガイドライン： 感染性角膜炎

井上幸次

第 61 回日本癌治療学会学術集会（令和 5 年 10 月 19 日-21 日 横浜）

オピオイド開始は末期がん患者の予後予測因子になりうるか？

山本直子、大谷眞二

日本糖尿病学会 第 61 回中国・四国地方会（令和 5 年 10 月 27 日 松江）

DEXCOMG6 とリブレ Pro による CGM の精度の研究

漆原香、孝田雅彦

JDDW2023 第 65 回日本消化器学会大会（令和 5 年 11 月 3 日 神戸）

肝血管腫の成長パターンに対する血管凝固異常と肝線維化の関与

丸山茂雄、的野智光、孝田雅彦

第 10 回 SUSAN00 会（令和 5 年 11 月 18 日 松江）

PCR の出てこない角膜ヘルペスの話

井上幸次

第 3 回便秘エコー研究会（令和 5 年 11 月 28 日 東京）

便秘エコーにおけるピットフォール

野村友輪子、松田遥菜、妹尾小百合、池田清香、近藤仁子、孝田雅彦

第 45 回日本肝臓学会西部会（令和 5 年 12 月 7 日 京都）

地域健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げにおける FIB-4 インデックスと FIB-3 インデックスの比較

孝田雅彦、三好謙一、岡野淳一

第 40 回鳥取県眼科学術講演会、第 73 回鳥取大学眼科同門会講演会（令和 5 年 12 月 9 日 米子）

アcantアメラ角膜炎に対する治療的レーザー角膜切除術の有効性

高梨菜穂、春木智子、山根史也、中畠彩夏、井上幸次、宮崎大

非ウイルス性肝疾患に関する研究会（令和 5 年 12 月 14 日 米子）

ウイルス性肝疾患の現状

孝田雅彦

特定健診・後期高齢者健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げ事業について

孝田雅彦

第 10 回日本地域理学療法学会学術集会（令和 5 年 12 月 16 日 東京）

地域医療連携ネットワーク構築を目的に開発した医療福祉従事者用情報共有アプリケーションの有用性と課題

田中武志、山口浩一、孝田 雅彦、孫大輔、谷口晋一、井上和興

興和株式会社社内研究会（令和 5 年 12 月 19 日 米子）

脂肪性肝疾患 - 新たな nomenclature -

孝田雅彦

2. 研究会 その他

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 5 年 1 月放送）

日野病院だより：「飲酒について」

小原亘頭

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 5 年 2 月放送）

日野病院だより：「2 週間ホルター心電図」

漆原香

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 5 年 3 月放送）

日野病院だより：「受診予約について」

緒形崇子

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和 5 年 4 月放送）

日野病院だより：「新入職員紹介」

佐田山晋佑

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年5月放送）

日野病院だより：「新型コロナ5類移行」

加藤弘之

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年6月放送）

日野病院だより：「病児・病後児保育のご案内」

池田悠

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年7月放送）

日野病院だより：「熱中症について」

増田明日

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年8月放送）

日野病院だより：「Hino's Kitchen」

権代恭介

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年9月放送）

日野病院だより：「帯状疱疹について」

足澤亜珠香

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年10月放送）

日野病院だより：「残薬について」

山本直子

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年11月放送）

日野病院だより：「日野病院のご案内」

米原歩希

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（令和5年12月放送）

日野病院だより：「インフルエンザについて」

船越好夏

4、新聞記事等

日野病院病院長コラム

(広報ひの)

第76回 全身がん検診（DWIBS ドゥイブス検診） 受けてみませんか？

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



一回でがんチェック可能な
DWIBS検診

「DWIBS? 聞いたことない、初めて聞いた」といわれる方がほとんどかと思えます。医師でも知らない方が大部分です。しかし、最近DWIBSを用いて診療している医師の間では、その有効性がとても高く評価されてきています。私もその1人です。

DWIBSとはMRIの撮影法の一つで、頭から足まで一回でがんのチェックができる方法です。PETも同じく全身がん検診に用いられる検査でよく知られています。DWIBSはPETとほぼ同等あるいはそれ以上の診断能のある検査

法です。PETは1回の検査が10万円から15万円かかりますが、DWIBS検診は当院では2万円と極めて安価です。

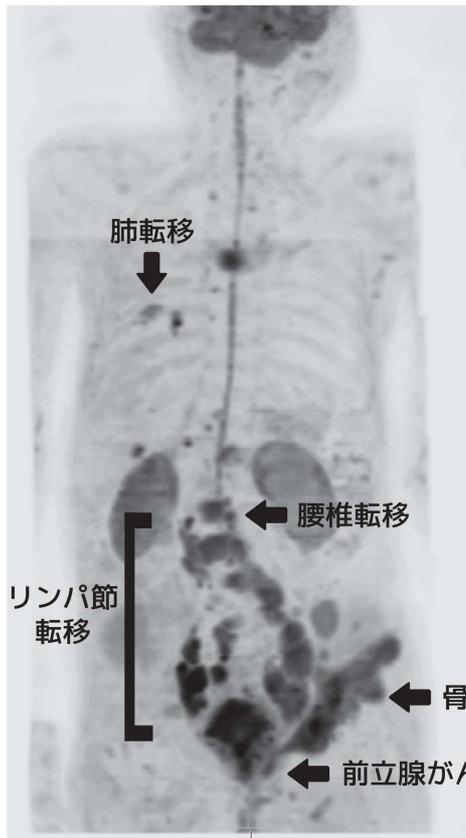
また、PETと異なり、放射線の被曝はありません。体にも優しいのです。現在、DWIBS検診は鳥取県では当院だけです。都市部では徐々に普及しています。

**治療効果を見るのに有用で
体に負担が少ない検査**

では、DWIBS検診でどのようながんが発見できるのでしょうか。

肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、胆管がん、膵臓がん、肝臓がん、子宮がん、前立腺がん、甲状腺がん、腎がん、悪性リンパ腫、骨髄腫など、主ながんは全てと言えます。これらのがんは私がDWIBSで診断したことがあるんです。

全身がん検診（DWIBS 検診） 前立腺がんの症例



内視鏡で簡単に切除できるような早期の胃がんや大腸がんは見つからないことがあります。そのため、通常の胃がん検診や大腸がん検診などのがん検診は受ける必要があります。通常のがん検診を受けた上で全身をチェックするには非常に有用な検査法です。

私が最初にDWIBSを用いた患者さんは悪性リンパ腫の患者さんでした。お腹の奥にある多数の腫大リンパ節がはつきり描出されていました。しかも化学療法を行った後にもう一度検査すると腫大したリンパ節は全て消失していました。つまり、治療効果を確認のにも有用であることが分かりました。

さらに、DWIBS検査の良いところは、患者さんの体への負担が極めて少ないことです。ただ寝ているだけです。絶食は不要で、検査時呼吸を止める必要はなく、造影剤を使うこともありません。前述のように被曝することもありません。一つ制限があるのは、ペースメーカーや金属が体の中にあると検査を受けることができないことです。高齢者にはとても優しい検査です。

一度、DWIBS検診を受けてみてはいかがでしょうか。詳しくは、日野病院のホームページをご覧ください。

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

知っていますか？ タバコの歴史と害について

タバコの話と聞くと喫煙者は「もう分かった。体に悪いのは知っている。それでもやめられない。やめたくない」と拒絶反応を示される人が多いように思えます。少し感情的・短絡的の反応です。それでも今回はもう一度、以下の文を読んで冷静に客観的に考えてみてください。

タバコは元々アメリカ大陸の先住民が紀元前から使用していたようです。コロンブスがアメリカ大陸を発見してスペインにタバコを持ち帰りました。16世紀にはタバコは健康に良いと思われていたことと、アメリカ

カの奴隷産業としてタバコ栽培が発展したことで急速にタバコが普及しました。

第二次世界大戦ではタバコが配給されたため、吸わないと損な様な気がして吸う人が増加してしまいました。しかし、1960年代にはタバコが健康に悪いことが科学的に証明され、禁煙が勧められています。

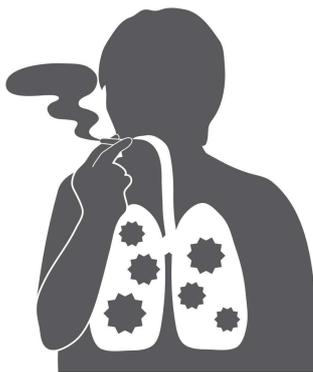
タバコの害が分かっただけでなく、60年以上です。今、タバコを吸っている人のほとんどはタバコの害が分かっていたにもかかわらず吸い始めたことになります。

タバコの有害物質と喫煙者の健康障害

それではタバコの害を具体的に話します。今回はタバコを吸っている人（能動喫煙）に対する害です。喫煙者は非喫煙者に比べて平均寿命が約10年短いと言われています。吸い始めの年齢が若いほど平均寿命は短く、禁煙年齢が若いほど寿命も改善します。今タバコを吸っている人は1日も早く禁煙することを勧めます。

では、どのような健康障害があるのでしょうか。まずはがんです。喫煙者は非喫煙者に比べて1.5倍がんにかかる頻度が増えます。たった1.5倍かと思った人もいたかもしれませんが、安心するのはまだ早いです。

臓器別に見ていくと、肺がん（扁平上皮がん）は11倍、喉頭がん、尿路系がんは5倍、咽頭がん、食道がんは3倍、他にも胃がん、膵がん、乳がん、子宮がんのリスクも増加させます。煙が直接入らない臓器にまでがんが増えていきます。それはタバコに含まれる有害物質が血中にも入り、体全体を回るからです。



タバコに含まれる有害物質は実に数百種類もあり、ニコチン、タール、ホルムアルデヒド、ベンゼン、一酸化炭素などなど。これらでタバコを一本吸えばどんなに有害かが分かると思いますが、私の外来ではタバコを吸っている人あるいは吸っていた人（禁煙後の人）に対して低線量CTによる肺がん検診を勧められています。

また、胃カメラや腹部超音波検査も行っています。その理由はもう分かりますよね。タバコを吸ったことのある人は積極的にがん検診を受ける必要があります。では今回は、がん以外の害について説明します。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



タバコを吸うことは ロシアンルーレットに等しい

前回に続きタバコの話です。今回は、タバコによるがん以外の健康障害について説明します。

タバコを初めて吸ったとき、あるいは久しぶりに吸ったとき頭がクラクラッとしませんでしたか？これは、主にニコチンの作用で頭の血管が強力に収縮し、脳への血流が減少したために起こる症状です。

「すぐに治るから心配ないわ」と思った人、大間違いです。この血管収縮作用は脳だけでなく、全身に起こっています。心筋梗塞や慢性腎臓病、下肢の動脈閉塞の原因となります。血

管が収縮するということは血圧が急上昇します。タバコを一本吸うごとに心筋梗塞、脳出血、大動脈解離などを発症する危険があると言うことです。まるで、ロシアンルーレットをしているようなものです。拳銃に一発だけ弾を入れて、弾倉をグルグルと回して頭に銃口を当て、引き金を引いているのと同じなのです。私にはとてもできない恐ろしい行為です。

タバコを吸うときは、ロシアンルーレットを想像してみて下さい。また、慢性の脳血流低下や脳動脈硬化の悪化は認知症の進行を早めます。

タバコの有害物質と 喫煙者の肺への影響

タバコには肺への直接作用もあります。タバコの煙に含まれる有害化学物質は、肺の炎症を引き起こします。これらの物質は、白血球を肺に誘導します。白血球は、有害物質を取り込むときに炎症性サイトカインという化学物質を出します。これは、本来細菌が入ってきたときに細菌を殺す働

きのあるものですが、まわりの正常な肺細胞も障害します。

したがって、長年慢性的に炎症が持続すると肺細胞の修復が困難となり、肺の構造が壊れていきます。

私は大学病院に勤めていたころ、亡くなられた多くの患者さんの病理解剖に立ち会ってききましたが、喫煙者の肺は全体に黒い煤状のものが溜まっており、肺も弾力がなくぶよぶよとして、伸びきった風船のようでした。

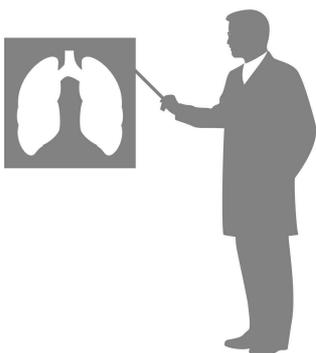
病気としては慢性気管支炎、肺気腫、肺線維症と診断され、免疫力も低下するため、肺炎になりやすくなります。進行すると息切れ、呼吸困難となり、安静時でも酸素が必要となります。

妊娠中の喫煙による 赤ちゃんへのリスク

最後に、妊娠中の喫煙は胎児に重大な影響を及ぼします。胎盤の血管が収縮することによって、赤ちゃんに行くべき酸素や栄養が減少し、赤ちゃんの成長が遅れたり、障害されたりします。結果的に低体重児や早産、先天異常のリスクが増加します。妊娠中は赤ちゃんのために必ず禁煙しましょう。

どうですか。タバコを吸うことの恐ろしさが分かっていただけでしたでしょうか。

今回は、タバコを吸う人の周りにいる人への影響（受動喫煙）の害についてお話しします。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



受動喫煙による 健康への害の大きさ

「団地に群がるホテル」という話を聞いたことがありませんか。これは、夜に団地のベランダに出てタバコを吸う人のことを指しています。タバコの害が喫煙者のまわりの人にも及ぶこと、つまり受動喫煙が広く知られるようになり、部屋で吸えなくなつた人がベランダで吸っているためです。

受動喫煙は、私たちが当初考えていたよりもはるかに健康への害が大きいことが分かってきました。タバコから出る煙は部屋全体に一気に広がります。しかも、部屋に滞留します。私も子

どものころ、父がタバコを吸うと部屋の中に煙の層が何層もできていたのを覚えていました。

壁や天井には、有害物質が沈着していきます。家庭での受動喫煙は特に問題です。小さな子どもや配偶者は長時間にわたって、タバコの煙にさらされます。

タバコの煙の種類と 含まれる有害物質

タバコの煙には、喫煙者が吸う主流煙とタバコの先端から出る副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙の3種類があります。多くの人は、副流煙の方が主流煙よりも有害物質は少ないと思つていますが、実は副流煙の方が有害物質は多いのです。

その理由は、多くのタバコはフィルタールがついているため、主流煙では有害物質がある程度除去されていることと、副流煙は低温による不完全燃焼により有害物質が多くなっているためです。副流煙の有害物質は主流煙に比べてニコチンは7倍、タールは3倍、一酸化炭素は5倍、発がん物質は30倍も多いのです。この

ような煙を大切な子どもや奥さんに吸わせて良いものでしょうか。

受動喫煙が問題視されるようになって、禁煙の場が増えました。交通機関はほぼ禁煙、病院、学校はもちろん公共の場も、レストランも多くは禁煙です。分煙や喫煙室を設けているところもありますが、私から言わせると喫煙室の中は主流煙、副流煙、呼出煙が高濃度で存在する極めて毒性の高い部屋としか思えません。そんなところへ行つてまで、タバコを吸いたいのでしょうか。よく考えてみてください。

受動喫煙の害は喫煙者の害と全く変わりません。受動喫煙による肺がんのリスクは1.3倍と報告されており、タバコを吸わない女性でも夫からの受動喫煙によつて肺がんのリスクが上昇することが証明されています。あなたが禁煙することは、あなた自身と家族を守ることなのです。

少しでもタバコを止めてみようかなと思つたら、日野病院の禁煙外来を受診してみてください。私と違って優しい先生が指導してくれます。(禁煙外来は予約制です。詳しくはホームページをご覧ください)

受動喫煙の害は喫煙者の害と全く変わりません。受動喫煙による肺がんのリスクは1.3倍と報告されており、タバコを吸わない女性でも夫からの受動喫煙によつて肺がんのリスクが上昇することが証明されています。あなたが禁煙することは、あなた自身と家族を守ることなのです。



今がチャンス！ 早いほど得する帯状疱疹ワクチン接種

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

早めに打つことをおすすめ 帯状疱疹ワクチン

「もう2年にもなるのに夜中に電気が走るような痛みが急にきて眠れません」
これは、帯状疱疹後神経痛に悩まされている実際の患者さんの声です。

帯状疱疹は、発症初期1〜2日以内に抗ウイルス薬を内服すれば神経痛が起ることは少ないのですが、初期は痛がゆい感じを伴った発疹だけなので、虫さされなどと区別がつかなくて治療が遅れることがよくあります。抗ウイルス薬の投与が遅れると、前述の患者さんのように発疹は治っても神経痛が年余にわたって

続くことがあります。これを予防するのに最も良い方法は、ワクチンを接種することです。

帯状疱疹ワクチンには不活化ワクチンと生ワクチンがありますが、効果は大きく違うので不活化ワクチンをお勧めします。

不活化ワクチンは1〜2カ月空けて2回打つ必要がありませんが、その予防効果は97%と10年以上にわたってほぼ発症しません。副作用は注射部位の疼痛や筋肉痛を認めますが、数日以内に消失します。ただし、2回接種しないと十分な効果がでないため、6カ月以内に必ず2回目を打つてください。

一方、生ワクチンの予防効果は50%と大きく差があり、効果の持続も短く、5年で25%に低下し、8年でほぼ効果はなくなります。ただ、不活化ワクチンは2回で4万円と、生ワクチンが1回のみで8千円程度であるのに対し高額です。

日野町は全国でも第2位の 安い自己負担額

しかし、心配はいりませ

ん。日野町では2回で1万円ポッキリです。後は町が補助してくれます。この助成制度は2022年4月から開始されました。2023年からは多くの自治体が助成制度を開始し、檜原村が自己負担0円なので全国第2位の安い自己負担です。本年度からは江府町、日南町も同様の助成が行われており、日野町の住民は大変優遇されています。私は今年の6月と8月にワクチンを打ちましたが、日野町に住んでいても住民票は米子市なので、泣く泣く全額自費で4万円を支払いました。

では、どのような人が打つべきでしょうか。50歳以上の人ならどなたでも打つ方が良いのですが、糖尿病や心不全、慢性腎臓病、肝臓病、肺疾患、がんや抗がん剤を使う人、リウマチなどの膠原病のある人は免疫が低下しているので、できるだけ早く打つことをお勧めします。今年からは、このようなかかりやすい患者さんは18歳以上から打つことができるようになりました。

時々、「私は一度帯状疱疹になったから打たなくていい」と言われる人がありますが、一度かかった人はむしろ再発しやすいのでぜひ接種してください。不活化ワクチンは免疫を活性化させる薬を混ぜてあるので、本物のウイルスよりも免疫力を高める効果が強いのです。

帯状疱疹後の神経痛になると何カ月も何年も通院し、痛み止めの薬を飲み、何倍ものお金と苦痛に耐えなければなりません。それを考えると決して高い出費ではないと思います。日野病院に受診した折に、ぜひご相談ください。



胆のうポリープと胆のうがん —小さいときはみんなかわいく見えてしまう

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

正しく知ろう 胆のうポリープの種類

みなさんは人間ドックや通常の診察で、腹部超音波検査を受けられたことがあると思います。その中で「胆のうにポリープがありますよ」と言われた人も多いのではないのでしょうか。胆のうポリープと聞いてドキッとした人、何だ！ポリープかと思つた人、どちらの人も、正しく胆のうポリープを知ってもらいたいと思います。

胆のうポリープはよくみられる疾患ですが、胆のうポリープと言われているものは、実はコレステロールポリープ、炎症性ポリープ、

過形成ポリープ、腺腫性ポリープ、初期の胆のうがんが混じっています。コレステロールポリープが9割を占めますが、怖いのは初期の胆のうがんである小さい胆のうがんが混じっていることです。

コレステロールポリープ、炎症性、過形成ポリープは良性ですので心配はありませんが、腺腫性ポリープは中にながなができることがあるので、腺腫性ポリープと初期の胆のうがんが重要です。典型的な形をしたコレステロールポリープであれば超音波検査で区別がつきませんが、区別の難しい例も多く、確実な診断は困難です。

胆のうがんは小さくても油断しないで

ではどうすればいいでしょう。それは定期的に大きさをチェックすることで。良性の3つのポリープは、大きさが10mmを超えることはほとんどありません。つまり、大きさが10mmを超えれば胆のうがん、悪性の可能性が極めて高くなります。

胆のうがんは小さいときはかわい顔をしていても、少しずつ大きくなり本性を現します。私の外来では、初めて胆のうポリープと診断したとき、大きさが6mm以下であれば6カ月後に、6〜9mmであれば3カ月後に超音波検査を再度行います。10mm以上のポリープはがんを疑って、MRI検査、超音波内視鏡検査を行っていきます。6mm以下であったポリープが徐々に大きくなって10mm以上になった時も同じように精密検査を行い、15mmを超えた場合は基本的に手術で胆のうを切除します。

実際にこれまでたくさん胆のうポリープの患者さんを見てきましたが、6mm以下から8mm、13mm、16mmと徐々に大きくなり、手術をしたらポリープの半分くらいががんであった例がありました。もちろん、早期に治療できたのでその後再発はありませんでした。

胆のうポリープと言われたら、必ず主治医の先生の指示に従って定期的な超音波検査を受けてください。多くの場合、数年経過を見

て、大きくならなければがんの可能性は極めて低くなります。それでも、年に一回はチェックをすることをおすすめします。

胆のうは壁が非常に薄い袋状の臓器ですので、がんができるとすぐに周囲に浸潤、転移するため、大変予後が悪い病気です。しかし、日ごろから検査を受ければ決して怖い病気ではありません。

胆のうポリープは一般的な疾患ですが、中にはがんの可能性もあります。そのため、定期的な超音波検査を受けて大きさや形をチェックすることが重要です。超音波検査は簡単で安全な検査ですので、胆のうポリープと診断された人は必ず主治医の指示に従ってください。



増えている心不全 その1 あなたの心臓 大丈夫？

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

休まず働いている心臓 働きの低下で心不全に

平地でも少し歩くと息切れがする、足がむくんで治らない、などの症状はありませんか？そう言えばと思いませんか？そう言えれば、心不全の可能性があらわれます。それでは、今回は心不全についてお話しします。心不全とは、血液を全身に送るポンプの働きが低下した状態です。心臓は1分間に60回打つとすると1日で86,400回(≒60回×60分×24時間)、1年で3千万回、70歳の患者さんは22億回打ったこととなります。この間、心臓は全く休まずに拍動し続けています。

高齢になるほど、心臓の働きは低下しやすくなり、また、高血圧や糖尿病などの生活習慣病があったり、心筋梗塞、不整脈、弁膜症などの心臓病があると、心不全は起こりやすくなります。

症状によって分かれる 心不全4つのステージ

心不全の進行は4つの段階に分けられています。ステージAは生活習慣病がある段階、ステージBは心臓の働きが低下してきた段階ですが、まだ症状はありません。ステージCは心不全の症状が出た段階、ステージDは症状が悪化し、日常生活が困難となる段階です。

多くの患者さんはステージCで診断されますが、治療はステージBから始める方が良く、予防はステージAから必要です。ステージA、Bは症状がないのに、どのように診断すればいいのでしょうか。

ステージA、Bには、高血圧や糖尿病などの生活習慣病のある人や、これまで何らかの心臓病を指摘された人がすべて含まれます。それでは、ステージAとB

はどのようにして区別できるのでしょうか。それには、心臓の働きを調べる検査が必要となります。その検査は血液検査、超音波検査、胸部レントゲンあるいはCT検査です。

負担なく詳しく 調べられる超音波検査

体に負担なく、詳細に調べることができるのは超音波検査です。まず血液でNT-ProBNPという検査を測定し、胸部レントゲンで心臓が大きいか調べましょう。どちらかでも異常があれば超音波検査を受けてください。これまで何らかの心臓病のあった患者さんは超音波検査を定期的に受けましょう。

超音波で調べると心不全



にも2種類があることがわかります。1つは駆出率(血液を送り出す力)が低下した人、2つ目は駆出率は正常だけれど、拡張機能が低下したために血液を送り出すことができなくなった人です。この2種類の心不全患者さんの生命予後(生きられる期間)は、どちらも心不全がない人と比べて低下しています。治療方法が異なるため、ぜひ調べる必要があります。

ステージBまでに治療を開始すると心臓は負担が少なくなり、長持ちします。今しんどくないからなどと、言わずに、一度主治医と相談して自分の心不全のステージを聞いてください。転ばぬ先の杖、治療は早いほど効果が高いのです。



増えている心不全 その2 心不全の新しい薬

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



心不全4つの段階 ステージごとの治療法

前回、心不全の診断についてお話ししました。今回は治療についてです。

心不全には4つのステージがあることを述べました。ステージAは生活習慣病がある段階ですので、その生活習慣病を治療することが必要です。高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満などいずれも心不全を引き起こす病気なので、これらの生活習慣病をしっかり治しましょう。

過剰な塩分摂取、喫煙や多量飲酒は心不全の悪化因子ですので、禁煙、飲酒ではアルコール量40g（日本酒で2合）以下にしてください。減塩は少なくとも8g以下、できれば6gにしてください。

ステージBは、無症状ではあっても心疾患は発症していますので、進行しないように生活習慣の改善とともに薬物治療を開始することが必要です。ステージCは心不全症状が出ているので、薬物療法とともに心不全の原因疾患によっては外科手術も組み合わせた集学的

治療が必要です。ステージDは難治性の心不全ですので、集学的治療によって少しでも進行を遅らせる治療が中心となります。

心不全の薬物療法 画期的な新しい薬剤

心不全の薬物療法は最近新しい薬剤が次々と出てきており、治療効果もどんどん向上しています。

2000年以前には利尿剤とジギタリスが一般的に使用されていましたが、2000年以降、β遮断薬（心臓の働きを調整する薬）が効果的であることが分かり、2011年からはACE阻害剤、ARB、アルドステロンブロッカーなど、血管収縮を調整しナトリウムの貯留を抑制する薬剤も導入され、最近では糖尿病の治療にも使用されるSGLT2阻害薬や、ナトリウムの排泄を促進するARNIといった薬剤が開発され、治療効果が大幅に向上しています。

β遮断薬、アルドステロンブロッカー、ARNI、SGLT2阻害薬の4つを、アメリカの漫画に登場する

ヒーローになぞらえて「ファントスティック4」と呼んでいます。それぐらい画期的な薬だと言うことです。患者さんの病態にあわせてこれらの薬を組み合わせて、心臓に負担をかけないように、しかも働きを維持しながら心臓に長く働いてもらえるように治療を行います。

もちろん前述のように、減塩食や禁煙などの生活習慣の改善は前提条件です。

日野病院では循環器内科の先生と相談しながら、患者さんに最適な治療法を提示しています。心配なことや聞きたいことがあれば、ぜひご相談ください。



日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

高齢者に勧めたいワクチン
どのくらい接種していますか

今年の夏、私に肺炎球菌ワクチンの接種案内が届きました。今年は带状疱疹ワクチンも受けようと思っていたので、5月に新型コロナウイルスのワクチン、7月に带状疱疹ワクチン1回目、8月に肺炎球菌ワクチン、9月に带状疱疹ワクチン2回目、10月に新型コロナウイルス、11月にインフルエンザワクチンと、毎月のようにワクチンを受けていました。ワクチンが重なりましたが、一通り受け終わると安心感があります。副作用も1日程度の微熱、倦怠感、筋肉痛ぐらいで済みました。

さて、今回は高齢者に勧めたい4種類のワクチンを紹介しましょう。

破傷風ワクチンを除いてそれぞれ個別にこれまでも町報で紹介していますが、皆さんはどれくらい接種しているでしょうか。ぜひ確認してください。新型コロナウイルスワクチンがないじゃないかとと言われるかもしれませんが、今後新型コロナウイルスは通常の風邪と同様に扱われるようになり、ワクチン接種が必要なくなる可能性があります。今後も接種すべきワクチンかどうかは、もう少し様子を見る必要があります。そうです。

重症化を防ぐために 計画的に接種を

では、それぞれについて簡単にご紹介しましょう。インフルエンザワクチンはおそらく多くの方が毎年接種していることだと思います。インフルエンザは年によって変異していくため、今年は軽くても大きな変異が起こった時には大流行となり、高齢者を中心に多くの方が亡くなります。毎年受けることで免疫を維持す

ることが大切です。

肺炎球菌は高齢者肺炎の原因として最も多く、重症の全身感染症となり、死亡率の高い重篤な疾患です。これを肺炎球菌ワクチンによって予防することができます。医療費を減らす効果があることも証明されています。5年ごとに再接種をする必要があります。インフルエンザワクチンと両方受けることで、さらに肺炎を減らす効果があることが分かっています。

次に、带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)は带状疱疹の発症、および带状疱疹後神経痛の予防効果があり、2回受けることで10年以上高い予防効果が持続します。通常は2回の接種で5万円近い費用がかかりますが、日野郡では町からの助成により、一万円で受けることができます。

最後はあまり世間では話題にはなりません。破傷風ワクチンです。これは1968年以後に生まれた方は定期接種を受けていますので不要ですが、1968年以前の方は受けていませんで接種をお勧め

めします。

破傷風菌は土壌中に存在する菌で、畑仕事や土いじりをしてけがをされると感染する可能性があります。以前は日本で毎年2000例が発症していましたが、ワクチンの効果で最近では100例程度の発症例で、5〜10例が亡くなっています。感染してから発症まで平均10日かかるので、破傷風であることに気がつきにくいといわれています。ワクチンは3回の接種が必要ですが、10年間も効果が持続します。農作業をされる方はぜひ受けておきたいワクチンです。

こんなにたくさん受けられませんと言われるかもしれませんが、インフルエンザワクチン以外は5年、10年有効なので計画的に接種すれば決して大変ではありません。ぜひ、かかりつけ医にご相談ください。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

知っていますか？ 糖尿病患者の死亡原因

皆さんは、糖尿病患者さんの一番の死亡原因が何かご存じでしょうか。

「腎不全でしょう」と思われるかもしれませんが、それは違います。「高血糖による昏睡かな」とも考えられますが、それも違います。

実は一番の死因はがん、悪性腫瘍です。糖尿病患者さんのがんによる死亡率は38%で、第二位が感染症の17%、第三位は血管障害（心臓、脳卒中など）の15%です。「それじゃ一般の人と変わらないの？」と思われるかもしれませんが、実は糖尿病患者さんは一般の人よりもがんになりやすいんです。



糖尿病患者さんのがん発症率は、一般の人に比べて

がん全体で1.26倍、肝臓がんで2倍、膵臓がん1.5倍、腎臓がん2倍、大腸がん1.5倍、子宮体がん2.7倍、乳がん1.7倍となり、ほとんどののがんの発症を増やします。これは軽い糖尿病の患者さんもコントロール不良の患者さんも含めた値で、糖尿病のコントロールが悪いとさらに発がん率は上昇します。

早期発見のため適切に がん検診を受けましょう

「こんなにいろんながんになりやすいなんてどうすればいいのか？」と思われる方もいるでしょう。

まず、適切にがん検診を受けることが大切です。市町村によるがん検診、つまり胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、女性はさらに乳がん、子宮がん検診を受けてください。

胃がん検診はできるだけ胃カメラを受けてください。さらに糖尿病の患者さんにとって重要な肝臓と膵臓の検査が必要です。肝臓関連死は肝臓がんと肝硬変

を合わせて死因の10%になりますので、腹部超音波検査を受けて肝胆膵のがんをチェックしましょう。腹部超音波検査を受ければ腎臓も膀胱も確認できます。

男性では胃カメラ、腹部超音波検査、検便（大腸がんのチェック）、胸部レントゲン（喫煙歴のある方はできれば低線量CT）を、女性にはこれに加えてマンモグラフィ（乳がん）、子宮細胞診（子宮がん）、できれば子宮の超音波検査をすればほとんどのチェックが可能です。胃カメラを除けばそれほど負担の大きい検査はありません。ぜひ毎年受け、その結果を主治医の先生に報告しましょう。

私の外来では患者さんに検診結果を報告してもらい、カルテに記載し、抜けることがないように気をつけています。これらの検診を受けた上で日野病院が行っているMRIによるDWI・BS全身がん検診を受ければより安心です。詳しくは日野病院のホームページをご覧ください。

もう一つ糖尿病の患者

さんが知っておかなければいけないことは、今までと同じように食事療法、薬物療法をしているのに、急に血糖のコントロールが悪くなったときは要注意です。

暴飲暴食をして糖尿病が悪化するのとは当然ですが、そんな覚えがないのに悪化した場合はがんができてくる可能性があります。特に膵臓がんができるとう糖尿病が悪化します。そんなときは主治医の先生に相談して精密検査を受けましょう。

糖尿病の患者さんは一般の人以上に、しっかりとがん検診を受けることが大切です。検診をついつい先延ばしにしないように主治医の先生にチェックしてもらうのもいい方法です。



日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

陥っていませんか？ 自然リスクバイアス

皆さんは医師から「新しい薬を飲む必要がありません」と言われたとき、どのように対応されますか。

例えばコレステロールが高い場合、患者さんに薬を処方しようと言った、「これからずっと飲まないといけないですね」「副作用が心配です」などの懸念があり、コレステロールが高いと将来的に心筋梗塞や脳梗塞などのリスクが上昇することを説明しても躊躇する患者さんが多くいます。人というのは、将来の出来事について見積もることが苦手であり、より近い将来のリスクを重視します。

他の例では、ワクチン接種において将来感染症にかかるリスクよりもワクチンの副作用をより重要視し、ワクチンを拒否する方があります。これらは自然リスクバイアスと呼ばれ、自然に起こるリスクは受け入れられる一方で、薬やワクチンなどの人工的なリスクに対する恐れが強くなる傾向があります。

早期がんが発見された時、将来進行して命にかかわることよりも、手術のリスクを心配するのも同様の自然リスクバイアスです。見方を変えると、先のことよりも今を優先する現在バイアスでもあります。

これは人が進化の過程で身につけた、リスク回避の習性です。人が猿から進化して以来つい最近まで10年20年先を考えて生きるよりも、目の前の危険を回避することの方が遙かに生存確率が高くなる環境で生きてきたためです。このような状況に遭遇したとき、自身自身が現在バイアスや自然リスクバイアスに陥っていないか確認してみましよう。

効果がなくても効く？ プラシーボ（偽薬）効果

次に、〇〇薬を飲めば立ち所に良くなる、私もびつくりするぐらい良くなりましたといったテレビコマーシャルをよく見かけます。出てくる患者さんは元気でとても幸せそうです。ところが、実際にはほとんど効果が無いことが多いのが現状です。

それでは、でていた患者さんはみんな嘘つきなのでしょうか。そうともかぎりません。それはプラシーボ効果かもしれないのです。

プラシーボ（偽薬）効果とは、実際には効果のない薬でも患者が効くと思ってしまうことを言います。医師が処方する薬剤はこのようなプラシーボ効果ではなく、本当の効果が証明されています。

その証明の方法は、効果を見たい薬剤と全く効果のない、例えば砂糖のようなものを患者さんにはどちらが入っているか分からないようにして、本物の薬を投与した群と偽物を投与した群の効果を比較して、本物の薬が偽物より統計学的に効果が高かったとき初めて薬が効いたと判定します。私もいくつかの薬の臨床試験に参加しましたが、偽物でも何らかの効果が出ました。

プラシーボ効果自体は悪いことではありませんが、これを利用して効果のない薬を売りつける業者にだまされないようご注意ください。



第87回 中年から始まる人に言えない困りごと その1 尿漏れ

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

最も多い尿漏れの原因 腹圧性尿失禁

スポーツ観戦に行きたいけど力が入ると…。旅行に行きたいけど荷物を持つと…。この悩みは何かわかりますか？そうです。尿漏れです。くしゃみをしたり、重いものを持つたり、早足で歩いても起こることがあります。皆さんはそんな経験ありませんか。尿漏れで困っている人は2000万人いると言われています。男女比では2・5で、女性の方が多いですが、実は男性も結構多いのです。尿漏れの原因で最も多いのが、腹圧性尿失禁です。これは骨盤底筋のゆるみによって起こります。

骨盤底筋はおわん状になった骨盤の一番底を支えている筋肉で、膀胱、膈、直腸が通る穴があり、その穴を開け閉めして排泄をコントロールしながら、骨盤内の臓器を支えています。では、この骨盤底筋が緩む原因は何でしょうか。女性では第1に、やはり妊娠と分娩です。大きくなった赤ちゃんが子宮を支えるのは大変ですし、分娩時は骨盤底筋が大きく伸展されることによつて筋肉が損傷します。

第2は便秘です。排便時の過度のいきみは筋肉を損傷します。第3は肥満です。内臓脂肪が増加するとその重さを支える筋肉に負担がかかります。第4は姿勢です。猫背でお腹が出た姿勢は内臓の重量をすべて骨盤底筋に負荷することになります。頭、肩、骨盤、膝、くるぶしが縦一直線になった姿勢は、骨盤を適正な角度にするとされています。第5は加齢による筋力低下です。しかし、骨盤底筋は自分の意志で動かせる骨格筋ですので、鍛えることができます。

以上、骨盤底筋が緩む原因がわかれば治療法・予防法もおのずとわかってきます。便秘を解消し、姿勢を良くし、運動をして筋肉をつけながら体重を減らすことです。私の患者で、ジムに通って体重を10kg減量したところ、頻尿が改善し、尿漏れがなくなった方がいます。やはり地道な運動が大切です。また、骨盤底筋自体を鍛える体操を加えることで、より効果が上がります。

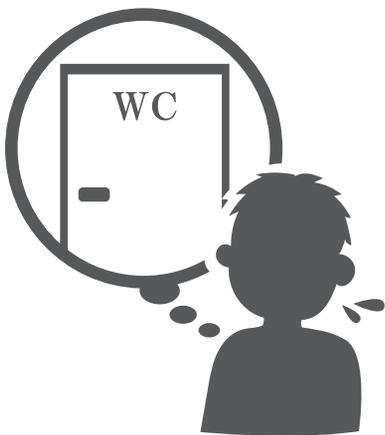
骨盤底筋体操で尿漏れを解消しましょう！

骨盤底筋体操にはいろいろな方法がYouTubeで紹介されていますが、比較的簡単な方法を紹介します。

仰臥位になり両膝を立て、下腹部に両手を乗せて全身の力を抜きます。息を吐きながら肛門をしめるように力を入れ、締めた状態を5秒間維持した後力を緩めます。これを1セットとして一日10セット行いましょう。

さらに肛門を素早く締めて緩めることを5回行い、5回目に5秒間しめた状態を維持すると、素早い運動が可能となり、より尿漏れに効果的です。お風呂に入る前にぜひやってみてください。

尿漏れの解消は、日常生活を楽しく活動的なものに変えてくれます。



その他の新聞記事

日野病院制作 日吉津で上映



映画館広告で看護師募集



発行所
山陰中央新報社
松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440

購読お申し込み

☎0120-49-2550

■受付時間
午前9時30分～午後5時30分
(日曜、祝日、年末年始除く)



ホームページ
<http://www.sanin-chuo.co.jp/>

記念号外

日野病院組合 **日野病院 看護師募集** 日野病院組合 検索

シネアド動画の1コマ (日野病院提供)

映画館で上映前に流れる動画広告「シネアド」を利用し鳥取県日野町の公立日野病院(99床)が看護師の募集を始めた。15秒動画で「私たちとより良い医療を目指しませんか」と呼びかける。人気アニメなど話題作が相次いで公開され、スクリーンに若者らの目が引き付けられる中、人材難の解消を期待する。

新型コロナウイルス対応で都市部の急性期病院が採用枠を拡大したことを受け、地方病院の看護師不足は、ここ数年でより深刻化。日野病院も例に漏れず、ピーク時より10人近く少ない66人の看護体制で外来・病棟業務を回している。

新規応募も減少傾向にある中、映画の上映前のわくわく感でスクリーンに目を引き付けやすいシネアド効果に着目。県外業者に動画データを提供して「総合医療の提供」「スキルアップができる環境」などをPRする広告を制作した。

約130万円で、鳥取県内で最大規模の映画館「MOVIX日吉津」(日吉津村)と1年契約。初回は19日に流した。大小合わせて6劇場(約1300席)があり、六つのスクリーンに年間計1万回超が流されるという。

頭本保人事務局長は「働きやすい職場の雰囲気は伝わるよう工夫した」とし、中山間地域で地域医療を担う病院の認知度向上に期待。孝田雅彦病院長は「看護師不足は地域医療の根幹を揺るがす。一人でも希望者が現れることを願っている」と話した。

いつでもどこでも読める 山陰中央新報デジタル

Sデジ こんなに便利



アプリで速報受信
山陰の情報
イチ早く

スマホやPCで
いつでもどこでも
手軽に

2週間前
までの
紙面が読めます

Sデジ利用料 月額550円(山陰両県の方) 1契約で1ID、ご家族4人まで利用可

※鳥根・鳥取両県の方は「山陰中央新報」のご購読契約が必要です ※隠岐地区で「山陰中央新報」ご購読の方はSデジ利用料無料です ※鳥根・鳥取両県の方はSデジ単独(3,300円)プランとなります

お申込み・詳細はこちら
スマホまたはPC、タブレットでWebからお申込みください。
山陰中央新報 検索



ご登録いただきました個人情報につきましては、山陰中央新報社および販売所が適切に管理し、各種デジタル版サービスの提供やお支払いに利用させていただきます。

日野病院組合 日野病院に

総務大臣表彰



尾身朝子総務副大臣(右)から表彰状を受け取る日野病院の孝田雅彦病院長(東京都千代田区、ホテルルポール麹町)

鳥取県西部の中山間地域に位置する、日野、江府、伯耆3町で運営する公立日野病院(日野町野田、99床)が15日、全国自治体病院協議会から2023年度自治体立優良病院の総務大臣表彰を受けた。少子高齢化が著しい地域で住民に寄り添う質の高い医療サービスの実践が評価された。

大地域医療総合教育研修センターと連携した総合診療医の育成は全国モデルになっている。新型コロナウイルス感染症対応では24時間体制で発熱患者の診察やPCR検査に当たった。病院経営も、07年度以降、15年度を除き黒字。外来・入院患者7万3600人を受け入れた22年度は、累積余剰金が過去最高の9億4千万円になった。

東京都内で尾身朝子総務副大臣から表彰状と盾を受け取った孝田雅彦病院長は「地域医療を取り巻く環境は厳しいが、持続可能な病院づくりにまい進したい」と喜びを語った。

優良病院の総務大臣表彰は37回目。地域医療で果たす役割、経営努力などを総合的に判断して選ばれる。山陰両県でこれまでに平田市立病院(出雲市、現出雲市立総合医療センター)、日南病院(鳥取県日南町)、公立邑智病院(鳥根県邑南町)が表彰された。



発行所
山陰中央新報社
松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440

購読お申し込み
☎0120-49-2550

受付時間
午前9時30分～午後5時30分
(日曜、祝日、年末年始除く)



ホームページ
<http://www.sanin-chuo.co.jp/>

記念号外

いつでもどこでも読める 山陰中央新報デジタル



Sデジ こんなに便利



アプリで速報受信
山陰の情報
イチ早く

スマホやPCで
いつでもどこでも
お手軽に

2週間前
までの
紙面が読めます

Sデジ利用料

月額550円(山陰両県の方)

1契約で1ID、ご家族4人まで利用可

※鳥根・鳥取両県の方は「山陰中央新報」のご購読契約が必要です ※離島地区で「山陰中央新報」をご購読の方はSデジ利用料無料です ※鳥根・鳥取両県外の方はSデジ単独(3,300円)プランとなります

お申込み・詳細は
こちら

スマホまたはPC、タブレットでWebから
お申込みください。

山陰中央新報 検索



ご登録いただきました個人情報につきましては、山陰中央新報社および販売所が適切に管理し、各種デジタル版サービスの提供やお支払いに利用させていただきます。

山陰中央新報デジタル

【お問い合わせ】 山陰中央新報社 Sデジ事務局
〒690-8668 鳥根県松江市殿町383 山陰中央ビル[平日9:30~17:30(土日祝、盆・年末年始は休み)]

TEL 0852-32-3500 FAX 0852-32-3399
Mail customer.s-digi@sanin-chuo.co.jp

自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞した日野病院＝日野町
野田



本年度の自治体立優良病
院表彰で、日野病院（日野

本年度 自治体立優良病院

日野病院が総務大臣表彰

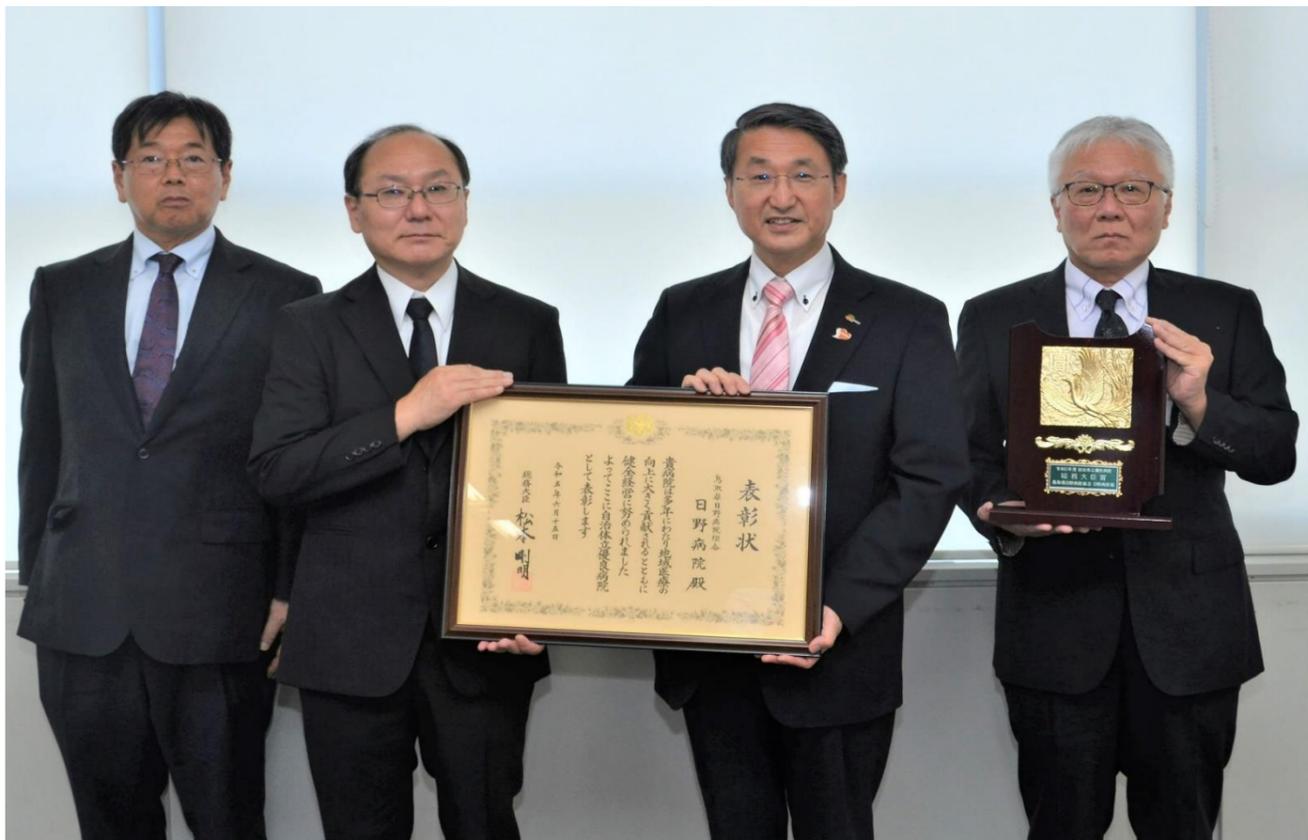
地域医療貢献など評価

町野田、孝田雅彦病院長）が総務大臣表彰を受賞した。全国自治体病院協議会などの推薦で、地域医療の確保に十分な役割を果たしていることや安定した黒字経営が評価された。同表彰の本年度対象は6病院。

同病院は日野郡と岡山県北部の一部を診療圏とし、地域の1次、2次救急に対応。また、へき地医療拠点病院として訪問での診療や看護、リハビリなど在宅医療を実践し、近隣の老健施設を訪れて入所者の診察や入院相談も行っている。新型コロナウイルス対応では感染拡大初期から病床を確保し、患者を受け入れるなど地域医療に貢献した。患者数増に向けた動きでは、他の急性期病院からの転院や紹介患者を積極的に受け入れるなどの経営努力が評価された。

（池田悠平）

日野病院総務大臣表彰



平井伸治知事に受賞を報告する孝田雅彦病院長
米子市末広町、米子コンベンションセンター



発行所
山陰中央新報社
松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440

購読お申し込み

☎0120-49-2550

■受付時間
午前9時30分～午後5時30分
(日曜、祝日、年末年始除く)



ホームページ

<http://www.sanin-chuo.co.jp/>

記念号外

平井知事に報告



2023年度の自治体立
優良病院総務大臣表彰に選
ばれた公立日野病院(鳥取
県日野町野田、99床)の孝
田雅彦病院長が2日、米子
市内で平井伸治知事と面会
し、受賞を報告した。

県西部の日野、江府、伯耆3町で運営する日野病院は内科、整形外科、総合診療科など21診療科とへき地診療所を運営し、少子高齢化が進む中山間地域の住民の「かかりつけ医」として質の高い医療サービスを提供。さらに07年度以降、15年度を除いて黒字が続き、経営の健全性を維持している点も高く評価された。

孝田病院長は患者や周辺の医療機関、県の協力に対して謝辞を述べた上で、「今後もかかりつけ医としての機能や在宅医療の質を充実させたい」と強調。鳥取大学医学部と連携した医療人材の育成にも引き続き力を注ぐ考えを示した。

平井知事は「地域になくてはならない存在であり、職員の皆さんが住民の健康と命を守る使命を果たされたことが受賞につながった」とたたえた。日野病院の取り組みをモデル事例として全県に広め、医師確保を後押しすることも約束した。

いつでもどこでも読める 山陰中央新報デジタル

Sデジ こんなに便利



アプリで速報受信
山陰の情報
イチ早く

スマホやPCで
いつでもどこでも
手軽に

2週間前
までの
紙面が読めます

Sデジ利用料

月額550円(山陰両県の方)

1契約で1ID、ご家族4人まで利用可

※鳥根・鳥取両県の方は「山陰中央新報」のご購読契約が必要です ※離岐地区で「山陰中央新報」ご購入の方はSデジ利用料無料です ※鳥根・鳥取両県外の方はSデジ単独(3,300円)プランとなります

お申込み・詳細は
こちら

スマホまたはPC、タブレットでWebから
お申込みください。

山陰中央新報 検索



ご登録いただきました個人情報につきましては、山陰中央新報社および販売所が適切に管理し、各種デジタル版サービスの提供やお支払いに利用させていただきます。

山陰中央新報デジタル

【お問い合わせ】 山陰中央新報社 Sデジ事務局
〒690-8668 鳥根県松江市殿町383 山陰中央ビル【平日9:30~17:30(土日祝、盆・年末年始は休み)】

TEL 0852-32-3500 FAX 0852-32-3399
Mail customer.s-digi@sanin-chuo.co.jp



日野病院 病院長
孝田 雅彦 氏

こうた・まさひこ 1984年鳥取大学医学部卒。1989年同大学院医学研究科修了。2015年鳥取大学医学部附属病院消化器内科学科長・鳥取県肝疾患相談センター長併任。2016年から現職。64歳、大阪府出身。

令和5年度
自治体立優良病院総務大臣表彰
受賞記念対談

鳥取大学医学部 地域医療学講座 教授
谷口 晋一 氏

たにぐち・しんいち 1985年鳥取大学医学部卒。病態情報内科学(旧第一内科)入局。2005年に地域フィールド調査「鳥取-江府スタディ」開始、江尾診療所での生活指導介入などに従事。2014年に鳥取大学地域医療総合教育研修センター(日野病院)を開設し、医学生教育、総合診療医の育成を行う。2010年から現職。62歳、鳥取県出身。

日野病院の未来を語る

鳥取県西部の中山間地域に位置する日野、江府、伯耆の3町で構成する日野病院組合「日野病院」(鳥取県日野町野田、99床)が、2023年度の自治体立優良病院表彰で総務大臣表彰を受けた。医師偏在化や若く高齢化に伴う人口減少など、地域医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、健全経営を続け、住民に身近な「へき地医療拠点病院」の使命を果たす取り組みが高く評価された。日野病院の未来像について、孝田雅彦病院長と、総合診療医を育成する鳥取大学地域医療講座の谷口晋一教授が語り合った。

新型コロナウイルス対応で
機能したへき地医療
拠点病院の強み

孝田 新型コロナウイルス感染症拡大では自治体の要請で病床確保や患者の受け入れ、新築した発熱外来棟や24時間対応のPCR検査や診察などに当たりました。そこで一番感じたのは、住民の「かかりつけ医」として当院が果たすべき役割の重要性です。かかりつけ医は、普段から健康に関する相談ができ、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近で頼りになる医師のことです。当院が地域住民の健康管理を受け持ち、病院としてかかりつけ機能を充実させれば、生活習慣病など基礎疾患の有無などが包括的に把握でき、重症化リスクを評価し新たな感染症が出現しても対応しやすくなります。その意味でも、地域住民の皆さんにはぜひ、かかりつけ医を持って頂きたいと思っています。

孝田 新型コロナウイルス感染症拡大では自治体の要請で病床確保や患者の受け入れ、新築した発熱外来棟や24時間対応のPCR検査や診察などに当たりました。そこで一番感じたのは、住民の「かかりつけ医」として当院が果たすべき役割の重要性です。かかりつけ医は、普段から健康に関する相談ができ、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近で頼りになる医師のことです。当院が地域住民の健康管理を受け持ち、病院としてかかりつけ機能を充実させれば、生活習慣病など基礎疾患の有無などが包括的に把握でき、重症化リスクを評価し新たな感染症が出現しても対応しやすくなります。その意味でも、地域住民の皆さんにはぜひ、かかりつけ医を持って頂きたいと思っています。

住民に寄り添う「かかりつけ病院」の実現で
地域医療守りたい

孝田 かかりつけ医機能をより充実させ、専門性の高い医療はもとより「日野病院に行けば何でも診てもらえる」という総合的な医療が提供できる病院になることは、へき地医療拠点病院の生き残り策だと考えています。

孝田 現在、当院の外来患者(22年度約4万5千人)、入院患者(同約2万9千人)の約7割は65歳以上です。20〜50代の多くは、医療機関が多い米子市内の職場に通っており、検診や受診の場合、どうしても市内の病院やクリニックに流れています。

孝田 日野病院には2014年に開設された鳥取大学地域医療総合教育研修センターがあり、臨床実習をはじめ卒業後の研修医や看護学生、リハビリ学生ら実習生などを合わせてこれまで延べ650人以上を受け入れています。

孝田 他ではコロナ禍で医学生教育ができないなど影響が出ましたが、日野病院は

できます。退院後は当院で経過観察ができ、患者さんの負担軽減にもなります。そのために「かかりつけ病院」としての認知度を高める努力が欠かせません。もう一つは、患者さんやその家族の希望に合った切実な医療の提供です。退院後は自宅療養がいいのか、施設入所がベストなのか、療養中の治療方法の選択も含めては、家庭環境に応じて複数のパターンを示し、それが最適な選択なのかを提示し、患者、家族、病院スタッフらが一緒に知恵を絞る仕組みができれば、と思います。そのためにも患者さんが若いときや健康なときからずっと関わられる病院でありたいと思っています。

医療拠点病院は予防、がんの早期発見、術後の経過観察や化学療法フォローなど、一連の流れの中で患者に寄り添い、生活をjめて包括的な視点からケアを施しています。こうした長い時間軸の中で患者に接すること、は、大学病院では非常な難しさの、いわば地域医療を担う「プライマリ・ケア」(総合的に診る医療)の現場があり、専門医との連携や役割分担を学ぶことができます。

孝田 先生が指摘された人材不足については、中山間地域で各診療科をフル装備することも非現実的です。そうしても見合うだけの需要はなく、コストばかりが膨らみます。週に数日、専門医が診察・治療に当たり、常勤医として数名の総合診療医がカバーできる体制を整えれば、かなりの医療ニーズに対応できるでしょう。

新たな病院・病診連携を生み出す
スマート医療構想

孝田 中山間地域の限られた医療資源を有効活用し、持続可能な地域医療を実現するためには、新たな病診連携や病診連携の形成が欠かせません。その手段として考えているのが、ICT(情報通信技術)を用いたスマート医療構想です。

孝田 小児科医などの住民の要望が多い専門医の確保です。全ての専門医をそろえるのは容易でなく、それを補うことができないような臨床プログラムの構築を望みます。

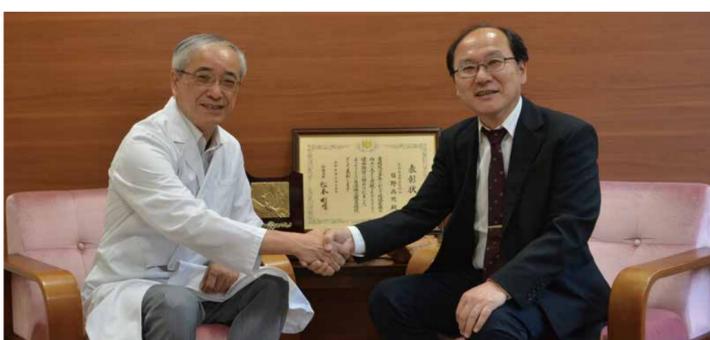
孝田 中山間地域の限られた医療資源を有効活用し、持続可能な地域医療を実現するためには、新たな病診連携や病診連携の形成が欠かせません。その手段として考えているのが、ICT(情報通信技術)を用いたスマート医療構想です。

総合診療医と専門医の連携で人材不足補う
仕組みづくりが必要

孝田 中山間地域の病院は総じて深刻な医師不足に直面しています。かつて大学病院の各医局から派遣されていた初期臨床研修医は、必修化された初期臨床研修制度(04年)によって自ら研修先を選び、臨床を通して知識やスキルを習得できるようになりました。

孝田 中山間地域の病院は総じて深刻な医師不足に直面しています。かつて大学病院の各医局から派遣されていた初期臨床研修医は、必修化された初期臨床研修制度(04年)によって自ら研修先を選び、臨床を通して知識やスキルを習得できるようになりました。

孝田 中山間地域の病院は総じて深刻な医師不足に直面しています。かつて大学病院の各医局から派遣されていた初期臨床研修医は、必修化された初期臨床研修制度(04年)によって自ら研修先を選び、臨床を通して知識やスキルを習得できるようになりました。



日野病院チームの一員として働いてみませんか

— 幅広い年代の方が活躍中です —



日野病院組合
日野病院
出かける医療・近づく医療

〒689-4504
鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL:0859-72-0351
FAX:0859-72-0089
http://www.hinohp.com/
※無料駐車場完備

【総務大臣表彰の受賞概要】

- へき地医療拠点病院として訪問診療、訪問看護、訪問リハなど在宅医療を提供。
- 新型コロナウイルス対応では感染拡大初期から病床確保し、入院を受け入れとともに発熱患者の診察やPCR検査等に24時間対応。
- 救急医療では日野郡とその周辺の1次、2次救急を担う。

日野病院の概要

〈所在地〉 鳥取県日野町野田
〈診療科〉 内科、消化器内科、外科、整形外科、眼科、小児科など21(標榜科)
〈指定病院〉 救急告知病院、へき地医療拠点病院、初期被ばく医療機関、卒後初期臨床研修施設
〈関連事業〉 在宅介護支援事業(訪問看護、訪問リハビリ、居宅支援事業)
診療所事業(黒坂診療所、二部診療所)
〈病床数〉 99床(内科病棟49床、外科混合病棟25床、地域包括ケア病床25床)
〈職員数〉 常勤医師9人、薬剤師3人、看護師70人、放射線技師4人、臨床検査技師5人、リハスタッフ17人、管理栄養士2人、ケアワーカー9人、クラーク9人、介護支援専門員2人、事務職17人(在宅介護支援事業所含む)
〈経営形態〉 日野、江府、伯耆3町で構成する一部事務組合
〈設立〉 平成8年3月28日

日野病院の排便ケア注目



携帯型エコーで入院患者の便秘症状を調べる看護師の野村友輪子さん＝鳥取県日野町野田、公立日野病院

エコー用い患者に優しく

便秘 大きく分けて「排便回数・量は十分でもすっきり排便できないタイプ」と「排便回数・量が少なく腸にたまるタイプ」がある。国の調査によると、症状を訴える高齢者の割合は10人に1人と高い。



「少し冷たいけど、我慢し」クが高まる。特に便秘症状を訴えることが難しい認知症患者や高齢患者の場合、看護師が排便間隔を目安に便秘を判断し、かん腸や摘便、下剤などを塗ると、携帯型エコー探触子を押し当てた。ただ排便間隔を頼りに処置しても、腸管に滞留した便が影でたまった便の量や性状などを評価した。加齢とともに腹圧や直腸機能低下し、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。

このため日野病院は1年前、病棟で携帯型エコーが使える。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。

野村さんによると、直腸の便貯留や便の性状などがエコーで可視化されるため、迷うことなく排便ケアが提供でき、患者の安心感につながっているという。取り組みの成果は「第2回慢性便秘エコー研究会」(事務局・横浜国立大学医学部)で高く評価されたほか、森田さんが9月2日に米子市内で開かれる日本超音波医学会中国地方学術集会で発表する。

手。野村さんと同僚の看護師、森田遙菜さん(24)を加えた2人がトレーニングでエコー操作や影読技術を習得し、患者に優しい排便ケアに生かしている。

看護師が携帯型エコー(超音波画像診断装置)を用いて入院患者の便秘の状態を観察し、適切な排便ケアに生かしている公立日野病院(鳥取県日野町野田、99床)の取り組みが、看護現場で注目されている。「便秘エコー」と呼ばれ、エコー画像から腸管内にたまった便の量や硬軟を読み取って対応する。3日以上排便間隔を目安に便秘と判断し、患者に無理強いすることが多い排便ケアは変わりつつある。



発行所
山陰中央新報社
松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440

記念号外

「少し冷たいけど、我慢し」クが高まる。特に便秘症状を訴えることが難しい認知症患者や高齢患者の場合、看護師が排便間隔を目安に便秘を判断し、かん腸や摘便、下剤などを塗ると、携帯型エコー探触子を押し当てた。ただ排便間隔を頼りに処置しても、腸管に滞留した便が影でたまった便の量や性状などを評価した。加齢とともに腹圧や直腸機能低下し、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。

このため日野病院は1年前、病棟で携帯型エコーが使える。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。

野村さんによると、直腸の便貯留や便の性状などがエコーで可視化されるため、迷うことなく排便ケアが提供でき、患者の安心感につながっているという。取り組みの成果は「第2回慢性便秘エコー研究会」(事務局・横浜国立大学医学部)で高く評価されたほか、森田さんが9月2日に米子市内で開かれる日本超音波医学会中国地方学術集会で発表する。

「少し冷たいけど、我慢し」クが高まる。特に便秘症状を訴えることが難しい認知症患者や高齢患者の場合、看護師が排便間隔を目安に便秘を判断し、かん腸や摘便、下剤などを塗ると、携帯型エコー探触子を押し当てた。ただ排便間隔を頼りに処置しても、腸管に滞留した便が影でたまった便の量や性状などを評価した。加齢とともに腹圧や直腸機能低下し、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。生活リズムが大きく変わる入院では慢性化のリスクが低く、水分や食物繊維不足などから起こりやすくなる便秘。

いつでもどこでも読める 山陰中央新報デジタル



Sデジ こんなに便利

- アプリで速報受信
山陰の情報
イチ早く
- スマホやPCで
いつでもどこでも
お手軽に
- 2週間前
までの
紙面が読めます

Sデジ利用料 月額550円(山陰両県の方) 1契約で1ID、ご家族4人まで利用可

※鳥取・島根両県の方は「山陰中央新報」のご購読契約が必要です ※離島地区で「山陰中央新報」ご購読の方はSデジ利用料無料です ※鳥取・島根両県外の方はSデジ単独(3,300円)プランとなります

お申込み・詳細はこちら
スマホまたはPC、タブレットでWebからお申込みください。
山陰中央新報 検索

安心安全な地域医療をめざす



孝田 雅彦 病院長

日野病院は1940年に開院し、鳥取県西南部の中山間地、高齢化率52%の過疎地域にある病院です。

身近なかかりつけ病院として頻度の高い疾患から急性期疾患まで幅広く診断・治療を行うとともに、生活習慣病や慢性疾患に対して科を超えた総合的なケアを提供するため、急性期から回復期、リハビリ、在宅医療まで切れ目のない診療を行い、地域包括ケアシステムの中心として行政や老健施設と連携を取っています。そのため、当院では、医師だけでなく、ソーシャルワーカー、看護師、リハビリ、ケアマネジャーを加えたかかりつけチームを編成し、患者さんの多様な相談に対応しています。

外来診療科は、大学病院の協力を得て専門診療の窓口として21科の専門外来を設置し、専門医による診療を提供、救急医療においては周辺地域の一次、二次救急を担当し、ドクターヘリの着陸に対応するためのヘリポートも隣接しています。当地域の患者はまず当院でしっかり診療することを基本とし、必要に応じて大病院へ搬送しています。

また、へき地医療拠点病院として無医地区に診療所を設け診療を行うとともに、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの在宅医療を推進しています。患者さんの自宅や施設での生活の



日野病院組合 日野病院

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL:0859-72-0351

様子や病状を把握し共有するために開発した「パットみえネット」というアプリを使用しています。これは、スマホ、タブレット、PCを通じて、地域、施設、職種を超えて利用されています。

以上のように、専門医療や救急医療もちろん、さらにプライマリケアにおけるスクリーニング検査として、高齢者にも優しい低侵襲で高精度の医療機器(MRI、CT、超音波装置、内視鏡など)を整備し、在宅医療においてもできるだけ通院と変わらない診療ができるよう、携帯エコー、心電計、X線装置などを利用しています。

最後に、当院は地域医療の教育病院として鳥取大学地域医療総合教育研修センターを設置し、将来の人材育成に努めています。医師以外にも看護師、薬剤師、リハビリの実習を多数受け入れており、地域医療を多職種連携で学ぶ病院を実践しています。当院は3つのクオリティ、患者の生活の質(Quality of Life)、地域の質(Quality of Community)、病院の質(Quality of Hospital)を高めるために職員一同努力しています。



広告 企画 / (有)プランニング制作 ☎097-538-3600

5、広報誌 せせらぎ



日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療及び感染症に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づく医療に努めます
7. 地域住民の心と身体の健康的な生活を維持増進する予防指導をはじめ、ドック検診事業を積極的に展開します
8. 人材育成に努め、地域に貢献します

病児・病後児保育を継続

できることになりました



日野病院病院長
孝田 雅彦

日野郡のお母さん方に心配をお掛けしましたが、病児保育を継続することになりました。3月末で小児科医が退職したため、4月からは病後児保育のみに限定して行うこと

にしておりました。小児科の診察が日野病院では週3回(火水金)となつたため、小児科医の不在の時に病児の患者さんを受けるのは困難と考えたためです。しかし、新しく加わった内科の医師を含め4名の若い先生が住民の希望を叶えてあげたいと率先して、病児保育をすることを申し出てくれました。最近の医療の風潮は自分の専門外は診たくないと拒否することが多い中でこのように申し出てくれたことは病院長としても大変うれいことです。きつと住民の皆さんに喜んでいただけるものと思います。ただ、内科の医師では判断が困難な患者さんもあるかもしれません。そのときは小児科の先生に紹介させていただくことがありますのでご了承ください。

さて、4月から新しく赴任された先生を紹介したいと思います。内科医として新たに3名が赴任されました。平井実佳子先生は一昨年度当院におられましたのでご存じの方も多いいと思います。内科全般を担当しますが、胃力メラ、大腸力メラの検査も得意としています。加藤弘之先生は一昨年日南病院、昨年鳥取大学附属病院感染症内科を経て来られました。日南病院におられたこともあり、日野郡の医療状況、住民さんの環境も理解し、住民に寄り添った診療をされると思います。一番若い竹本和弘先生は新進気鋭の若手医師であり、消化器内科を将来の専門として修業をしております。

同門になります。また、昨年の10月より当院に勤務していただいている小原先生は総合診療医として内科全般をみていただいております。将来当地区のような中山間地の地域医療を担って行く人材と期待しています。今回紹介した4名の若手内科医師が病児・病後児保育の担当をいたします。

最後に、昨年度当院で特に功績のあつた方に送られる病院長賞は検査室の長尾孝夫検査技師に授与しました。長尾技師はこれまで当院の検査室をまとめてこられただけでなく、あらゆる検査に精通され、新人の教育や新たな検査の導入に尽力されました。特に、新型コロナウイルス感染が広がった2020年からは当院に3種類のPCR機器を導入し、昼夜を問わずPCR検査をしていただき、また、院内感染対策委員会の長としてこの3年間の激務をこなしていただきました。私が恆に感心するのはいつも新しい情報を収集し、勉強していることです。学術雑誌からの情報、厚労省や鳥取県庁、保健所、近隣の病院からの情報と様々な情報を勉強し、われわれに教えてくれるので、病院長として安心して感染対策の決定を下すことができました。何歳になっても新しいことを勉強する姿勢は今後の職員の見本になるものと思います。また、看護局長賞は外来クリニックの吉原早月さんと福田さゆりさんに授与されました。吉原さんは長年にわたって、人間ドックと訪問診療の差配を滞りなくしていただきました。福田さんは医師の診療補助というのが仕事ですが実際は福田さんの指示にしたがって医師が診療していると思うぐらい外来診療を円滑に進めてもらっています。外来クリニックは正式には医師事務作業補助者と呼ばれますが、近年医師の診療負担を減らすため、患者さんによりわかりやすい説明をするために、なくてはならない職種になっています。

今年度も日野病院は地域住民のみなさんの期待に応えられるように努力していきますので、よろしくお願いたします。

緑内障の今昔



日野病院名誉病院長 井上 幸次

日野病院の眼科で診察をさせていただくようになって1年になりますが、とにかく緑内障の患者さんが多いのに驚きます。70才以上の1割が罹患しているといわれていますので、年齢層の高い日野病院では当然といえば当然なのですが。

さて、この緑内障という病気、30年以上前と今とでは大きく病気の定義が変わってしまっています。昔は、緑内障というのは眼圧が高くなって、そのために視神経が障害されて視野が狭くなる病気でした。ところが、今は、視神経が弱って視野が狭くなっていく病気が緑内障ということになっています。眼圧は緑内障を悪化させる因子、リスク・ファクターということになるわけです。視神経の強さと眼圧の高さのバランスでことが決まるので、視神経が強ければ少し眼圧が高くても大丈夫ですし（そういう方は高眼圧症とはいえますが緑内障ではありません）。視神経が弱ければ眼圧がたとえ正常でも視神経は弱っていくので緑内障ということになります。これを正常眼圧緑内障といいます。今の日本は眼圧が高い緑内障の人よりも正常眼圧緑内障の人が多のです。

正常眼圧緑内障の人は視神経が弱くて、眼圧が正常なので、視神経を強くする治療をすればよいということになるわけですが、残念ながら現在視神経を強くする治療というものがありません。そのため、正常眼圧緑内障の人でも、悪化の要因となる眼圧をもっと下げるといって治療をしています。眼圧は緑内障を診断する上ではあまり重要ではなくなっているのに、緑内障を治療する上ではひじょうに大事なのです。幸い昔に比べてひじょうに多くの種類の眼圧を下げる点眼薬がありますので、それを組み合わせて眼圧をコントロールしていくことができます。ただそれでも視野が狭くなってくるとなると一部の方では、手術をしてでも更に眼圧をさげるといってになります。

もう一つ緑内障で変わったのは、以前は「閉塞隅角緑内障」の人が多かったのですが、今は「開放隅角緑内障」の人が多ということ。目の中では常に栄養を含んだ水が毛様体という所で産生されていますが、それが隅角という所から目の外に出て行きます（図参照、矢印が水の流れ）。出て行く所が滞ると眼圧があがるわけです。この隅角がもともと狭い人は眼圧があがりやすく、また、時に突然あがることもあって、その時は眼が痛くなり、頭痛や吐き気を催すこともあります。実は狭隅角の人は瞳が広がると、もともと狭い隅角がより狭くなって閉塞してしまうこともあるのです。そのため、いろいろな体の検査をする時に、瞳孔が開く作用がある薬剤を使う時には「緑内障がありますか」と問診しています。これは実は少し時代遅れといえます。というのは今では多くの緑内障の人が開放隅角緑内障で、正常眼圧緑内障の人は特にそうだからです。

ですので、本当に正しい質問は「狭隅角ですか」と聞くべきなのですが、患者さんは自分の隅角が狭いかどうかわかりませんよね。なので、緑内障があるかという形で広く聞いているわけです。もしも、「緑内障ですが隅角は狭くありません」と答えられる患者さんがおられたら、その人には瞳孔が開く作用のある薬を使っても一向さしつかえないのです。ちなみに白内障術後の人は皆隅角が広がっていることも知っておくとよいかもしれません。

ともあれ、緑内障は早くに発見して適切にコントロールができれば決して怖い病気ではありません。実は視神経が悪くなってくると早期の段階で網膜が薄くなるのが今はわかってきています。日野病院でも網膜の厚みを見ることのできるOCTという器械を遅ればせながら導入し、緑内障の早期発見に役立っています。

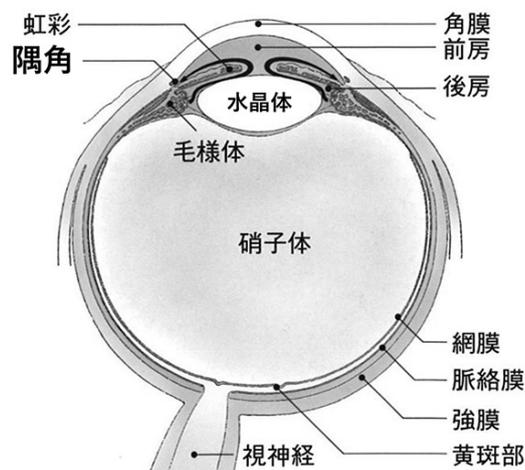


図.眼の構造と眼内の水の流れ

日野病院 地域医療総合教育研修センターだより

●ごあいさつ

皆さま、こんにちは。2022年10月より日野病院に勤務する、小原亘顕(おはらのぶあき)です。総合診療科の研修の一環で当院に派遣され、今は内科の一員として働いています。もしかすると、既にお会いした事のある方もいるかもしれませんね。

「小原」という姓は「おばら」などと読む場合もありますが、私は「おはら」と読みます。倉吉地域には「おはら」読みの小原さんが多いようで、自己紹介をすると「倉吉の方ですか？」とよくきかれますが、私の出身は長野県の塩尻という所です。隣の松本市に「おはら」読みの小原さんが多い集落があり、元をたどるとそこに行きつくようです。(ちなみに、わかる範囲で調べましたが、どうやら私の先祖と鳥取には関連はないようです。)

塩尻は古くから交通の要衝であり、現在も中央東線(東京方面)・中央西線(名古屋方面)・篠ノ井線(長野市方面)の結節点になっています。耕作に不向きな土地だった様で、江戸期は稲作に苦勞をしましたが、明治時代にブドウ栽培が始まったことでワインが作られる様になりました。市内にある広丘小学校(私の出身小学校です)は歴史が古く、島木赤彦ら俳人が明治~大正期に校長として赴任しました。今でも広丘地区には短歌にちなんだ場所が数多くあります。

将来的には総合診療医/家庭医として病気だけでなく、患者さんや地域の困りごとに幅広く相談に乗れる様になりたい、と思っています。まだまだ未熟な所は多々ありますが、精一杯頑張ろうと思っています。ぜひ温かい目で応援して頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。



日本アルプス観光連盟ホームページより
塩尻市奈良井宿の古民家群



塩尻市観光ガイドホームページより
塩尻駅の3・4番線のホームにあるぶどう棚

新任医師紹介

初めまして、今年度から日野病院で勤務しております、内科医師の加藤と申します。自治医科大学出身で、今年で医師7年目となります。日南病院でも2年間勤務しておりましたので、もしかしたら顔なじみの方もおられるかもしれません。昨年度は鳥大病院の感染症内科で勤務しており、新型コロナウイルス感染症を中心に研修をしておりました。昨年度までの経験を、日野病院に還元できるように勤務させていただきますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



内科医師
かとう ひろゆき
加藤 弘之

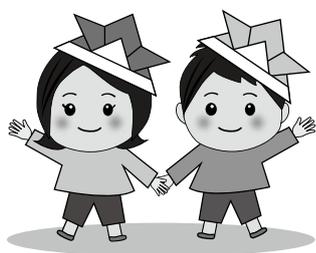
診察日
金曜日（午前中）
火・木曜日（午後）

4月より赴任いたしました。米子市出身自治医科大学を卒業して9年目になります。外来や検診、検査室でお待ちしています。住民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



内科医師
ひらい みかこ
平井 実佳子

診察日
火曜日（午前中）
水曜日（午後）



日野病院の皆様、初めまして。今年度から日野病院で勤務させていただきます。内科の竹本和弘と申します。出身は米子市で鳥取大学出身のため、ずっと鳥取県内の在住です。日野町での勤務は初めてですが、小学生のころにはホテルを見に来たことや、引越した友達の家がこちらの方で何度か来たことがあり懐かしい気持ちもあります。この度は地域医療に携わる機会をいただき、ありがたく思っています。良い医療を提供できるように精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



内科医師
たけもと かずひろ
竹本 和弘

診察日
水曜日（午前中）
月曜日（午後）



地域の皆様の
健康を支えたい。

日野病院のCMが映画館で
放映されます

令和5年5月19日(金)から1年間、MOVIX日吉津で放映される全ての映画の前に、日野病院のCM（「マーシャルメッセージ」）が放映されます。MOVIX日吉津で映画を観られる際は、当院のCMにもぜひご注目ください。



日野病院組合 日野病院

看護師募集

日野病院組合 検索

令和5年度

新規採用職員紹介



看護局長
こんどう
近藤
ひとこ
仁子

私はこの4月に鳥取医学部附属病院より着任致しました近藤仁子と申します。出身は島根県雲南市の掛合町です。ここへ来た時真っ先に感じた事といえば、当病院から見える絶え間なく流れる日野川の景色が幼少期にいつも遊んでいた風景に似ており、懐かしさもあり穏やかな気持ちになれることに気づきました。今の環境下で働けることとなり大変嬉しく思います。

鳥取大学医療技術短期大学部を卒業し、平成元年に鳥大病院に就職し三十五年が経ちました。鳥大病院では、看護師長として十七年間勤務してまいりました。この度、看護局長という大役を仰せつかることとなり、身の引き締まる思いでおりますとともに、このような貴重な機会を与えてくださった皆様方に心より深く感謝しております。日々スタッフの皆様に優しく声をかけていただき、アットホームな雰囲気や癒され、助けられております。最後に、地域医療については、わからないことばかりですが、皆様に教えていただきながら、微力ではございますが今までの経験を活かし、皆様や当病院のお役に立てるように頑張りますので宜しくお願い致します。



看護師
わたなべ
渡邊
ゆきの
雪乃

患者様に優しく寄り添える看護師になれるよう、これまで学んできた優しさのある看護や先輩からの学びを最大限に生かして実践していきます。明るく一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



看護師
きむら
木村
こうすけ
光佑

はじめまして。この度、日野病院で看護師として働かせていただくことになりました。木村光佑と申します。

優しいだけでなく頼れる看護師を目指して、先輩方から沢山学び、患者さんに寄り添えるよう努めます。よろしくお願いいたします。



事務職員
きくち
吉川
だいち
大地

4月から事務職員として採用されました。吉川大地と申します。新しい環境で、今までの経験を生かしつつ日々成長していけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

〈編集後記〉

今年花の開花が早く、例年のように入学式頃に桜とはなりませんでしたが、藤も4月に開花しうす紫で山を彩っています。

日野病院の正面玄関前には、芝桜が見事に開花をしました。事務職員二人の地道な努力の甲斐があつて、満開の芝桜を愛でることができました。

新年度がスタートし忙しい日々ですが、花を見ると日々の喧騒を忘れ安心できます。

花はいいなあ・・・花になりたいなあ・・・

あ、花瓶に入らないかも

(日野小町)

連絡先



日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地

TEL 0859-72-0351

FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地

TEL 0859-74-0351

FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部652番地1

TEL 0859-62-0351

FAX 0859-62-0351

切り取り線

日野病院 外来診療案内

R.5.5 ~

午前 午後 休診

診療科	受付	月	火	水	木	金	
内科	1 診	午前	笠原 (循環器内科)	平井	細田 (第1・3週) 阿武※1 (第2・4週)	笠原 (循環器内科)	加藤
		午後			阿武※1 (第2・4週)		
	2 診	午前	孝田 (兼肝臓内科)	孝田	枝野 (消化器内科)	田尻※1	小原
		午後					小原
	3 診	午前	李	谷口(第1・3週) 小原(第2・4・5週)	竹本	北浦 (兼呼吸器内科)	今村 (大学医師)
		午後	竹本	加藤	平井		
総合診療科 (外科第2診療室)	午前	中井 (初診)	中井 (初診)	李 (初診)	孫 (初診)		
	午後				加藤		
	午前				中井		
外科	午前	大学医師	佐藤	大学医師	大学医師	佐藤	
整形外科	午前	百田	百田	柳楽 (大学医師)	百田	百田	
眼科	午前	井上	井上	井上	井上	春木 (大学医師)	
小児科	午前		大学医師	大学医師		大学医師	
	午後		大学医師	大学医師		大学医師	

専門診療科 (大学医師他)	受付	午前				
		肝臓内科 孝田	皮膚科 大学医師	消化器内科 枝野	呼吸器内科 北浦	
		循環器内科 笠原	女性診療科 秦	糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1	循環器内科 笠原	
		脳神経外科 大学医師(第1・3週)		血液内科 細田(第1・3週)	脳神経内科 田尻※1	
		泌尿器科 小山			泌尿器科 引田	
					耳鼻咽喉科 大学医師	
	午後	喫煙外来 李※1	心臓外科 吉川(第1・3週)	糖尿病外来 阿武(第2・4週)※1		心療内科 林
			ペースメーカー外来 吉川(偶数月第3週)	血管外科 大学医師(第2・4週)		

消化器検査 ドック検査	受付	午前				
		平井	佐々木 竹本	加藤 佐々木 竹本	消化器内科医(大学) 佐々木 小原 平井	加藤 佐々木
	午後	平井		消化器内科医(大学) 竹本		平井

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前 = 7時30分~10時30分
 - 午後 = 正午~15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
 - 午後 = 正午~16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前 = 8時30分~
 - 午後 = 14時~
- 診療開始時間
- 午前 = 9時~
 - 午後 = 14時~
- 休診日
- 土曜日・日曜日・祝祭日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日~1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時~16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

- 新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
- 予約日(時間)変更
- <内科> 72-2721
 - <血液内科> 72-2721
 - <消化器内科> 72-2721
 - <禁煙外来> 72-2721
 - <呼吸器内科> 72-2721
 - <脳神経内科> 72-2721
 - <糖尿病外来> 72-2721
 - <外科> 72-2719
 - <整形外科> 72-2720
 - <皮膚科> 72-2720
 - <泌尿器科> 72-2720
 - <耳鼻咽喉科> 72-2720

※1 糖尿病外来・脳神経内科・禁煙外来は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時~16時に内科外来(72-2721)にご相談ください。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

(受付時間は、7時30分から10時30分まで) (R.5.5月~)

診察科目	月	火	水	木	金	
内科	1 診	笠原	平井	細田(第1・3週) 阿武(第2・4週)	笠原	加藤
	2 診	孝田	孝田	枝野	(脳内)	小原
	3 診	李	谷口・小原	竹本	北浦	今村(大学)
	総合診療科	中井(初診)	中井(初診)	李(初診)	孫(初診)	
	外科第2診療室				中井	
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤	
整形外科	百田	百田	柳楽(大学)	百田	百田	
眼科	井上	井上	井上	井上	春木(大学)	
小児科		(大学)	(大学)		(大学)	
専門診療科	肝臓内科	皮膚科	消化器内科	呼吸器内科		
	循環器内科	女性診療科	糖尿病外来(第2・4週)※1	循環器内科		
	脳神経外科(第1・3週)		血液内科(第1・3週)	脳神経内科		
	泌尿器科			泌尿器科		
耳鼻咽喉科				耳鼻咽喉科		

午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)

診察科目	月	火	水	木	金
内科	竹本	加藤	平井	加藤	小原
小児科		(大学)	(大学)		(大学)
専門診療科	禁煙外来※1	心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※	消化器内科		心療内科
			糖尿病外来(第2・4週)※1		

● 医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。(切り取って財布等に入れご利用ください)

切り取り線

せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <https://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089

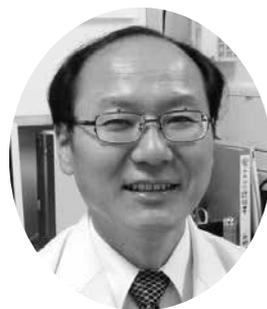


4年ぶりに 根雨まつりに参加



総務大臣表彰を受賞して

そして新たなスタート



日野病院 病院長
孝田 雅彦

日野病院は令和5年度自治

体立優良病院総務大臣表彰を

受賞しました。昨年の自治体

立優良病院両会長賞に続き、

さらに高い評価を受けることができたことは職員一同にとつて大変名誉なことです。これは日頃から当院をかかりつけ病院としてご利用いただいている患者の皆さん、そして日野町、江府町、伯耆町の役場さらに日南町を含めた地域の医療、福祉関連の皆さんのおかげと感謝申し上げます。受賞の詳細につきましては受賞記念冊子を制作し、配布しておりますのでご一読いただければ幸いです。

今回の受賞は野田の地に新たな病院が建てられて23年という節目になることを意味します。堀江裕先生、濱副隆一先生、櫃田豊先生、最後に私を含む4代の病院長の努力、景山亨弘前管理者、塔田淳一現管理者のサポート、全職員の献身の賜です。しかしながら、この受賞は単なる一つの到達点にすぎません。ますます厳しくなる医療環境の中で新たなスタートを切らなければなりません。今までの手

法をそのまま続けるだけでは時代の変化に適応していくことは難しいでしょう。職員全員が昨日よりも今日が今日よりも明日が少しずつでも改善し続けるために知力と体力を駆使して前進することが求められます。授賞式後の懇親会で他の受賞病院の院長とお話する機会がありました。皆さんは次何をするべきかを模索している姿勢が感じられました。病院の存続は生物の生存競争と同じで、単に強いものが生き残るのではなく、変化に適応できるものが生き残るのです。当院はこれからもさまざまな試みを行っていきます。失敗することもあるかもしれませんが、失敗は成功への一歩と捉えていきます。住民、患者の皆さんにはぜひ温かい目で見守っていただき、十分な点に気がつかれましたら応援のご意見をいただければありがたいと思います。日野病院はこれまでそうであったように、この地域の住民の皆さんの支援によって、皆さんのために、皆さんとともに良い医療を提供していききたいと思います。



日野といわれても



日野病院名誉病院長 井上 幸次

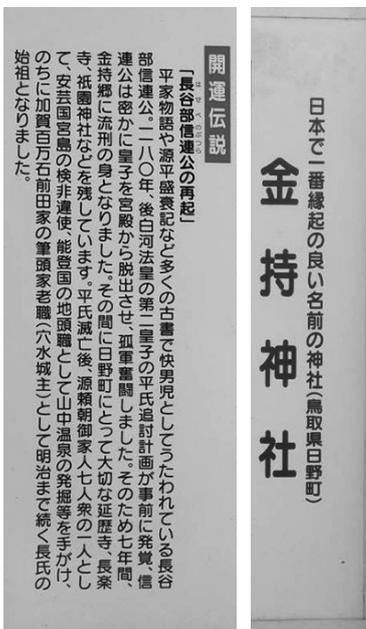
「日野病院の井上です」ということにだいぶ慣れてきましたが、時々というかしばしば相手の反応に「？」が混じるようです。「鳥取大学の井上です」といっていた頃にはそれはあまりなかったかな。関東の人は、鳥取県と島根県が区別できない人も多いのですが、それでも何となくあのあたりくらいのイメージはつきます。ところが日野病院ではさっぱりわからないようです。実は日野というのはひじょうによくある地名で、東京にも日野市があって、人口も米子市より多いらしいし、新選組の土方歳三はその出身らしいし、だいぶ負けています。関東の人は日野と言われるとやっぱりこちらを思い浮かべるようで、無理もないとは思いますが。滋賀県にも日野町があって、京都に近いですし、関西の人はこちらが浮かぶのかもしれませんが。ややこしいことに米子市の中にも日野町があるので、市の中の町名まで言うと日本中にもっとたくさんの日野がありそうです。

地名によらず、日野はよくある固有名詞で、あちこちで耳にすることがあります。日野自動車という大型トラック製造会社が排ガスや燃費の試験で不正を行っていたことが昨年発覚した時は（関係ないのに）何となく肩身の狭い気分になってしまいました。有名なジャズトランペッターの日野皓正とかは（関係ないですが）少し嬉しく思いますし、時代をさかのぼると、浄土真宗の宗祖の親鸞（今年生誕850年でいろいろな催しがされています）は日野という姓だったようで、これはよかったです（ますます関係ないですが）。

時代をさかのぼるということで、話が突然飛びますが、最近たまたま「平家物語」をちゃんと読みました（といっても原語ではなく現代語訳で。訳者の古川日出男という人の文章がリズムカルで好きなので読んだのですが）。「平家物語」というと戦記物というイメージで、合戦のことが書いてあると思っていたのですが、最初の方は平清盛がいかにひどいことをしていたかということが延々と書いてあって、戦いの場面はまったくありません。三分の一近くなってようやく以仁王（もちひとおう）の乱という、源平合戦のはじまりの所が出てきますが、そこで以仁王を逃がすために大勢の敵を相手に孤軍奮闘する武将が出てきます。この人が結構かっこよくて、平家物語の最初の（そして私見を言えば

最高の）アクションシーンが展開します。しかし、以仁王の乱は失敗に終わり、この武将長谷部信連（のぶつら）も平家に捕らわれてしまいます。本来なら斬首に処せられてしかるべきだったのですが、敵ながらあつぱれということで、流罪に処せられます。その流される先が何と「日野」だったのです。ですが、日野はあちこちにあるので本当にうちの「日野」かな？と心配になって、実は原文を確かめてみたのですが、「伯耆の日野へぞ流されける」とはつきりと書いてありました。うちの「日野」は平家物語にも書かれている由緒ある日野である（流刑地ではありませんが）と誇らしい気持ちになり、ちょっと東京の日野に勝ったような気分になりました。

実は、そのあとで金持神社に行ったら、ちゃんとその説明書きにこのことが書いてありました（図）ので、平家物語に出てくる日野に間違いありません。日野に長く住んでいた人にはよく知られたことなのかもしれませんが、まったく予期せぬ所で日野に出会えた私としては、少しまた日野に対する親近感が湧いたように思います。





祝 総務大臣表彰受賞



尾身朝子総務副大臣（右）から
表彰楯を受け取る孝田病院長



この度、日野病院は、地方自治体が運営する病院で地域医療の確保に重要な役割を果たしており、かつ、経営の健全化が確保されている病院を表彰する「令和5年度自治体立優良病院 総務大臣表彰を受賞しました。

今回の受賞は、「安定的な経営」、「訪問診察、訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援などの先進的な在宅医療の実施」、「救急医療への対応」、「新型コロナウイルス感染症対応」など地域に根付く自治体病院本来の役割を担ってきたことが評価されたものです。これは、地域住民の皆さまが利用を通じて日野病院を育てていただいたことと、孝田院長をはじめ全職員がたゆまぬ努力を続けてこられた成果であり病院管理者としても誇りに思っております。

また、医師、看護師を確保することによる安定した診療体制や、長年黒字化を達成するまでになった経営改善の取り組みなど「縁の下の力持ち」として支えていただいた事務方の職員の尽力についても、あらためて敬意を表すものでございます。

今後も、職員とともに努力を続けていき、地域医療を確保することにより、住民の皆さまが安心して住み続けられる体制を整えていきたいと思っております。

日野病院組合管理者 塔田 淳一



2023年度の総務大臣表彰を日野病院組合「日野病院」が全国5病院と共に堂々と受賞されたことを「せせらぎ」誌上で皆さんにお伝え出来ることをここから喜びとするところであります。

「せせらぎ」は平成11年10月に当時の日野町長生田秀正さんと共に私も発刊号を飾らせていただいた記念すべき病院報です。奥日野に源に発する日野川の悠久の流れは、日野郡内を潤して日本海に注ぎ過去も現在も将来も流れ続けるはずです。この日野川の分水嶺をこよなく愛されたのは元国鉄第3代総裁の高本文雄様で、特急「やくも」からの景色が日本一だと楽しみにして乗車されたというのは有名な話です。

私は歴史と伝統ある日野郡地域基幹病院である日野病院の美風が孝田雅彦先生の独特の病院哲学を生んだものと確信します。

それは「かかりつけ病院を大切にしておいて高齢化社会であるからこそ20代から50代の患者さんにフォーカスを合わせる」という哲学です。この哲学が総務大臣表彰によって日野川のせせらぎの如く山陰の地域病院だけでなく全国の数ある病院に遼原の火の如く広がりますことを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

島根県済生会江津総合病院 名誉院長（元 日野病院長） **堀江 裕**



孝田院長先生を始め職員の皆さま、また、構成町の関係者の皆さま、総務大臣表彰受賞おめでとうございます。皆さまの経営努力と地域医療への貢献が全国レベルで評価されたとのことで、心からお祝い申し上げます。

振り返れば、日野病院は昭和15年の開院以来、幾度となく存亡の危機に見舞われて来ました。今日の栄冠は、それらを乗り越えるために奮闘した先人たちの努力にも報いるものであり、かつてその1人であった私にとっては本当に嬉しい限りです。

今後、人口減少、少子高齢化など地域課題はますます深刻度を増し、医療人材の確保もますます難しくなると思われます。なお一層努力していただき、健全な経営のもと地域の医療・福祉の支え手としての役割を果たし続けていただきたいと思います。

社会医療法人同愛会 ふくよね博愛クリニック院長（前 日野病院長） **櫃田 豊**

すまいる互版

<連絡先>【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション
0859-72-2706

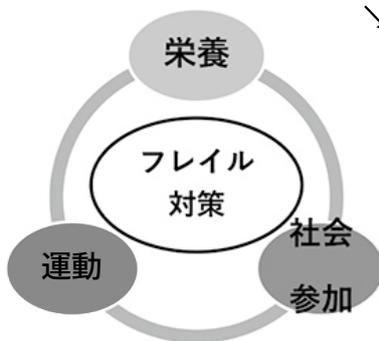
☆居宅介護支援事業所
0859-72-2723

フレイルとは…

皆さん、「フレイル」という言葉をご存じでしょうか。フレイルとは、病気ではないけれど、年齢とともに筋力や活動性が低下し要介護状態になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。これらの原因は大きく分けると栄養不足・運動不足・社会参加の



不足の3つとなります。そのため、フレイル対策の「3つの柱」は、



「栄養（食・口腔）」「運動」「社会参加」となります。この「3つの柱」を参考に、バランスよく取り組むことが重要です。3つとも重要ですが、「社会とのつながり」を失うことがフレイルの最初の入口です。早い方だと65歳でフレイルになる場合もありますので、積極的に「社会参加」に取り組みましょう。



エンシュアレシピ~ちょこっとひと手間でさらに美味しく~



食事が思うようにとれない方で、その補助としてエンシュアが処方になっている方はありませんか？ そのままではなかなか飲みにくいという方にちょっとひと手間で美味しくなる方法をご紹介します。

♡エンシュアアイスクリーム♡

- 【材料】
- ◇エンシュア（バニラ味）…125ml（半分程度）
 - ◇生クリーム…50cc
 - ◇ヨーグルトソース（ブルーベリー味など）…適量

- 【作り方】
- 1 エンシュアと生クリームをミキサーにかけて混ぜ、タッパーに入れる。
 - 2 1に市販のヨーグルトソースを入れる。
 - 3 2を冷凍庫に入れ完全に凍るまで数回スプーンで混ぜて出来上がり。

＜補足＞ 3で混ぜる工程が多いとよりふんわり仕上がります。



♪エンシュアプリン♪

- 【材料】
- ◇エンシュア…125ml（半分程度）
（コーヒー味など。お好みの味をご使用ください）
 - ◇ゼラチン…1g程度（ゼラチンにより適宜調整可）
 - ◇砂糖…お好みに合わせて
 - ※プリン容器…100均などで購入可ですが何でもOK

- 【作り方】
- 1 エンシュアを耐熱容器に入れて、電子レンジ500Wで1分間加熱する。
 - 2 加熱した1にゼラチンを加えよく混ぜる。
 - 3 粗熱が取れたら蓋をして冷蔵庫で冷やし、固まれば完成。
- ＜補足＞ 容器に入れる際、濾すときれいに仕上がります。



研修医の先生が

訪問リハビリに同行されました。



研修医 藤野雄大



今回、人生初となる訪問リハビリテーションの見学を終え、訪問という形でのリハビリがいかにか患者さん目線でなおかつ病態に合わせたものであるかを痛感しました。患者さん自身もリハビリをすると調子が良いようで訪問に来られるのを楽しみにしておられるようでした。住み慣れた家の中、ゆったりとした雰囲気の中で行われていくリハビリは病院の白い壁の中で行われるものとは一味も二味も違うようで地域に根差した医療の在り方の神髄を垣間見たような気がいたしました。訪問リハビリに携わるスタッフの皆様、この度は大変お世話になりました。

※日野病院では中山間地における地域医療の拠点病院として、研修医の地域医療実習や、医学生、看護学生、リハビリ学生を受入を積極的に行っています。つきましては訪問看護や訪問リハビリを利用して頂いている利用者様にはご協力をお願いすることがあるかと存じますが、ご理解のほど、なにとぞよろしくお願い致します。

在宅介護支援スタッフ一同

熱中症だけじゃない？夏の病気

皆さんこんにちは、総合診療科の中井です。まだまだ残暑が続く毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？テレビなどでは熱中症については大きく取り上げられていますので、今回は、熱中症「以外」の夏の病気についてお話しします。

まず「夏バテ」です。「食欲がない」「だるい」「疲れやすい」「寝不足」などといった、夏の暑さによる症状をざっくりとまとめたもので、厚さや寒さで自律神経が乱れることが原因のひとつです。クーラーを使わないのは非常に危険ですが冷やしすぎないようにして、しっかり寝て、しっかり食べて、自律神経を整えていきましょう。特にお年寄りもしっかり食べられるものを食べて下さい。まれにほかの病気が隠れている人もいますので、なかなか良くなる方はいつでも相談ください。

またテレビの熱中症対策で「塩分摂取」がお勧めされていますが、特に高血圧・心臓病・腎臓病の方は塩分のとりすぎにも注意してください。すごく汗をかいたときは清涼飲料水などを飲んでもいいかもしれませんが、多くの人は麺類や漬物など、食事から十分に塩分をとっているため、お茶やお水でも十分です。また心不全・腎不全で塩分制限がある方が塩分を取りすぎると、水分がたまってむくみやすくなります。

糖尿病の方に特に気をつけていただきたいのは「ペットボトル症候群」です。「のどが渴いた」からといって、甘いジュースや清涼飲料水を飲みすぎると、血糖が高くなりおしっこがいっぱい出て、よけいに脱水になります。飲みすぎるとさらに悪循環になり、血糖が通常の何倍にもなり、脱水で動けなくなり入院になりかねません。糖尿病の方は、特に夏場は甘い飲み物をひかえて下さい。

以上、夏の病気について簡単に紹介しました。テレビなどの情報も参考にしつつ、病院に通っている方は、主治医の先生にもぜひ相談してみてください。





令和4年度決算のご報告



去る8月28日に開催された日野病院組合議会において令和4年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院事業では、前年度と比べ、入院患者数は減少しましたが、外来患者数は増加しました。診療単価は、入院・外来ともに増加しました。また、医業収益は減少しましたが、医業外収益が増加したため、収益全体で増収となりました。在宅介護支援事業の介護サービス収益については、訪問看護・訪問リハビリは増加しましたが、居宅支援収益が減少したため、減収となりました。診療所事業の医業収益は、診療単価は増加しましたが、患者数が減少したため、減収となりました。一方費用ですが、給与費、材料費、経費、減価償却費等の増により増加しました。全体の決算額は、146,338千円の黒字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

(単位：千円)

区分	3年度	4年度	増減	備考	
収益	医業収益	1,440,662	1,437,413	△3,249	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	73,518	71,261	△2,257	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	564,261	599,511	35,250	負担金交付金、補助金、長期前受金戻入等
	収益合計	2,078,441	2,108,185	29,744	
費用	医業・介護費用	1,893,009	1,929,907	36,898	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	34,966	31,940	△3,026	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,927,975	1,961,847	33,872	
決算額	150,466	146,338	△4,128		

資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		((流動負債等 - 控除引当金) - 流動資産) / 営業収益 × 100
資金不足負担金発生までの額	913,610	1,066,402	152,792	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	357,635	313,545	△44,090	引当額73,491千円 退職金支払額117,581千円 (17名)

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1.病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（%）		
	3年度	4年度	増減	3年度	4年度	増減	3年度	4年度	増減
(1) 入院診療	30,385	28,704	△ 1,681	31,348	32,132	784	84.1	79.4	△ 4.7
(2) 外来診療	35,843	37,599	1,756	10,684	11,054	370			

2.在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	3年度	4年度	増減	3年度	4年度	増減
(1) 訪問看護等	6,364	6,805	441	11,550	10,464	△ 1,086

3.診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	3年度	4年度	増減	3年度	4年度	増減
(1) 黒坂診療所	462	393	△ 69	3,737	3,867	130
(2) 二部診療所	62	99	37	4,543	4,426	△ 117



○ 部門別各種統計（抜粋） （単位：件または人）

1. 病院事業

手術件数	3年度	4年度	差引
外科	63	72	9
整形外科	120	56	△ 64
眼科	58	82	24

内視鏡検査	3年度	4年度	差引
胃カメラ	884	960	76
大腸ファイバー	165	183	18
嚥下カメラ	0	0	0
気管支鏡	0	1	1
胃ろう造設術	5	10	5
膀胱鏡	17	24	7

超音波診断検査	3年度	4年度	差引
腹部エコー	1,241	1,165	△ 76
心エコー	419	402	△ 17

薬局状況	3年度	4年度	差引
服薬指導(人数)	348	290	△ 58
服薬指導(件数)	727	550	△ 177
処方箋枚数	12,347	12,244	△ 103
薬剤数	38,383	38,218	△ 165
注射箋枚数	13,965	13,742	△ 223



栄養管理室状況	3年度	4年度	差引
入院時食事療養件数	69,647	66,250	△ 3,397
外来透析食数	390	422	32
栄養指導	689	661	△ 28

検査室状況	3年度	4年度	差引
血液検査	27,556	27,060	△ 496
尿検査	6,058	6,409	351
P C R	1,583	5,605	4,022
心電図	2,120	2,132	12
呼吸機能	416	400	△ 16
眼底カメラ	318	365	47
脳波	12	7	△ 5
血圧脈波	251	295	44

放射線室状況	3年度	4年度	差引
一般撮影	5,646	5,646	0
骨塩定量	754	754	0
マンモ撮影	11	11	0
C T 検査	2,305	2,305	0
M R I 検査	1,347	1,347	0

人工透析状況	3年度	4年度	差引
実人員	210	180	△ 30
延べ人員	2,391	2,117	△ 274

理学療法状況	3年度	4年度	差引
運動器 I	8,822	8,765	△ 57
呼吸器 I	4,062	3,446	△ 616
脳血管 II	5,184	5,109	△ 75
退院時(前)指導	523	462	△ 61
消炎鎮痛	181	210	29
地域包括ケア病床分	14,642	12,623	△ 2,019

作業療法状況	3年度	4年度	差引
運動器 I	859	1,800	941
呼吸器 I	296	683	387
脳血管 II	1,323	2,112	789
地域包括ケア病床分	2,285	2,990	705

言語聴覚療法状況	3年度	4年度	差引
呼吸器 I	1,812	1,548	△ 264
脳血管 II	1,960	2,100	140
摂食機能療法	1,648	1,668	20
地域包括ケア病床分	2	0	△ 2

検診実施状況	3年度	4年度	差引
人間ドック	264	272	8
脳ドック	44	67	23
生活習慣病健診	179	186	7
婦人検診	76	69	△ 7
予防接種	2,142	2,157	15
特定健診	6	5	△ 1
事業所健診	60	68	8

2. 在宅介護支援事業

訪問看護状況	3年度	4年度	差引
実人員	612	663	51
延べ人員	1,762	1,856	94

訪問リハビリ	3年度	4年度	差引
実人員	871	937	66
延べ人員	4,602	4,943	341

居宅支援	3年度	4年度	差引
介護	983	809	△ 174
予防	494	435	△ 59

日野病院アウトソーシング (外部委託)

日野病院勤務の外部委託の皆さんです。
病院スタッフとして支えてくださっています。いつもありがとうございます。

セコムジャスティック山陰株式会社



土日、祝日、夜間帯の警備や急患受付を
してくださっています。

サンクリーン株式会社



病院内外をきれいに清掃してくださっ
ています。

株式会社メフォス



入院患者さんの食事を、愛情込めて作っ
てくださっています。

鳥取県薬剤師会



外来の院外処方箋を、各薬局にFAXし
てくださっています。

ハイマートタッチYショップ日野病院売店



売店と食堂があります。新鮮野菜や美味しい惣
菜も販売してくださっています。普段、買い物へ
出かける機会がない方も、病院受診の際にご利用
ください。

営業時間：【平日】 売店 8:00~13:30
14:30~17:00
食堂 8:30~13:30

Hino's Kitchen



～ナスとトマトのミルフィーユ蒸し～

347Kcal , Sodium : 1.6g (2人分)

材料 (2人前)

ナス	1本	★つけダレ	砂糖	小さじ2
トマト	1個		醤油	小さじ1
豚バラ肉	60g		味噌	小さじ1
カイワレ	1/3株		すりごま	小さじ1
			牛乳	大さじ1
			(ラー油 適量)	



1. ナスを5mm程度の薄さに斜めに切る。トマトも5mm程度の薄さに切る。
2. 豚バラ肉を5cm程度の長さに切る。
3. 皿にナス・豚肉・トマト・豚肉の順番に少しずつずらして重ねながら円状に並べていく。
4. 並べたらラップをかけて500-600Wで5分間加熱する。
※加熱時間は電子レンジによって調整。
5. ★の材料を混ぜ合わせてつけダレを作る。
6. 加熱が終わったらカイワレをのせて完成。

※豚バラ肉以外の薄切り肉でも美味しく作れます。電子レンジだけで簡単に作れ、蒸すことで野菜の栄養を逃さず食べられます♪

ダレはかけずにつけて食べる事で、減塩につながります！

日野病院のホームページ→ [chひの](#) からレシピ動画も見れます。

連絡先



日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部652番地1
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351

切り取り線

〈編集後記〉

暑いと寒いのはどっちがいいですか？
私は寒い方がいいです。
なぜ？
寒ければ色々と着込めばいいけど、暑ければ職業柄脱ぐわけにもいかず・・・
脱いだところで、脂肪の厚さと気温の暑さでやはり暑いからです。
なんでこんなに毎日毎日暑いのだ！！と
と、つい熱くなってしまうました。
今年の夏は、鳥取県が全国一番の猛暑日になった日がありました。
今回は、「あつ」ばかりを集めて書いた編集後記になりましたが、彼序を過ぎれば涼しい秋風が吹くことを期待し、皆さんの健康をお祈り申し上げます。
ちなみに私は人情にも篤いですよ。(日野の小町)

日野病院 外来診療案内

R.5.9 ~

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	1 診	午前	笠原 (循環器内科)	平井	細田 (第1・3週) 阿武※1 (第2・4週)	笠原 (循環器内科)	加藤
		午後			阿武※1 (第2・4週)		
	2 診	午前	孝田 (兼肝臓内科)	孝田	枝野 (消化器内科)	田尻※1	小原
		午後					小原
	3 診	午前	李	谷口(第1・3週) 小原(第2・4・5週)	竹本	北浦 (兼呼吸器内科)	今村 (大学医師)
		午後	竹本	加藤	平井		
総合診療科 (外科第2診療室)	午前	中井 (初診)	中井 (初診)	李 (初診)	孫 (初診)		
	午後				加藤		
	午前				中井		
外科		大学医師	佐藤	大学医師	大学医師	佐藤	
整形外科	午前	百田	百田	柳楽 (大学医師)	百田	百田	
眼科	午前	井上	井上	井上	井上	春木 (大学医師)	
小児科	午前		大学医師	大学医師		大学医師	
	午後		大学医師	大学医師		大学医師	

専門診療科 (大学医師他)		午前	午後
肝臓内科	孝田	皮膚科	大学医師
循環器内科	笠原	女性診療科	秦
脳神経外科	大学医師(第1・3週)	糖尿病外来	阿武(第2・4週)※1
泌尿器科	小山	血液内科	細田(第1・3週)
		脳神経内科	田尻※1
		泌尿器科	引田
		耳鼻咽喉科	大学医師
		喫煙外来	李※1
		心臓外科	吉川(第1・3週)
		ペースメーカー外来	吉川(偶数月第3週)
		糖尿病外来	阿武(第2・4週)※1
		血管外科	大学医師(第2・4週)
			心療内科
			林

消化器検査 ドック検査	午前	午後
	平井 佐々木 竹本	加藤 佐々木 竹本
	平井	消化器内科医(大学) 佐々木 小平 竹本
		消化器内科医(大学) 竹本
		加藤 佐々木
		佐々木 竹本
		平井

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前 = 7時30分~10時30分
 - 午後 = 正午~15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
 - 午後 = 正午~16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前 = 8時30分~
 - 午後 = 14時~
- 診療開始時間
- 午前 = 9時~
 - 午後 = 14時~
- 休診日
- 土曜日・日曜日・祝祭日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日~1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時~16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

- 新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
- 予約日(時間)変更
- <内科> 72-2721
 - <血液内科> 72-2721
 - <消化器内科> 72-2721
 - <禁煙外来> 72-2721
 - <呼吸器内科> 72-2721
 - <脳神経内科> 72-2721
 - <糖尿病外来> 72-2721
 - <外科> 72-2719
 - <整形外科> 72-2720
 - <皮膚科> 72-2720
 - <泌尿器科> 72-2720
 - <耳鼻咽喉科> 72-2720

※1 糖尿病外来・脳神経内科・禁煙外来は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時~16時に内科外来(72-2721)にご相談ください。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

(受付時間は、7時30分から10時30分まで) (R.5.9月~)

診察科目	月	火	水	木	金	
内科	1 診	笠原	平井	細田(第1・3週) 阿武(第2・4週)	笠原	加藤
	2 診	孝田	孝田	枝野	(脳内)	小原
	3 診	李	谷口・小原	竹本	北浦	今村(大学)
	総合診療科	中井(初診)	中井(初診)	李(初診)	孫(初診)	
	外科第2診療室				中井	
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤	
整形外科	百田	百田	柳楽(大学)	百田	百田	
眼科	井上	井上	井上	井上	春木(大学)	
小児科		(大学)	(大学)		(大学)	
専門診療科	肝臓内科	皮膚科	消化器内科	呼吸器内科		
	循環器内科	女性診療科	糖尿病外来(第2・4週)※1	循環器内科		
	脳神経外科(第1・3週)		血液内科(第1・3週)	脳神経内科		
	泌尿器科			泌尿器科		
				耳鼻咽喉科		

午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)

診察科目	月	火	水	木	金
内科	竹本	加藤	平井	加藤	小原
小児科		(大学)	(大学)		(大学)
専門診療科	禁煙外来※1	心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※	消化器内科		心療内科
			糖尿病外来(第2・4週)※1		

● 医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。(切り取って財布等に入れご利用ください)

せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



新年のごあいさつ



日野病院組合管理者
塔田 淳一

あけましておめでとう
ございます。皆様方にお
かれましては、新春を
晴々しい気持ちでお迎え
のこととお喜び申し上げ
ます。

日野病院のこの1年間
を振り返りますと、小児
科医が退職されたため4
月からの病児病後児保育
園が円滑に運営できるか
の瀬戸際でしたが、4名
の若い先生方が率先して
取り組んでいただくこと
となり、地域の希望を叶
えていただきました。引
き続き、常勤の小児科医
の確保に向けて日野郡3
町が連携して取り組むこ
ととし、鳥取大学医学部
や鳥取県に強く要望して
いるところです。

昨年は、誇らしい出来
事もありました。全国自
治体病院開設者協議会及
び公益社団法人全国自治
体病院協議会による自治
体立優良病院総務大臣表

彰を受賞しました。過去
5年間の収支の均衡、高
度・特殊・先駆的医療、
へき地医療の状況が評価
されたものです。職員一
同にとって大変うれしく
名誉なことです。地域の
皆様方のご理解とご利用
があつた賜物です。心よ
り感謝申し上げます。

しかしながら、地域の
医療を取り巻く環境は、
人口減、医療人材確保の
不安定さなど厳しいもの
があります。昨年には、
持続可能な地域医療体制
を確保していくため、
「日野病院経営強化プラ
ン（令和5年・令和9年
度）」を策定し、「身近
なかかりつけ病院、専門
診療科の外來機能を担う、
地域医療の教育病院」の
それぞれの役割を充実さ
せ、更なる経営強化に取
り組んでいきたいと思っ
ています。

今後とも、地域の皆様
方のご支援のもとに、よ
り良い医療が提供できま
すよう職員一丸となって
取り組んでまいります。



新年のごあいさつ



日野病院病院長
孝田雅彦

新年明けましておめでとう

ございます。長い間世の中に蔓延していた新型コロナウイルスは、消滅はしていませんが、その勢いは衰え、徐々に

普通の風邪となつてきているようです。しかし、私を忘れるなどばかりに昨年夏から季節外れと言つてもいいようなインフルエンザの流行がだらだらと続いています。選手交代といったところでしようか。とはいえ、インフルエンザなら慣れた相手、戦い方は皆さんもよく知っています。ほとんどの方がインフルエンザワクチンを毎年欠かさず受けているので免疫力は強化され、抗ウイルス剤も潤沢にあるので迎撃態勢は万全です。後は過信をしないように毎日のうがい、手洗いをしていけば重篤な状態になることはないでしょう。医学がいくら進んでも、人類は感染症と闘い続けなければなりません。

さて、昨年からの電気代、ガソリンなど燃料費の高騰、物価の上昇は、公定価格である医療費を収入源とする病院にとっては大変厳しい経営環境になっています。これまでは多くの患者さんに当院を利用してもらつて、収入の増加を図ってきましたが、人口

減少もあり、それも厳しくなつてきています。今、日本の医療はコロナ後大きな曲がり角に来ていると感じます。従来品と比べてわずかな有効性しかない、あるいは統計学的には差があつても現実には効果を実感できないような高額な新薬がどんどん出て医療費が上昇する一方で、現在も効果が高くて、しかも安価な薬剤が生産されなくなつて手に入らない状態になっています。私が医者になつて以降、今日までこうしたことが日常的に起こるようなことはありませんでした。何が問題なのか、厚労省の薬事行政が原因なのか、市場の自由競争任せにしたことが、いい薬でも儲からなければ製造をやめてしまふ様な結果をもたらしているのでしょうか。いずれにせよこのような歪みは、実際の現場の状況を把握せず、データだけを元に立案した政策に原因があります。2019年9月に公立病院の統合を進めようとした当時の厚労省の姿勢と現場を軽視しているという点では何も変わっていないように思えます。行政の責任が問われていると思います。日野病院は現場にどのようなニーズがあるのか、病院の最も重要な責務は何かを模索しながら、住民、行政(役場)、病院の三者が協力して最善の医療環境を維持したいと考えています。

将来もこの日野郡、日野町に設備の整った病院を維持するため、ぜひ住民の皆さんには日野病院をご利用いただき、ご意見もお寄せいただければ幸いです。

クロード・モネの白内障

日野病院名誉病院長 井上幸次



昨年5月に新型コロナも5類になって、自由に東京などへ行くことができるようになり、秋には学会や会議などで出かける機会が、コロナ前に戻った感じでした。コロナ前は東京に行ったついでによく美術館によつたものでしたが、ようやくそれができるようになり、先日も東京に行ったついでに「上野の森美術館」で開催されていたクロード・モネの展覧会に行ってきました。モネ展は過去に何度も行っていますが、何度行っても飽きるということはなく、いつも心が癒されます。

モネはいわずと知れた印象派の画家で、それまでの写真のようリアルな描き方と違って、描かれた物よりも色と光を伝える描き方をしたことが革新的だったのですが、それでもずっと自分の見たものを描き続けていました。ただ、長生きをしたために、20世紀に入ってから、抽象画が多く描かれるようになってくると、時代遅れのように思われることもあったようです。ところが、1920年頃になると、だんだん何が描いてあるのかわかりにくくなり、見たままではなくて抽象画の流行に合わせてきたのではないかとも思われます。ところが実は、モネは白内障になり、それがだんだんと進んできて、視力がかなり悪くなっていったようなのです。つまりモネは流行に合わせてのではなく、あくまで自分の見たままを描いていたのです。この時期のモネの絵は形がわからないだけでなく、色も暗くなっているのは白内障進行の現れだと（眼科医の私には）思われます。画家にとって、見えなくなっていくのがどんなに恐ろしいことだったかと思うのですが、最終的にいよいよ描けなくなって、記録によると1923年に右眼の白内障の手術を受けたとのこと。そう、ちょうど今から百年前のことです。その頃の白内障の手術は大変で、術後数日間両眼に眼帯をして、寝たままで動けなかったようで、しかも1回ですむことはなく、うまくいかないことも多かったようです。モネも結局右眼だけで3回の手術が必要で、そのたびに体調をくずし、（何しろ繊細な人ですから）精神的にもまいってしまったようなのです。そのため、右眼の手術だけで、もうこりごりということになって、左眼は手術しませんでした。しかもこの時代には眼内レンズなどはもちろんないので、ひじょうに分厚い眼鏡をかけなければならず、それになじむのにも苦労したとのこと。ただ、その手術のおかげで、最晩年に睡蓮の連作を描くことができ、しかも明るい色に戻って、青みはむしろ強くなり、何が描いてあるのかもよくわかるようになったので、やっぱりモネはずっと自分の見たものだけを描き続けていたのだとわかります。白内障手術のおかげで、モネの芸術は蘇り、それを今の我々が見て、楽しむことができるわけですから、この白内障の手術を執刀したCoutelaというドクターには我々も感謝した方がよさそうです。

その後の百年で、白内障手術は長足の進歩を遂げて、眼内レンズも導入され、今や日本で年間150万眼の手術が行われ、高齢者の生活を豊かにすることに役立っています。モネも含めて、昔の患者さんがいかに病気で苦労してきたかを知ると、そのおかげで、それを何とかよくしようと多くの人がさまざまな工夫をしたことで、今の医療技術があるわけですから、昔わずらっていた人達のおかげで今の私たちが助かっているのだということを強く感じます。病気はどれもそうでしょうが、たとえば結核でたくさんの方が若くして亡くなったからこそ、いろいろな治療法や薬が開発されて、今のわたしたちは結核で昔ほどには苦しまなくてよくなっているのですから、患者側も医療者側も含めて昔の人達への感謝を忘れてはいけないなと感じます。

すまいる互版



昨年と同様に
本年もたくさんのお届けを
お待ちしております♪
どうぞよろしく
お願いいたします
スタッフ一同

謹賀新年

<連絡先> 【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション
0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所
0859-72-2723

【新年のごあいさつ】

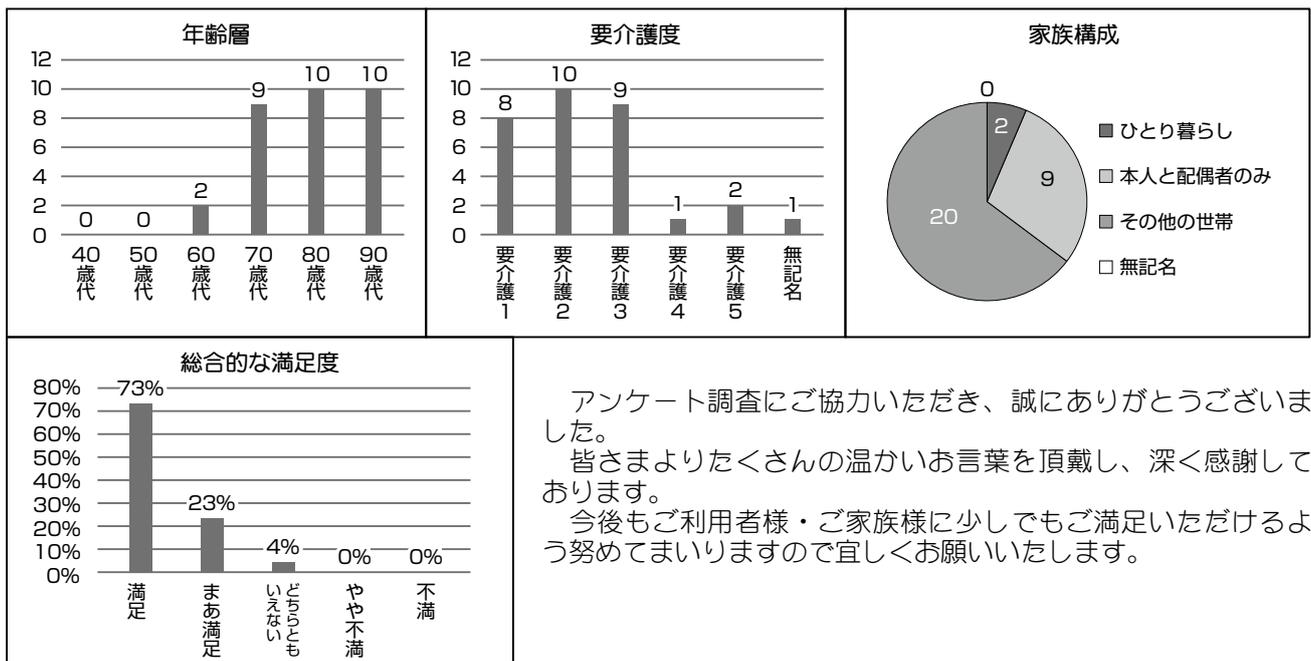


明けましておめでとうございます。在宅介護所長の小原と申します。寒い時期となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

お年寄りは寒い時期になると、外出頻度が減ることで筋力や体力が低下する事が懸念されます。一度体力が低下すると、なかなか元に戻らず、だんだんと出来る事が少なくなっていくことが問題となります。生きがいを保つためにも筋力や体力を保つ事が重要です。屋内で出来る運動として、スクワットやかかと上げ、もも上げといったものがありますので、興味のある方は試してみてください。今年もみなさまにとって良い年となりますよう、スタッフ一同祈っております。

〈居宅介護支援事業所より〉

【令和5年度ケアマネジャー利用者満足度調査結果の報告】



アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
皆さまよりたくさんのお言葉を頂戴し、深く感謝しております。
今後ご利用者様・ご家族様に少しでもご満足いただけるよう努めてまいりますので宜しくお願いいたします。

〈訪問看護ステーションより〉

訪問看護ってなあに？

訪問看護は、看護師のほか理学療法士、言語聴覚士などがご自宅に訪問し、ご本人やご家族の心配事などを伺って療養生活がスムーズにできるように支援したり、健康状態や病状、治療の状況、社会生活への不安などを総合的に判断し必要な看護を行うサービスです。

ちなみに訪問看護と似たような言葉に訪問介護などがありますが、違いは以下のとおりです。

名称	概要
訪問看護	健康悪化の防止・回復を目的に医療関係者が自宅を「訪問」してお世話や治療行為を行う
訪問介護	ホームヘルパーなどが自宅を訪問して、患者さんの日常生活を「サポート」する。サービスに医療行為は含まれない

訪問看護は、すでに介護を受けている人の状況悪化により、ケアマネジャーから患者の主治医に相談してスタートするケースがほとんどです。

また、病気や障害を持ちながら在宅療養する方は、介護保険・医療保険を使用して訪問看護の利用ができます。

「ヒートショック」にご用心！

内科 小原 亘 頭

皆様こんにちは。地域医療学講座の小原です。いよいよ冬本番となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は寒い時期に注意が必要な「ヒートショック」についてお話ししたいと思います。

「ヒートショック」とは、気温の急激な変化により血圧が大きく上下し、そのことで脳出血や脳梗塞、心筋梗塞、大動脈解離といった心臓や血管の病気が起こることを指す言葉です。ヒートショックは気温の変化を感じにくく、動脈硬化が進んでいる65歳以上の方で特にリスクが高いといわれています。



なぜヒートショックになるのかというと、人間の体は寒い空気に触れると、血管が収縮し血圧が上昇します。その状態で暑い空気に触れると、今度は血管が一気に収縮し、血圧が急降下するのです。この時に心臓や脳、大動脈に負荷がかかりやすいことがヒートショックの原因とされています。また東日本より西日本の方が、家屋の気密性が低く、室温が寒くなる、という研究結果もあります。

家の中では風呂場やトイレが特に危険です。入浴中にヒートショックを起こし、意識を失い浴槽内で溺れる事例が後を絶ちません。また、トイレも排便時にいきんで血圧が上がり、排便後に急に血圧が下がることでヒートショックが起こりやすいのです。

では、ヒートショックを起こさないためにはどうしたらよいのでしょうか。まず、普段過ごす場所の室温を18℃以上に保つことが大切です。また、可能であれば脱衣所やトイレに暖房器具を設置すると効果的です。お風呂の場合、お湯の温度が高いほどヒートショックを起こしやすくなるため、お風呂の温度を38～40℃とぬるめにする 것도大切です。入浴前に水分補給をしておくことも効果的です。ただし、お酒は血圧を下げる効果があるため逆効果です。



トイレの場合は、いきみすぎないように心がけることが大切です。いきんでも便が出ずお腹がすっきりしない場合は、便秘の可能性があるので、かかりつけ医に相談すると良いでしょう。

ヒートショックに気を付け、楽しい年末年始を過ごして頂ければ幸いです。それではまたお会いしましょう！

新しくなった“骨密度測定装置”で 骨粗しょう症の診断がより正確に

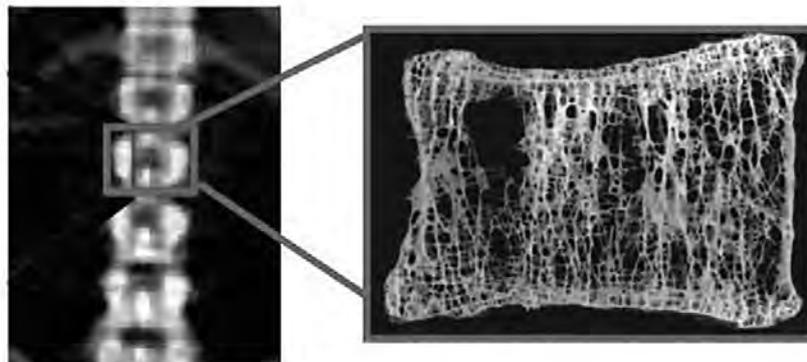
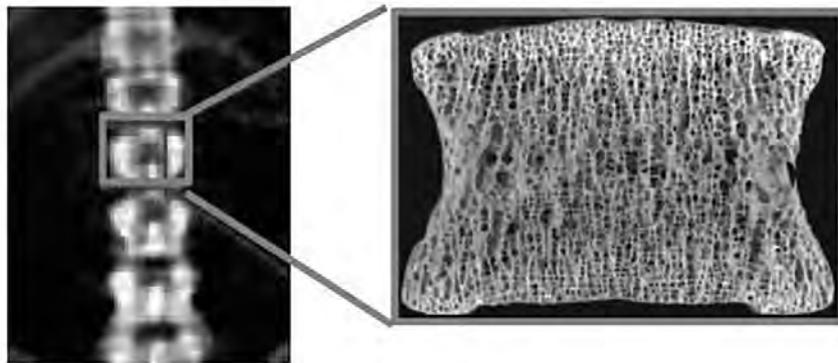
令和5年4月に導入されたこの装置は、主に骨粗しょう症の診断に使用される装置です。骨粗しょう症は、「骨強度の低下を特徴とし、骨折の危険性が増大する疾患」と定義されています。骨強度とは、骨密度と骨質という2つの要素から成ります。骨密度とは骨に含まれるカルシウムなどのミネラルの量、骨質とは微細構造、骨の代謝、微小骨折、石灰化などの状態から判断されます。一般的に行われている骨密度検査は、X線を使って腰椎や大腿骨近位部の骨密度を計測します。従来、骨粗しょう症は骨密度の低下のみで考えられてきましたが、近年 骨質（骨内部の微細構造）と合わせて評価することが重要視されています。今回導入された骨密度測定装置は、骨密度と骨質の両方を評価することが可能となりました。図が骨質評価の例です。上が正常な骨で内部が網目状で構造が密な状態、下が骨粗しょう症の骨で内部がまだらでスカスカな構造が疎な状態なのが見て取れます。今後骨粗しょう症の診断に、骨密度と骨質の双方を計測することで、より正確な骨の状態評価が可能になりました。

骨密度検査は、当院受診やドック健診で受けることができます。

詳細は、日野病院までお問い合わせください。

健常人:

Well-structured trabecular bone



骨粗鬆症患者

Altered trabecular bone

携帯型エコーを使って 排便ケアを行っています

2階病棟で勤務している野村友輪子と申します。孝田院長のご指導のもと令和4年4月から『便秘エコー』を行っています。今回は便秘エコーとは何かについて簡単にお話させていただきます。

便秘エコーはお腹にエコーを当てることで実際直腸に便が貯留しているかどうか観察することができます。高齢になるにつれ便秘の割合は増加し、入院患者さんの多くも便秘を抱えておられます。看護師が行う排便や浣腸は患者さんにとって苦痛となってしまうことが多いことから、エコーで便秘の評価を行うことで患者さんの状態に応じた適切な排便ケアができるのではないか、少しでも苦痛が減らせるのではないかと、そんな思いで日々便秘エコーをさせて頂いています。

現在は週に1回病棟で便秘回診を行い、孝田院長にエコーの当て方や便の見え方について教えていただいています。また、看護師向けの研修会も行い、エコーを用いて便秘の評価ができる看護師を増やしているところです。私をはじめまだまだトレーニングが必要ですが、患者さんにとって安全な排便ケア、より良い看護が提供できるようにこれからも日々精進してまいります。



◇ 学会報告 ◇

第61回全国自治体病院学会で4演題を発表

令和5年8月31日・9月1日の2日間にわたり、札幌市の「札幌コンベンションセンター」、「札幌市産業振興センター」を会場に第61回全国自治体病院学会が開催されました。

日野病院からは、孝田雅彦：演題「MRIR2*による肝組織鉄測定の見直し」、山口浩一：「医療介護連携のための画像・動画共有アプリの有用性」、松田貴寛：「MRIによる肝脂肪測定（PDFF）と鉄測定（R2*）の臨床応用」、森田花恋：「Cr/CystC比による筋力量の推定」、桐田実奈：「Cr/CystC比を用いたsarcopenic dysphagiaの評価」の研究をそれぞれ発表しました。発表に対して参加者から多くの質問や意見をいただき大変好評でした。

日野病院の代表として発表させていただいたことに感謝するとともに、この度の経験や学びを活かして地域医療の発展に貢献していきたいと思っております。



令和6年度 看護師育成奨学金・薬剤師育成奨学金奨学生募集 !!

日野病院組合では、令和6年度の薬剤師育成奨学金並びに看護師育成奨学金の貸付けを希望される方を募集します。将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。関心のある方は、まずはお気軽にお問い合わせください。

○ 応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332
日野病院組合事務局総務課
TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089

区 分	看護師育成奨学金	薬剤師育成奨学金
資 格	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）する者。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	大学の5年生及び6年生（応募時点では、4年生及び5年生）に在籍し、薬剤師国家試験を受験する予定の者、または、大学を卒業後、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者。
	資格取得後、日野病院組合に勤務する意思を有すること。	
募 集 期 間	2月1日（木）～2月29日（木）まで	2月1日（木）～3月29日（金）まで
貸 与 額	月額50,000円以内（無利子）	月額100,000円以内（無利子）
貸 与 期 間	貸付けを受けた月から卒業する月まで	最長3年
奨学金の返還	期 間	貸付けを受けた期間の2倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返 還 の 免 除	貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。	

- ※ 申込後、適正検査・面接等により奨学生を決定します。
- ※ この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。

日野病院組合職員の給与等の状況（令和5年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（令和5年度当初予算）

区 分	一般行政職	現 業 職	医 療 職	医療技術職	看 護 職
平均給料月額	274,659円	※※※※円	468,694円	265,736円	270,995円
平均給与月額	310,755円	※※※※円	1,009,368円	302,957円	354,343円
平均年齢	43.2歳	※※※歳	45.1歳	39.5歳	38.1歳
職員数	11人	1人	8人	27人	52人

※職員数が1人の職種については、個人が特定されることから職員数以外の公表は差し控えます。
 平均給料月額：職員の基本給の平均
 平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）

日野病院経営強化プランを策定しました

日野病院は、令和4年3月に総務省自治財政局長から「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示されたことを受け、令和5年11月に日野病院経営強化プラン（令和5年度～令和9年度）を策定しました。

このプランの内容は「役割・機能の最適化と連携の強化」「医師・看護師の確保と働き方改革」「経営形態の見直し」「新興感染症の感染拡大等に備えた平時からの取組み」「施設・設備の最適化」「経営の効率化等」と、多項目にわたっていますが、ここでは中山間地に位置する病院として地域の皆様と最も関係の深い【身近なかかりつけ病院としての役割】及び【専門診療科の外来機能を担う役割】について抜粋して掲載します。

—日野病院経営強化プラン(地域医療構想等を踏まえた日野病院の果たすべき役割・機能から抜粋)—

【身近なかかりつけ病院としての役割】

一般内科、総合診療科、外科、整形外科を中心としたプライマリケアを行い、頻度の高い疾患から急性期疾患まで幅広く診断・治療を行うとともに、生活習慣病や慢性疾患に対して科を超えた総合的なケアを行う。

また、急性期から回復期、リハビリ、在宅医療まで切れ目のない治療、ケアを行うとともに行政や老健施設と連携を取りながら、地域包括ケアシステムの構築に中心的な役割を果たしていく。

さらに、患者の多様な相談に対応できるように医師だけでなく、メディカルソーシャルワーカー、看護師、リハビリ、ケアマネジャーなどを加えた「かかりつけチーム」を編成し対応する。

【専門診療科の外来機能を担う役割】

専門医の診療を受けたい、受けないと不安という患者の気持ちは都市部も郡部の患者も変わりはない。このような患者の希望に応えるために当院では鳥取大学医学部附属病院の21診療科の専門医による外来を週1～2回開設し、都市部と同様の専門医による診療を提供している。

これにより、プライマリケアでは対応できない専門的医療をできる限り当院でも分担し、専門病院への紹介を遅滞なく行うとともに、治療後のフォローを再び当院で行う。

さらに専門診療科の外来機能を担うために可能な限り精密検査が行えるように、高度医療機器（MRI、CT、超音波装置、内視鏡等）を整備し、専門病院への紹介が支障なく行われるよう努める。人工透析についても、周辺地域で主要な役割を担っており、今後更なる充実を図る。

また、小児医療については小児人口の減少とともに患者数が減少しているが、子育て世代の定住促進、学校医、予防接種、病児病後児保育などの行政サービスも含めて常勤医に担ってもらおうよう、広域自治体連合による小児科医雇用も目指していく。

専門診療科に通院している患者は可能な限り、当院一般内科、総合診療科の医師をかかりつけ医としてもらい、総合的な管理を行う。特に高齢者は多くの臓器にわたる慢性疾患を抱えているため、今後も、全人的視野を持ったかかりつけ医を持つことを勧めていく。

「日野病院経営強化プラン」の全文は、日野病院ホームページに掲載しています。

「日野病院経営強化プラン」のQRコードはこちらです ⇒



日野病院の龍の子さんたち

辰年生まれのみなさんに
今年の抱負を聞いてみました

令和5年では鳥取県各地で開催されたマラソン大会に参加させて頂き、たくさんの方々と交流を持つことができ、良い一年でした。

今年こそはフルマラソンでサブ4達成を目標に頑張ります。



田中 武志

「笑い」は副作用のない最良の薬
患者様や御家族様に笑顔と安心を届けられるよう頑張ります。



加藤 淳子

2024年もがんばります。よろしくおねがいします。



野田 奈々子

体調をくずさず過ごすことが大事だと思っています。
自分が楽しめることを見つけたいなあ！



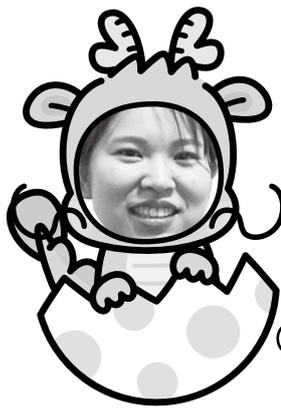
藤原 敦子

毎日おいしい食事を作って1年を健康的な生活を送る。



道下 淳子

今年は、旅行に行きたいなと思うし、趣味を大事にする1年になりますように。
もちろん仕事も楽しく頑張ります。



砂原 久美子

今年は色々なことに興味を持って挑戦していく年にしたいです。
仕事面だけではなく、私生活も楽しみながら成長につながる1年にしていきたいと思います。



八木 紅葉

みなさんは『残薬』という言葉を知っていますか？



『残薬』とは、病院で処方されたのに飲み忘れや飲み残しによって、患者さんの手元に残ってしまったお薬のことです。日本全体で、年間500億円を超える薬が『残薬』として捨てられています。

『残薬』は医療費のむだ使いだけでなく、薬が正しく使われていないことによる健康被害にもつながりかねません。

薬を正しく使わないと、病気が治らなかつたり、治療期間が長引いたりすることがあります。薬の効果が十分に得られない場合には、さらに薬が追加されてしまうこともあります。

『残薬』を本人以外（ご家族、子供さん、ペットなど）が誤って飲んでしまう事故にもつながりかねません。

『残薬』が発生する主な原因はつぎのとおりです。

- ①受診日の変更、検査のための内服中断。
- ②飲み忘れた。飲む量や回数を間違えた。
- ③自己判断で飲む量や回数を減らしたり、飲むのを中止したりした。
- ④薬を飲む時間が生活習慣にあっていない。
- ⑤薬の種類や飲む回数が多く、薬の管理が十分にできない。
- ⑥「薬が残った」と言うと、医師に失礼だと思い、相談できない。

処方された薬が余ってきたら、病院や調剤薬局で相談しましょう。

『残薬』の状況を確認し、処方日数や飲み方の変更、飲みやすい薬への変更ができます。

また、一度に飲む薬をまとめてパックしたり、お薬カレンダーの使用の提案など、飲み忘れに対する工夫もできます。

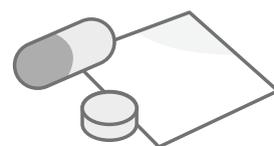
『残薬』の相談をする時には、お薬手帳を持参し、過去の処方歴や、他の病院での処方内容を確認してもらいましょう。

ただし、返金やお薬の返品はできませんのでご注意ください。

おわりに

薬は用法・用量を守って 正しく服用してください。

薬についての不安や、薬の管理で困ったことがあれば、かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師に気軽に相談しましょう。



(文責：薬局 山本)

【せせらぎ掲載内容の一部訂正について(お詫び)】

せせらぎ(令和5年9月発行号)の掲載内容について、次のとおり誤りがありましたので訂正についてお知らせするとともにお詫びいたします。

(掲載箇所)

○部門別各種統計(抜粋)の放射線室状況(9ページ)

(誤りの内容)

令和4年度の数値に誤りがあったもので、正しくは右の表のとおりです。

放射線室状況	3年度	4年度	差引
一般撮影	5,646	5,064	△ 582
骨塩定量	754	679	△ 75
マンモ撮影	11	4	△ 7
C T 検査	2,305	2,163	△ 142
M R I 検査	1,347	1,236	△ 111

〈編集後記〉

昨年は、長かったコロナ生活からやっと開放され少しずつ自由になりましたね。私的には、想定外の出来事が多々あり、困難な局面に右往左往した一年でした。周りの皆さんのサポートで乗りきれたと思います。目に見える支援もあれば、陰で支えられていたり・・・
一人で抱え込むと、袋小路に突き当たり立ち止まってしまいます。周囲を見渡すと助け船がいっぱいあって、遠慮や変な意地を捨てれば、袋小路から脱出できることを学びました。いかに自分が恵まれた環境にいるか、改めて気づき感謝する新年です。
あれ、勝手に悟りが開けちゃったかな？
(天の声)「まだまだじゃ」
皆さんにとって健やかな一年になりますように。
(日野の小町)

日野病院 外来診療案内

R.6.1 ~

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	1 診	午前	笠原 (循環器内科)	平井	細田 (第1・3週) 阿武※1 (第2・4週)	笠原 (循環器内科)	加藤
		午後			阿武※1 (第2・4週)		
	2 診	午前	孝田 (兼肝臓内科)	孝田	枝野 (消化器内科)	田尻※1	小原
		午後					小原
	3 診	午前	李	谷口(第1・3週) 小原(第2・4・5週)	竹本	北浦 (兼呼吸器内科)	今村 (大学医師)
		午後	竹本	加藤	平井		
総合診療科 (外科第2診療室)	午前	中井 (初診)	中井 (初診)	李 (初診)	孫 (初診)		
	午後				加藤		
	午前				中井		
外科		大学医師	佐藤	大学医師	大学医師	佐藤	
整形外科	午前	百田	百田	柳楽 (大学医師)	百田	百田	
眼科	午前	井上	井上	井上	井上	春木 (大学医師)	
小児科	午前		大学医師	大学医師		大学医師	
	午後		大学医師	大学医師		大学医師	

専門診療科 (大学医師他)		午前	午後	
肝臓内科	孝田	皮膚科	大学医師	
循環器内科	笠原	女性診療科	秦	
脳神経外科	大学医師(第1・3週)	糖尿病外来	阿武(第2・4週)※1	
泌尿器科	小山	血液内科	細田(第1・3週)	
		呼吸器内科	北浦	
		循環器内科	笠原	
		脳神経内科	田尻※1	
		泌尿器科	清水	
		耳鼻咽喉科	大学医師	
喫煙外来	李※1	心臓外科	吉川(第1・3週)	
		ペースメーカー外来	吉川(偶数月第3週)	
		糖尿病外来	阿武(第2・4週)※1	
		血管外科	大学医師(第2・4週)	
			心療内科	林

消化器検査 ドック検査	午前	午後
	平井 佐々木 竹本	加藤 佐々木 竹本
	平井	消化器内科医(大学) 佐々木 小平 竹本
		消化器内科医(大学) 竹本
		加藤 佐々木
		佐々木 竹本
		平井

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前 = 7時30分~10時30分
 - 午後 = 正午~15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
 - 午後 = 正午~16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前 = 8時30分~
 - 午後 = 14時~
- 診療開始時間
- 午前 = 9時~
 - 午後 = 14時~
- 休診日
- 土曜日・日曜日・祝祭日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日~1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時~16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

- 新患登録・新規予約 <代 表> **72-0351**
- 予約日(時間)変更
- <内科> **72-2721**
 - <血液内科> **72-2721**
 - <消化器内科> **72-2721**
 - <禁煙外来> **72-2721**
 - <呼吸器内科> **72-2721**
 - <脳神経内科> **72-2721**
 - <糖尿病外来> **72-2721**
 - <外科> **72-2719**
 - <整形外科> **72-2720**
 - <皮膚科> **72-2720**
 - <泌尿器科> **72-2720**
 - <耳鼻咽喉科> **72-2720**

※1 糖尿病外来・脳神経内科・禁煙外来は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時~16時に内科外来(72-2721)にご相談ください。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

(R.6.1月~)

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで)		月	火	水	木	金
内科	1 診	笠原	平井	細田(第1・3週) 阿武(第2・4週)	笠原	加藤
	2 診	孝田	孝田	枝野	(脳内)	小原
	3 診	李	谷口・小原	竹本	北浦	今村(大学)
	総合診療科	中井(初診)	中井(初診)	李(初診)	孫(初診)	
	外科第2診療室				中井	
外科	(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤	
整形外科	百田	百田	柳楽(大学)	百田	百田	
眼科	井上	井上	井上	井上	春木(大学)	
小児科		(大学)	(大学)		(大学)	
専門診療科	肝臓内科	皮膚科	消化器内科	呼吸器内科		
	循環器内科	女性診療科	糖尿病外来(第2・4週)※1	循環器内科		
	脳神経外科(第1・3週)		血液内科(第1・3週)	脳神経内科		
	泌尿器科			泌尿器科		
				耳鼻咽喉科		
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
内科	竹本	加藤	平井	加藤	小原	
小児科		(大学)	(大学)		(大学)	
専門診療科	禁煙外来※1	心臓外科(第1・3週)※	ペースメーカー(偶数月第3週)※	消化器内科		
		血管外科(第2・4週)※	糖尿病外来(第2・4週)※1		心療内科	

● 医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。(切り取って財布等に入れご利用ください)

せせらぎ 令和6年1月 発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332 TEL/0859-72-0351 FAX/72-0089 印刷/富士印刷有限公司

編集後記

日野病院は、令和5年6月15日に、全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が昭和61年度から実施している自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞いたしました。

令和4年度の年報でも自治体立優良病院表彰受賞のことを書かせていただきましたが、今回受賞した総務大臣表彰は前年度受賞した両協議会会長表彰より上位の表彰となります。

この表彰の選考基準は、各都道府県自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会各都道府県支部から推薦された調書を基に、経営努力の成果がみられ、地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院が選考されます。加えて、総務大臣表彰へ推薦される病院は、原則として既に両協議会会長表彰を受けた病院で、総務省が定める自治体立優良病院選考基準に合致し、総務大臣の表彰を受けるにふさわしい病院として推薦があった病院の中から選考されることとなっています。

日野病院の具体的な選考理由として、『地域医療への貢献等』と『経営努力の状況』の2つについて、高く評価されました。

まず、1つ目の『地域医療への貢献等』については、「救急医療において、病院群輪番病院として毎年約90日の輪番日を受け持ち、日野郡とその周辺地域における一次・二次救急に対応していること。」「へき地医療において、へき地医療拠点病院として、訪問診察、訪問看護、訪問リハビリ、居宅支援などの在宅医療を実施していること。また、近隣の老健施設を訪問し、入所者の診察入院相談等も実施していること。」そして、「新型コロナウイルス対応において、感染拡大初期から、自治体からの要請を受け、病床確保、入院受入、ワクチン接種等に対応していることや発熱患者の診察、PCR検査、点滴治療等に24時間対応できる体制の整備や緊急時に備えた医師・看護師の宿舎の整備を行っていること。」について評価されたものです。

2つ目の『経営努力の状況』については、「患者数増への取組として、他の急性期病院や高度急性期病院からの転院・紹介患者を積極的に受入れていることや住民に対する講演活動や広報活動にも力を入れていること。」「診療単価増加への取組として、かかりつけ医として、疾患が出現した疾病のみならず、様々なリスク因子を考慮して、過不足なく健康・症状のチェックに努めていること。」そして、「医師等の確保への取組として、鳥取県や鳥取大学からの派遣医師の確保に努めていることや地域医療の教育病院として医学生の手入れを積極的に行い、将来の医師確保に努めていること。」について評価されたものです。

令和5年度は、800余りある全国の自治体病院の中から6病院が総務大臣表彰を受賞しましたが、病床数が100床未満の小規模病院は当院のみでありました。

医療環境の厳しい中山間地に位置する小規模病院である当院が2年連続して優良病院表彰を受賞したことは、住民の皆さんと近隣の医療福祉機関の日野病院に対するご協力、ご支援と、そして何よりも職員の献身的な働きによるものであり、誠に栄えある賞

だと思っています。

今後も、この賞にふさわしい病院として、職員一人一人が高い意識を持ち、地域の皆さんにより質の高い医療を提供できるよう努めてまいりたいと思います。

日野病院事務局長 頭本 保人

—— 発 行 ——

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>